

横浜市生涯学習

令和4年度事業概要

横浜市教育委員会

I 横浜市の生涯学習施策の推進

1 教育委員会	01
2 区役所	01
3 推進体制	02
第32期横浜市社会教育委員会議提言【概要】	03

II 事業概要

1 教育委員会事務局生涯学習文化財課（生涯学習係）

(1) 生涯学習情報の提供	07
(2) 生涯学習指導者の育成、関係職員の研修	07
(3) 横浜市民の読書活動推進	09
(4) その他	10

2 生涯学習を推進するための施設

(1) 教育委員会事務局生涯学習文化財課関連施設	
ア 市民活動・生涯学習支援センター	12
イ 横浜市社会教育コーナー	12
ウ 横浜市歴史博物館	12
エ 横浜開港資料館	13
オ 横浜都市発展記念館・横浜ユーラシア文化館	13
カ 横浜市三殿台考古館	14
キ 横浜市八聖殿郷土資料館	14
(2) 図書館施設	
横浜市中央図書館、各地域図書館	15

3 地域の生涯学習 ～区における生涯学習推進・支援

(1) 地域振興課について					
ア 社会教育の推進	17				
イ 青少年の健全育成	17				
ウ 地域スポーツの振興	17				
エ 地域の文化振興	18				
オ その他関連課等	18				
カ 市民活動・生涯学習支援センター	18				
(ア) 相談件数及び設備・機材利用件数	19				
(イ) 相談内容の傾向など	20				
(2) 各区地域振興課及び市民活動・生涯学習支援センター令和4年度事業概要	21				
鶴見区	22	保土ヶ谷区	46	青葉区	70
神奈川区	26	旭区	50	都筑区	74
西区	30	磯子区	54	戸塚区	78
中区	34	金沢区	58	栄区	82
南区	38	港北区	62	泉区	86
港南区	42	緑区	66	瀬谷区	90

I 横浜市の生涯学習施策の推進

1 教育委員会

国際化、高度情報化、少子高齢化の進展や地域課題の多様化といった社会情勢の変化を踏まえ、生涯学習の視点からの市民の自発性に基づく学習の支援と社会のさまざまな課題に対応した生涯学習施策を推進するとともに、地域における課題解決に向けた取組が進むための仕組みづくりなど、さまざまな支援を行っています。

生涯学習施策の方向性にあたっては、令和2年11月に第32期横浜市社会教育委員会議から、今後の本市の生涯学習推進の基本的な考え方と方向性となる提言「**本市における社会参加のすそ野の拡大について**」が出されました。提言の方針である「社会参加のすそ野の見える化」と「人材育成と活用」を中心にすえ、生涯学習施策を推進しています。

(参照：p.3-6 第32期横浜市社会教育委員会議提言【概要】)

※ 本提言では、「社会参加」の定義を『市民が地域・社会の様々な活動に加わり、地域・社会の一員であるという気持ちを持つこと』としています。

本提言における社会参加の前提

- 1 生活圏域で、楽しく行う社会参加
- 2 新型コロナウイルス感染症の影響下における社会参加

方針1 社会参加のすそ野の見える化

施策1 情報の集約と提供

社会参加につながる情報の集約 / 社会参加につながる情報の提供

方針2 人材育成と活用

施策1 コーディネーターの育成

地域の情報を収集する人材 / 市民の学びを組織できる人材

施策2 市民の学びを継続的に支援する仕組みづくり

活動の機会の情報提供 / 学校教育と社会教育の連携 / 社会教育士等の活用
/ 人材の交流の場 / 施策を推進する主体の組織づくり

本提言の全体版は、横浜市ホームページ『社会教育委員会議』をご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shogaigakushu/hokokusho/shakaikyoiku/shakaikyoiku.html>

2 区役所

区役所は、市民に最も身近な行政機関として地域行政を総合的に推進する中で、地域振興課を中心として、地域における生涯学習の推進・支援を各区の実態や実情にあわせて進めています。

平成6年11月から市民の自主的な学習活動を支援し、区における生涯学習の一層の推進を図るため、学習相談員を配置し、生涯学習支援センター事業を開始しました。

その後、市民局が平成15年11月に策定した「市民活動支援センター地域レベル展開ガイドライン」により、区版市民活動支援センターの展開にあたっては、生涯学習支援センターなどの類似事業との複合化につとめるという方針が示されました。このガイドラインに従って、

各区では順次、生涯学習支援センターと市民活動支援センターとの複合化が進められ、平成20年度をもって全区で、生涯学習と市民活動を一体的に支援する複合型の支援センターが開設されました。

なお、具体的な生涯学習に関する事業の進め方や内容等については、各区の判断で進められています。

3 推進体制

● 横浜市社会教育委員会議

設 置	昭和26年3月設置
設置根拠	横浜市社会教育委員条例など
職 務	社会教育に関し、教育委員会に助言します。
構 成	社会教育関係者、家庭教育関係者、学校教育関係者、学識経験者等10名
内 容	社会教育に関する事項について審議します。 第33期（2021（令和3）年9月15日～2023（令和5）年9月14日）では、『「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」に基づく本市取組の方向性について』をテーマに、議論を進めています。
実 績	2022（令和4）年度：3回開催
連 絡 先	045-671-3282

- 横浜市社会教育コーナー（市内に一か所） … 詳しくは、p.12をご覧ください。
- 社会教育主事(補)、社会教育指導員（各区配置） … 詳しくは、p.17をご覧ください。
- 市民活動・生涯学習支援センター（各区） … 詳しくは、p.18をご覧ください。

第 32 期横浜市社会教育委員会議提言【概要】

－本市における社会参加のすそ野の拡大について－

令和 2 年 11 月第 32 期横浜市社会教育委員会議

1 背景と課題

これまで本市では各区単位で、市民が社会や地域の課題解決に取り組む市民の学習グループ^(※1)をつくり、その運営を支援してきました。このような活動は、市民が自ら楽しみながら継続的に行うことで活発化し、市民活動へ発展するなど、様々な行政課題の解決に貢献しています。

「横浜市中期 4 か年計画 2018-2021」では、「地域課題が複雑化・多様化し、地域の関係が希薄化する中」で、「地域コミュニティの力が不可欠」であることを掲げています^(※2)。

しかし、各区での人材育成事業の実施は減少傾向にあり、地域の課題に向き合うグループ数が減少しています。市民意識調査^(※3)の結果からは、住民の孤立化や、自助や共助の意識付けが課題となっていることが分かります。

また、「成年年齢引き下げの民法改正」も行われ、若者の積極的な社会参加が望まれています^(※4)。

(※1) 一例として、青葉区で生まれた市民の学習グループは、令和元年度に多世代交流や地域の魅力発見等を目的とした、5つの講座を企画・実施しました。これらのグループは、区によって「区民企画運営委員」「生涯学級」等の名称があります。

(※2) 横浜市政策局政策課「横浜市中期 4 か年計画 2018-2021」2018 年（平成 30 年）10 月、P6

(※3) 横浜市政策局政策課「令和元年度市民意識調査報告書」2020 年（令和 2 年）4 月、P111

(※4) 法務省「民法（成年年齢関係）改正 Q & A」から。法律は 2022 年（令和 4 年）4 月 1 日施行

2 議論するテーマ

「本市における社会参加のすそ野の拡大について」

本市としては、課題に対応する市民を増やしていきたいと考えていますが、はじめから市民が課題解決に向かうことは難しく、まずは社会と関わる機会を持ってもらう必要があります。

そこで、新たな担い手として期待される若者や企業等をどのように巻き込んでいくべきか、市民の社会参加のハードルをどのように下げていくべきか、そのために行政として何をすべきかなどを議論するため、このテーマとしました。

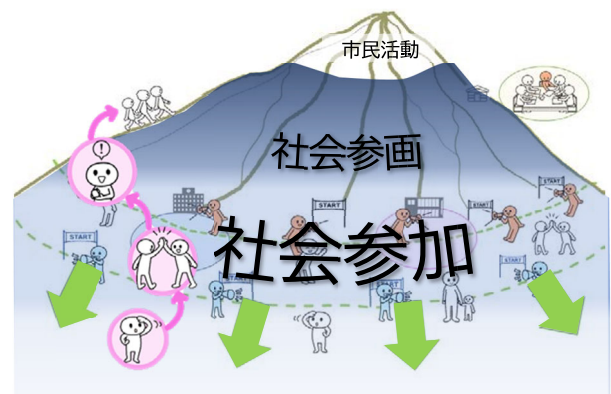
「社会参加」は様々なとらえ方が可能な言葉ですが、今期会議は社会と関わる最初の一步としてのすそ野の拡大を議論することを踏まえ、社会参加を「市民が地域・社会の様々な活動に加わり、地域・社会の一員であるという気持ちを持つこと」と定義します。

また、今期会議のテーマを受け、次の点について検討することを議論の軸としました。

- ① 本市における社会参加を促すための施策方針
- ② 上記方針を受けた市社会教育行政の役割

施策方針に基づいて市社会教育行政が推進される様子は、右図のように表現できます。

この図は「本市の社会参加のすそ野の拡大」を表すため、市内の様々な活動を山のイメージになぞらえて描いたものです。現在はハードルの高い「社会参加」も、参加するきっかけが増え、「すそ野」が広がっていくことを目指します。また、個人の関心から始まる学びが、徐々に社会参加へ向かい、地域・社会への愛着を深めながら、同じ志を持つ人同士で社会参画・市民活動（山の頂上）へと登っていく様子も表しています。



【図】方針のイメージ

3 議論の内容

平成30年11月から令和2年10月にかけて全7回の議論を行い、市民の社会参加を促すためにはきっかけが必要であり、子どもたちの成長を促すような活動であれば、大人も参加しやすいのではないか、などの仮説が立てられ、子どもと大人が関わり合う事例を検証し、社会参加を促す方針・施策等について話し合いを進めました。

4 提言

(1) 提言における社会参加の前提

【前提1】生活圏域で、楽しく行う社会参加

今期会議で事例を取り上げた、「十日市場中学校地域交流事業」や「ミニヨコハマシティ」のように、「生活圏域で、楽しく行う社会参加」が重要となります。

十日市場中学校地域交流事業（緑区）：十日市場中学校の生徒が地域に出て、ボランティア体験をする活動

ミニヨコハマシティ（都筑区）：子どもの市長を中心に、子どもたちがまちのしくみをつくっていくイベント

【前提2】新型コロナウイルス感染症の影響下における社会参加

今期中に「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大が起こり、これまでのように実際に会って活動することが難しくなっていますが、これまで以上に人々がつながり合い、お互いに助け合い、励まし合える関係が大切になります。また、感染症対策の一環として、WEB会議等の手法が広く用いられるようになりました。多様な手法を柔軟に活用しながら、従来の手法では社会参加できなかった、あるいはしなかった人たちが、参加できるようにしていくことも重要です。

(2) 方針・施策

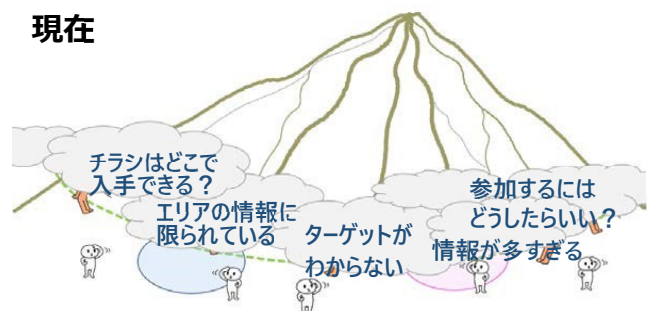
【方針1】社会参加のすそ野の見える化

本市では、各区役所の人材育成事業による学習グループ数は減少しているものの、地域や企業・団体が中心となって地域課題解決に向かう活動は盛んに行われています。また、活動を促すコーディネーターも多様な場所で活躍しています。しかし、現在は社会参加していない人や社会参加を考えている人にとっては、情報が一部に限られている、情報の入手方法が分からないといった理由から、最初の一步を踏み出しにくい状態となっています。

市民の社会参加を促すためには、まず既存の取組を「見える化」することが求められます。特に、子どもも大人も互いを認め合う関係の中で、子どもが活動の主役になり自己肯定感の向上につながる取組や、大人が地域とつながるきっかけになる取組、企業・団体の従業員が誇りをもてる取組等の情報を中心に見える化することが有効です。

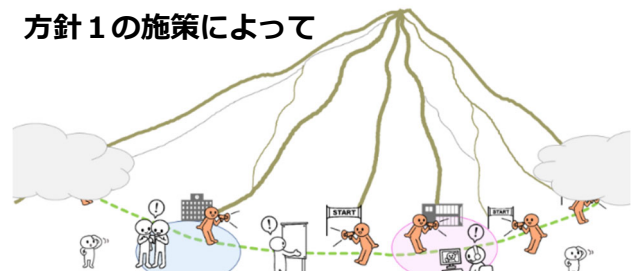
したがって、参加者の主体性に任せたこれまでのやり方では参加できなかった、あるいはしなかった人たちも含め、効果的な情報の収集・発信を行い、参加のきっかけづくりが促される体制を整えることが必要です。

現在



身近なところには様々な入口（社会参加するきっかけ）があり、案内人（コーディネーター）もいて、活動が行われているが、すそ野は雲で覆われ、ハッキリとは見えない状態（情報発信が効果的でない状態）。

方針1の施策によって



効果的な情報の収集・発信により、雲が晴れて（情報が見える化され）、すそ野がハッキリと見える状態。

〔施策1〕情報の集約と提供

○ 社会参加につながる情報の集約

- ・行政、公共施設、地域の団体、企業、NPO等が行う社会参加につながる講座やイベント等のうち、子ども・大人・企業・団体等が関わり合う取組の情報を中心に、集約する必要がある。
- ・社会参加につながる情報は多岐に渡るため、生活圏域に根差した多方面の情報を集約するためには、行政や公共施設だけではなく、市民からも情報を提供してもらえるような方策を検討すべきである。

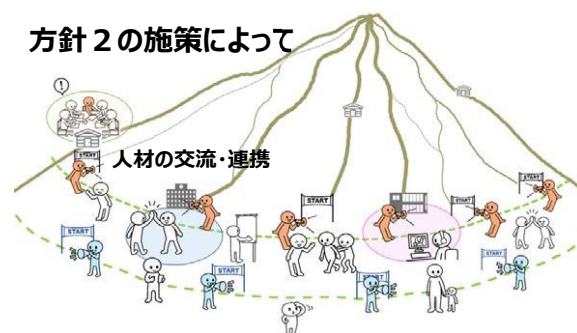
○ 社会参加につながる情報の提供

- ・集約した情報を提供するために、インターネットを活用したデータベースの公開や事業（フォーラム、シンポジウム等）を実施すべきである。
- ・今後社会参加が期待される若者や企業・団体をはじめ、これまで社会参加の機会が得られなかった人に対して、情報を受け取る側の様々な状況を踏まえた方法を活用・開発することが必要であり、更には社会参加の楽しさを含めて、大切さを伝えることも必要である。
- ・他部局や企業・団体にも積極的に情報発信し連携を図りながら、官民一体となって効果的な提供方法を模索すべきである。

【方針2】人材育成と活用

地域や企業・団体が中心となって地域課題解決に向かう活動の事例を分析すると、活動が始まるきっかけにコーディネーターの存在があることが分かりました。つまり、市民の社会参加を促すためには、そのきっかけづくりを担う人材が必要です。さらに、育成した人材の活躍を後押しすることや、交流する機会を設けるなど、人材が継続的に活動できるように支援することも重要です。特に学校等の生活圏域で子どもと大人が関わり合える場において、育成した人材の活躍の機会を積極的に増やしていくことが効果的です。

方針2の施策によって



新たな入口（社会参加するきっかけ）が出来たり、新たな案内人（コーディネーター）が増えている状態。

〔施策1〕コーディネーターの育成

○ 地域の情報を収集する人材

- ・地域に根差した多方面の情報を集めるための人材を育成すべきである。

○ 市民の学びを組織できる人材

- ・社会参加のきっかけとなる様々な学習活動を生み出すために、市民の学びを組織できる人材を育成すべきである。
- ・その一例として、社会教育士^(*5)の育成等も検討すべきである。

(*5) 国が定める社会教育主事養成課程または社会教育主事講習を修めた者に、新たに与えられることとなった称号（2020年4月施行）。環境、福祉、まちづくり等、多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに携わる役割が期待されている。

〔施策2〕市民の学びを継続的に支援す仕組みづくり

○ 活動の機会の情報提供

- ・育成した人材や、既に活躍している人の活動の場を広げるための情報提供をしていく必要がある。

○ 学校教育と社会教育の連携

- ・学校と連携して子どもたちが地域に出ていく機会を増やし、地域の人材が子どもたちを受け入れることにより、子どもも大人も成長できる機会を広げることが重要である。

○ 社会教育士等の活用

- ・補助事業等を通じて、育成した社会教育士等の活動を、継続的に後押しすべきである。

○ 人材の交流の場

- ・市民利用施設で活動するコーディネーター等のほか、施策1で育成した「地域の情報を収集する人材」や社会教育士等の交流の場をつくるべきである。

○ 施策を推進する主体の組織づくり

- ・方針1、2の施策を推進するためには、主体となる組織をつくる必要がある。
- ・継続的に施策を進めるためには、主体となる組織の自立化が必要である。

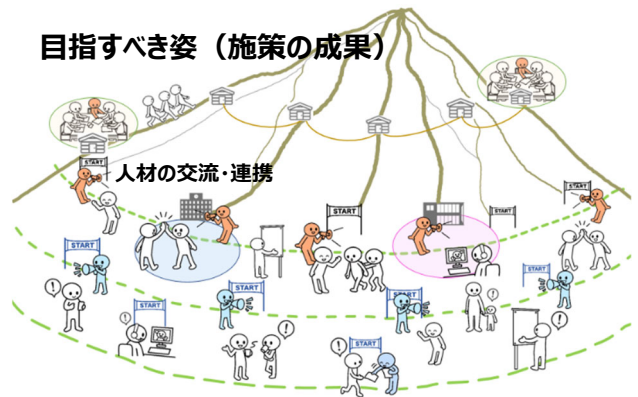
(3) 目指すべき姿（施策の成果）

社会参加のすそ野の見える化（方針1）や、人材育成と活用（方針2）が進むことで、社会参加のすそ野の拡大につながります。

社会参加のすそ野が拡大し、社会参加する市民が増えると、その中から地域の課題に気づき、解決に向かう市民が生まれていきます。これにより、地域の課題解決を担うグループ数の増加、住民の孤立化の防止、自助共助の意識を持った個人の増加等、本市が抱える課題の改善につながることが期待されます。

これに加え、今期会議で議論した、子どもも大人も育ち合う活動への社会参加が増えることで、それに関わる人々の自己肯定感や地域への愛着が育まれ、地域のために何かをやろうという意識が芽生えてきます。こうした経験をした子どもたちが、次世代の担い手となって、持続可能な社会をつくっていくことも期待します。

目指すべき姿（施策の成果）



効果的な情報の収集・発信により、雲がなくなり（情報の見える化が進み）、人材が増え、より一層すそ野が拡大する状態。

5 おわりに（議長寄稿）

私たちは社会の大きな転換点に立っています。それは風景を大きく変えるものではありません。しかし、人々が不安を感じているように、この社会の構造は密やかに、しかし確実に変化しています。その一つが、少子高齢化・人口減少そして長寿命化という人口構造の劇的な変化です。もう一つが、人工知能の急速な発達です。

この二つが結びつくことで、私たちは人生100年を自らの意志で、価値を判断しながら、生き抜くことが求められ始めています。そしてそこへ、新型コロナウイルス感染症の蔓延です。私たちは否応なく、自立しつつ、他者と協働して、この新しい社会状況に対応しなければなりません。

このとき、政策・行政的にも、そして研究や実践的にも重視されているのが、コミュニティと人々の交流そして学び直しです。自分の生活の場であるコミュニティで、他者とともに、社会の主演として、この社会を次の世代にきちんとつなげていくこと、そのプロセスこそが学びであり、そのためにこそ学びが大切になる、こういう社会に私たちは生き始めています。学びとは教育行政だけのものではなく、人々の生活全般にかかわる、その基礎をつくる営みなのです。

この新しい生活のためには、誰ひとりとして取り残されることなく、社会に対する信頼をもつことが大切です。そのキーワードが社会参加であり、それを後押しするのが行政の役割です。社会参加を通して、自分が社会に位置づいていると思えること、そのことが「新しい日常生活」時代の生活スタイルをつくりだす基盤となるのではないのでしょうか。

この提言書は、社会参加の初歩的な取り組みに向けた、私たちからの投げかけです。これを、市民の皆さんと行政の双方で、一層豊かなものへと育ててくださることをお願いしたいと思います。

令和2年11月

第32期横浜市社会教育委員会議 議長 牧野 篤

II 事業概要

1 教育委員会事務局生涯学習文化財課（生涯学習係）

TEL：045－671－3282

(1) 生涯学習情報の提供

生涯学習ページ（横浜市ウェブサイト内）

学習しやすい環境づくりを目指して、学びのきっかけとなるような役立つ情報を、生涯学習ページ「はまなび」で提供しています。（平成9年7月開始）

内 容	生涯学習トップページの主な内容 (https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shogaigakushu/) ○はまなび ○生涯学習施設 ○報告書・パンフレット・審議会答申 ○生涯学習文化財課主催講座・イベントのご案内 など
-----	--

(2) 生涯学習指導者の育成、関係職員の研修

生涯学習・市民活動・地域支援関係新任職員向け研修

生涯学習や市民活動支援に必要な基礎的知識や役割等について研修を実施しています。
（市民局市民協働推進課、地域活動推進課と3課合同で実施）

対 象	各区市民活動・生涯学習支援センター関係職員
実 績	令和4年度 参加者数：50人
開催日	令和4年4月27日
会 場	横浜市教育委員会事務局花咲研修室 201、202、203
内 容	支援センターの役割と機能、生涯学習と社会教育、市民活動と市民協働、支援センターと地域力推進担当の連携について学びました。

各区市民活動・生涯学習支援センター関係職員新任者フォローアップ研修

各区における生涯学習や市民活動支援について、初年度を振り返り、課題を見つけ、次年度に向けた目標設定等のために実施しています。（市民局市民協働推進課と合同で実施）

対 象	新任の市民活動・生涯学習支援センター担当職員と支援センター職員
実 績	令和4年度 参加者数：22人
開催日	令和5年2月13日～3月10日
方 法	学習資料配付による個人研修とレポート提出
内 容	各支援センターで令和4年度に実施した支援センター事業を振り返りながら、改めて支援センターの役割と機能を確認し、令和5年度に向けた目標を設定しました。

生涯学習研修（全3回）

市民の学びや活動の支援に携わる職員を対象に、生涯学習や社会教育に関する理解を深め、地域の課題解決に必要な知識を学ぶための研修を実施しています。

対象	社会教育に関わる職員や支援センター関係職員、地域力推進担当、区民利用施設に従事する職員等
実績	令和4年度 参加者数：延べ111人
開催日	① 令和4年6月29日(59人) @横浜市教育委員会事務局花咲研修室 305
・会場	② 令和4年9月12日(13人) @横浜市役所内 ③ 令和4年12月21日(39人) @横浜市教育委員会事務局花咲研修室 305
内容	① 生涯学習・社会教育の視点から支援センターに求められる役割 ② 企業・団体や若者の社会参加のすそ野を広げる要点を探る ③ 講座後の、参加者の次の一歩を後押しするための声かけとコーディネート

出前研修（3区実施）

生涯学習に関わる職員の能力向上と研修内容を職員で共有することを目的に、研修を希望する区に対して講師等が出向き、各区で研修を実施しています。

対象	社会教育主事（補）、社会教育指導員、市民活動・生涯学習支援センター職員、支援センター担当職員等
実績	令和4年度 参加者数：延べ22人
開催日	①【青葉区】 令和4年8月25日(8人) @青葉区区民活動支援センター
・会場	②【中区】 令和4年11月16日(7人) @なか区民活動センター研修室 ③【神奈川区】 令和4年12月19日(7人) @神奈川区役所会議室
内容	① 市民が主体的な活動に向かうための職員の役割と工夫について ② 地域とつながる支援センターの役割強化に向けて、チームで考える ③ 市民が主体的な活動に向かうための職員の役割

社会教育研究会

社会教育関係職員が各区の生涯学習・社会教育に関する調査・研究を行います。

対象	社会教育主事（補）、社会教育指導員
実績	令和4年度 参加者数：延べ103人
開催日	全体会：令和4年10月5日（35人）@横浜市教育委員会事務局花咲研修室 201, 202, 203
・会場	研究発表会：令和5年1月25日（32人）@横浜市教育委員会事務局花咲研修室 グループワーク：令和4年10～令和5年1月の間にグループごとに複数回実施（36人） @横浜市役所、各区会議室、市民活動・生涯学習支援センターなど
テーマ	コーディネーターの発掘と育成のための提案
内容	全体会：企業による提案と意見交換（ICTを活用した生涯学習支援の可能性を探る） 研究発表会：グループごとに進めたコーディネーターの発掘・育成提案

国や県が実施する研修への派遣

国や県が実施する研修に職員を派遣します。

対 象	社会教育主事（補）、社会教育指導員、区生涯学習関係職員、教育委員会職員、図書館職員等
実 績	令和4年度 参加者数：延べ19人 ① 国（文部科学省）主催 ・社会教育主事講習A：4人 ・社会教育主事講習B：3人 ② 神奈川県主催 ・生涯学習指導者研修「社会教育担当者コース」：4人 ・生涯学習指導者研修「公民館担当者コース」：2人 ・生涯学習指導者研修「読書活動実践コース」：5人 ・社会教育主事講習B事後研修会：1人

（3） 横浜市民の読書活動推進

乳幼児期から高齢期まですべての市民を対象とした読書活動の推進

「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」及び「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、乳幼児期から高齢期まで、すべての市民を対象とした読書活動の推進に関する施策を進めるため、令和元年12月に「第二次横浜市民読書活動推進計画」を策定しました。同計画は、平成26年3月策定の「横浜市民読書活動推進計画（平成26年～平成30年）」の取組の成果と課題や、読書環境を取り巻く諸情勢の変化、また令和元年6月に公布、施行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」の趣旨を踏まえ、施策の方向性と取組を示しています。

内 容	第二次横浜市民読書活動推進計画 【重点項目】 1 子どもの発達段階に応じた読書活動の推進 2 成人の読書活動の推進と担い手の拡大 3 読書活動の拠点の強化と連携 4 区の地域性に応じた読書活動の推進 教育委員会は、全市的な広報活動、読書活動の普及啓発イベント等への民間事業者等の協力を働き掛けるなど全市的な読書活動を推進します。 区役所・図書館・学校は第一次読書計画で築かれた連携基盤を生かし、引き続き地域全体で読書活動を推進します。
-----	--

よこはま読書パーク（横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム）

次の事項を目的に、広く市民を対象とした読書イベントを実施します。

- (1) 民間事業者等との連携による、読書活動の普及啓発
- (2) 本を介して人と人がつながるきっかけづくり
- (3) 読書バリアフリーに関する市民理解の促進
- (4) 普段読書をしない市民が読書をするきっかけをつくる

対 象	市民全般
開催日	令和5年3月18日
会 場	横浜市役所アトリウム、市民協働スペース、展示スペース、北プラザ
内 容	本の販売会、ステージイベント、展示スペース、連携イベント、移動図書館
主 催	横浜市教育委員会（運營業務受託事業者：一般財団法人出版文化産業振興財団）
実 績	令和4年度 出展企業・団体等：17社（出版社、書店等）、参加者：約1,600人

（4） その他

二十歳の市民を祝うつどい

二十歳を迎えた市民を祝い励ますとともに、成人としての社会的責任を改めて自覚し、横浜への愛着を深めてもらうことを目的として実施します。（昭和38年度開始）

対 象	横浜市内在住の二十歳の方
開催日	成人の日（1月第2月曜日・祝日）
会 場	横浜アリーナ
内 容	記念式典等
主 催	横浜市、横浜市教育委員会、二十歳の市民を祝うつどい実行委員会
実 績	令和4年度（令和5年1月9日実施） 対象者：35,805人（うち参加者：20,402人）

子どもアドベンチャーカレッジ

横浜市内の小学生を対象に、「主体的・対話的で深い学びのきっかけづくり」と「社会参加のきっかけづくり」の場と機会を提供するため、夏休み期間を活用し、民間企業や団体、大学、公的機関（以下、企業・団体等）などの協力を得て、多様な体験学習プログラムを実施します。

対 象	横浜市内在住または在学の小学3～6年生 ※プログラムによって年齢制限あり
開催日	令和4年8月17、18日
会 場	横浜市役所、各種団体、企業等
内 容	消防隊員になってみよう！、動物愛護センターの仕事を学ぼう！、シミュレータで医療者体験をしてみよう、不要になった素材で工作しよう！アップサイクル体験！、子ども薬剤師体験セミナー、プログラミングの基礎を実体験してみよう！ ほか（令和4年度実績）
主 催	横浜市、横浜市教育委員会
実 績	令和4年度 39プログラム（うち3つは新型コロナウイルス感染症対策のため中止） 参加者：約1,000人（小学生）

成人教育講座

市民の人権意識を育むため、地域で自主的学習の機会となる成人教育講座を団体に委託し、開催します。(昭和53年度開始)

対 象	横浜市内在住・在勤の成人
期 間	令和4年12月2日、令和5年2月3日
会 場	かながわ労働プラザ
内 容	自主グループ、団体が人権問題全般に関する講演会を実施します。
実 績	令和4年度 2講座2回 参加者数：64人(延べ人数)

横浜市歌の普及

1909年(明治42年)に横浜開港50周年を記念して制定された横浜市歌を、広く市民に親しんでいただけるように努めています。作詞：森 林太郎(鷗外) 作曲：南 能衛

内 容	<ul style="list-style-type: none">・横浜市歌のCD(「横浜市歌 楽譜(CD付)」)の貸出：生涯学習文化財課(市庁舎14階)、市民情報センター資料カウンター(市庁舎3階)、横浜市立図書館(全18館)※ 市ホームページからも、試聴と楽譜のダウンロードができます。 https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/gaiyo/shika/sika.html・市歌利用に関する著作権関連等のご相談へのご案内・ホームページ掲載資料を利用できない方に対する楽譜の配布 <p>視聴と楽譜のダウンロードは、こちらからもホームページにつながります。▶</p>
-----	--



生涯学習事業への共催・後援

生涯学習の振興を図るため、各団体が自主的に実施する事業に対し、共催および後援を行います。

対 象	生涯学習関係団体が主に横浜市内を会場にして行う事業
実 績	令和4年度 後援件数：156件

2 生涯学習を推進するための施設

(1) 教育委員会事務局生涯学習文化財課関連施設

ア 市民活動・生涯学習支援センター

※ 詳しくは、p.18をご覧ください。

内 容	相談・コーディネート・ネットワークづくり/ 情報発信/ 情報収集/人材の発掘・育成・活用/ 施設間のネットワーク構築/ 講座・イベント/場の提供・機材の貸出
実 績	令和4年度 相談件数：16,021 件 設備・機材利用件数：39,602 件 ※p.19「相談件数及び設備・機材利用件数」参照
連絡先	045-671-3282

イ 横浜市社会教育コーナー

市民の生涯学習・社会教育の推進のため、自主事業の企画・実施や情報提供、相談対応、場の提供をします。また、生涯学習・社会教育関係職員の人材育成のための研修の企画・実施、相談対応を行います。

設 置	昭和57年5月1日
所 在 地	〒235-0016 横浜市磯子区磯子3-6-1-1
開館時間	9時～21時（日曜日・祝日は17時まで）
休 館 日	年末年始（12月28日～1月4日）、施設点検日（原則第1月曜日）
施設概要	延床面積：789.182㎡、スポーツ広場：800㎡ 研修室A・B・C、アートルーム、トレーニングルーム、交流スペース等
実施事業	社会教育士を目指す人のための基礎講座、よこはま社会教育士ネットワークなど
運営主体	特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク
実 績	令和4年度 施設利用回数：5,054回 施設利用者数：42,357人
連絡先	045-761-4321

ウ 横浜市歴史博物館

古代から開港期までを中心とした横浜の歴史に関わる資料を収集、保管するとともに、調査研究を進め、その成果を展示などにより公開することで、市民の学習活動及び学術、文化の発展に寄与します。

設 置	平成7年1月開館
所 在 地	〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-18-1
開館時間	9時～17時（ただし、入館は16時30分まで） ※ 野外施設について：その他の公園施設、歳勝土遺跡部分については24時間オープン
休 館 日	月曜日（祝日を除く）、年末年始（12月28日～1月4日）
施設概要	敷地面積：7,278㎡ 延床面積：9,269㎡ 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造地上6階地下1階 1階 駐車場、エントランスホール、ミュージアムショップ 2階 常設展示室、歴史劇場、スタディサロン、映像コーナー、企画展示室、体験学習室、図書閲覧室、講堂、研修室

野外施設「大塚・歳勝土遺跡公園」

所在地：〒224-0028 横浜市都筑区大塚西1番（代表地番）

面積：約6.6ha

主な利用施設：【遺跡復元・再現施設】

・大塚遺跡 復元竪穴住居7棟、復元高床倉庫
型どり復元遺構1か所、環濠約250m

・歳勝土遺跡 復元方形周溝墓5か所、再現墓道約100m

【その他の博物館施設】工房（約300㎡）

【その他の公園施設】解説板、地形模型（1か所）、体験広場（約1,200㎡）

運営主体 （公財）横浜市ふるさと歴史財団（指定管理者）

実績 横浜市歴史博物館 令和4年度 常設・企画展示室入館者数：96,927人

連絡先 045-912-7777

エ 横浜開港資料館

開港期を中心とする横浜の歴史に関する資料を収集・保存・調査・研究し、その成果を広く市民に公開することにより、市民の横浜の歴史に対する理解を深め、文化の向上に寄与します。

設置 昭和56年6月開館

所在地 〒231-0021 横浜市中区日本大通3（旧英国総領事館）

開館時間 9時30分～17時（ただし、入館は16時30分まで）

※閲覧室開室時間は10時～12時、13時30分～15時30分

休館日 月曜日（祝日を除く）、年末年始（12月28日～1月3日）

※閲覧室は上記の休館日のほか、火曜日（祝日を除く）、月末整理日、資料整理週間等

施設概要 敷地面積：3,026㎡ 構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上3階地下1階

延床面積：2,900㎡（旧館・附属棟1,200㎡ 新館1,700㎡）、旧館は旧英国総領事館

運営主体 （公財）横浜市ふるさと歴史財団（指定管理者）

実績 令和4年度 常設・企画展示室入館者数：32,716人

連絡先 045-201-2100

オ 横浜都市発展記念館・横浜ユーラシア文化館

横浜都市発展記念館は、開港期以降の横浜の都市形成の歴史、市民生活の変遷及び横浜がはぐくんだ文化に関する資料を収集し、保管し、展示し、及び展示資料として市民の利用に供するとともに、その学習、調査等のため必要な事業を行うことにより、ふるさと意識の醸成、国際平和等に資するとともに、市民の学習、学術及び文化の発展に寄与します

横浜ユーラシア文化館は、ユーラシアの文化に関する資料を展示し、及び保管し、並びにこれらの資料を中心としてユーラシア諸地域の文化交流に関する調査研究等を行い、その成果を広く市民に公開することにより、国際文化都市横浜の発展に寄与します。

設置 両館とも 平成15年3月15日開館

所在地 両館とも 〒231-0021 横浜市中区日本大通12（旧横浜市外電話局）

開館時間 両館とも 9時30分～17時（ただし、入館は16時30分まで）

休館日 月曜日（祝日を除く）、年末年始（12月28日～1月3日）

施設概要	構造：鉄筋コンクリート造 地上4階、地下1階 延床面積：2,906.09㎡ (内、地下収蔵庫約200㎡ 1階受付及び事務室約200㎡ 2階ユーラシア常設展示室約300㎡ 3階企画展示室約200㎡ 4階都市発展常設展示室約300㎡)
運営主体	(公財)横浜市ふるさと歴史財団(指定管理者)
実績	横浜都市発展記念館 令和4年度 常設・企画展示室入館者数：34,990人 横浜ユーラシア文化館 令和4年度 常設・企画展示室入館者数：31,836人
連絡先	045-663-2424

カ 横浜市三殿台考古館

三殿台遺跡の出土品を中心に公開展示します。

設置	昭和42年1月31日開館
所在地	〒235-0021 横浜市磯子区岡村4-11-22 国指定史跡三殿台遺跡内
開館時間	4～9月：9時～17時、10～3月：9時～16時
休館日	毎週月曜日、年末年始(12月28日～1月4日)
施設概要	考古館本館 122.0㎡(収蔵庫 66.0㎡ 展示室56.0㎡) ・住居跡保護棟 431.0㎡ ・復元住居模型 3棟(19.6㎡、27.5㎡、22.1㎡) ・縄文式模型(中期・加曾利式E式期)、弥生式模型(中期・宮ノ台式期) ・古墳時代模型(後期・鬼高式期) ・遺構の標示施設(住居跡、その他遺構の位置、模型、形を石柱で標示)
運営主体	(公財)横浜市ふるさと歴史財団(指定管理者)
実績	令和4年度 入館者数：13,838人
連絡先	045-761-4571

キ 横浜市八聖殿郷土資料館

庶民の生活用具であった民俗資料を中心に収集を行い、公開展示しています。併せて安達謙蔵氏より寄贈された八聖像を保有しています。

設置	昭和48年3月29日開館
所在地	〒231-0822 横浜市中区本牧元町76-1 本牧臨海公園内
開館時間	9時30分～16時
休館日	第3水曜日、年末年始(12月28日～1月4日)
施設概要	延床面積：876.2㎡ 構造：RC塔屋、地下室付銅板付葺2階建 屋外展示棟：16.55㎡ 資料展示室、図書閲覧室
運営主体	(公財)横浜市ふるさと歴史財団
実績	令和4年度 入館者数：11,331人
連絡先	045-622-2624

(2) 図書館施設

横浜市中央図書館（1館）、各地域図書館（17館）

市民の生涯学習を支援・促進する場として、図書館資料の提供を行います。

設 置

大正 10 年から事業開始

所 在 地

【P.16 [横浜市立図書館一覧]参照】

開館時間

	中央図書館	地域図書館 (山内図書館を除く)	山内図書館
火～金曜日	9：30～20：30	9：30～19：00	9：30～20：30
土・日・月、祝(休)日	9：30～17：00		
年末年始	9：30～17：00（12月28日）、12：00～17：00（1月4日）		

休 館 日

施設点検日（月 1 回）、年末年始（12月29日～1月3日）、図書特別整理日

施設概要

【中央図書館】建物延面積：21,834.36㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造地上5階地下3階

事業概要

① 館内事業

- ・図書館資料の収集、閲覧
- ・図書館資料の利用相談、レファレンス（調査相談）
- ・講習会、展示会、おはなし会などの事業や読書普及活動

② 貸 出

- ・個人貸出…全館あわせて1人10冊まで、14開館日の貸出を実施
- ・団体貸出…読書活動の振興を目的として横浜市内で活動する地域団体、社会教育団体等で、会員が30人以上の団体に、会員数により1,000冊まで長期貸出を実施（中央、保土ヶ谷、金沢、港北、山内、戸塚図書館で実施）
- ・グループ貸出…横浜市内で読書に関する活動をしている、会員5人以上のグループに30冊まで30日間貸出を実施

③ 図書取次

予約した図書の貸出・返却ができる図書取次サービスを、市内11か所で実施

④ 電子書籍

1人2点まで2週間の貸出を実施

⑤ 移動図書館

移動図書館「はまかぜ号」で、2週間の間隔で市内30か所を巡回、個人貸出を実施

⑥ 障害者支援

- ・視覚障害者等支援…対面朗読、録音図書・点字図書の貸出等を実施
- ・配送貸出…来館困難な心身障害者を対象に実施

連 絡 先

【P.16 [横浜市立図書館一覧]参照】

横浜市立図書館一覧

(令和5年3月31日現在)

館名	設立年月日	所在地	電話番号
中央図書館	H6.2.22	〒220-0032 西区老松町 1	262-0050
鶴見図書館	S55.1.10	〒230-0051 鶴見区鶴見中央 2-10-7	502-4416
神奈川図書館	S62.10.21	〒221-0063 神奈川区立町 20-1	434-4339
中図書館	H1.5.21	〒231-0821 中区本牧原 16-1	621-6621
南図書館	H4.12.2	〒232-0067 南区弘明寺町 265-1	715-7200
港南図書館	S62.1.21	〒234-0056 港南区野庭町 125	841-5577
保土ヶ谷図書館	S57.5.7	〒240-0006 保土ヶ谷区星川 1-2-1	333-1336
旭図書館	S61.5.14	〒241-0005 旭区白根 4-6-2	953-1166
磯子図書館	S49.10.6	〒235-0016 磯子区磯子 3-5-1	753-2864
金沢図書館	S55.5.15	〒236-0021 金沢区泥亀 2-14-5	784-5861
港北図書館	S55.8.27	〒222-0011 港北区菊名 6-18-10	421-1211
緑図書館	H7.5.9	〒226-0025 緑区十日市場町 825-1	985-6331
山内図書館	S52.4.12	〒225-0011 青葉区あざみ野 2-3-2	901-1225
都筑図書館	H7.4.25	〒224-0032 都筑区茅ヶ崎中央 32-1	948-2424
戸塚図書館	S53.11.1	〒244-0003 戸塚区戸塚町 127	862-9411
栄図書館	H1.3.14	〒247-0014 栄区公田町 634-9	891-2801
泉図書館	H1.2.22	〒245-0016 泉区和泉町 6207-5	801-2251
瀬谷図書館	S60.1.17	〒246-0015 瀬谷区本郷 3-22-1	301-7911

3 地域の生涯学習 ～区における生涯学習推進・支援

区役所（18区）では地域振興課を中心に、市民に最も身近な行政機関として地域における生涯学習の推進・支援を各区の実情にあわせて進めています。また、地区センター、コミュニティハウスなどの区民利用施設でもさまざまな事業を実施しています。

（1）地域振興課について

昭和44年、婦人・青少年などの社会教育関係団体の育成、学級・講座などの社会教育事業の実施、社会体育の振興等を図るため各区に「社会教育係」（当時）が設置されました。平成6年、市民の学習ニーズの多様化に伴い、また生涯学習支援の観点から、地域の生涯学習施策を総合的に推進するため、機構改革により「社会教育係」と「地域文化振興担当」とを統合して「生涯学習支援係」に名称を変更し、充実・強化を図ってきました。平成16年から、地域の実情にあわせ、「生涯学習支援係」の名称をとっていない区もあります。

ア 社会教育の推進

環境、人権、福祉、教育、地域社会の問題などの現代的な課題をテーマに学習する学級・講座、つどいを開催するなどの事業を行っています。事業の実施にあたり、次の専門職員を配置しています。

社会教育主事（補）

1970（昭和45）年から区における社会教育の振興を目指し、各区地域振興課の職員1名を兼任の形で社会教育主事又は社会教育主事補として教育委員会が任命しています。

設置根拠 社会教育法 第9条の2

職務内容

- ・ 区における社会教育行政の企画・実践・計画に関すること
- ・ 社会教育における調査研究に関すること
- ・ 各種学級・講座、集会等の開設・運営・実施に関すること
- ・ 社会教育関係団体の指導者の研修に関すること
- ・ 社会教育関係団体との連絡調整に関すること 等

実績 令和4年度配置数：18人

社会教育指導員（会計年度任用職員）

1973（昭和48）年から、各区の地域振興課に1名ずつ配置しています。

設置根拠 横浜市社会教育指導員設置要綱

職務内容 市民の社会教育活動に対する指導及び助言を中心に、生涯学習の支援に関する業務を行う。

イ 青少年の健全育成

地域における青少年の健全育成活動を進めるため、次の事業等を行っています。

○青少年育成事業 ○青少年団体への支援 等

ウ 地域スポーツの振興

地域におけるスポーツの振興や区民の健康づくりを進めるため、次の事業等を行っています。

○スポーツ推進委員事業 ○スポーツ大会・教室の実施 等

エ 地域の文化振興

地域における文化振興を図るため、次の事業等を行っています。

○文化祭・コンサートの開催 ○文化団体の支援 ○文化活動の支援 等

オ その他関連課等

地域振興課の他、総務課（人権、選挙啓発等）、区政推進課（まちづくり等）、福祉保健センター（高齢者、障害者、地域福祉、健康づくり、母子保健等）の部署で様々な生涯学習事業を実施しています。

カ 市民活動・生涯学習支援センター

市民の自主的な学習活動や地域活動が活発化し、これらの活動に対する支援体制の充実とサービス拠点の整備が求められるようになったことを背景に、平成6年11月から順次「生涯学習支援センター」を設置しました。（平成12年度、18区に設置完了）さらに、平成16年度から平成20年度にかけて、順次区版市民活動支援センターとの複合化が進み、名称を「市民活動・生涯学習支援センター」とし、学びと活動を支援するセンターとして、更なる機能の充実が図られています。

市民活動・生涯学習支援センターでは、次の事業を実施しています。

（市民活動支援センター事業展開ガイドライン（令和4年3月改訂）に準ずる）

相談、コーディネート、ネットワークづくり

地域での活動に関心のある人、すでに地域で活動をしている個人・団体等からの活動等に関する相談への対応、地域の様々な主体をつなぐコーディネート・ネットワークづくりなど

情報発信

ニューズレターや冊子の発行、ホームページ、SNSの活用、メールマガジンの発行など

情報収集

団体登録、知識や技術を活かすボランティアの登録、活動団体や現場訪問、地域施設間の情報共有など

人材の発掘・育成・活用

区民企画講座の実施、活動機会の提供、地域施設間の情報共有など

施設間のネットワーク構築

地域施設間の情報共有会議等の実施・参加、地域施設・組織への訪問等による情報の共有など

講座・イベント

きっかけ作り講座、団体スキルアップ講座、体験講座、利用者懇談会・交流会、センター祭り、地域施設・団体との協働イベントなど

場の提供・機材の貸出

会議室・ミーティングコーナーの提供、利用者の活動に必要な機材の貸出、コピー機・印刷コーナーの設置など

(ア) 相談件数及び設備・機材利用件数

区	相談件数(件)		設備・機材利用件数 (件)						
	令和4年度	前年度	①	②	③	④	⑤	総利用件数	
			会議室等	ミーティング コーナー等	印刷機 (輪転機)	パソコン コーナー	機材貸出	令和4年度	前年度
鶴見	184	319	182	1,308	172	36	256	1,954	2,093
神奈川	168	160	289	368	279	20	219	1,175	968
西	333	489	0	2,674	185	0	10	2,869	2,960
中	1,429	391	1,238	1,468	234	9	1,506	4,455	3,737
南	1,645	1,548	1,850	456	227	0	545	3,078	2,129
港南	707	621	330	5,991	266	105	127	6,819	5,427
保土ヶ谷	386	396	1,008	1,301	981	164	654	4,108	3,310
旭	161	95	756	844	475	0	497	2,572	1,840
磯子	1,711	1,691	450	251	459	0	100	1,260	1,017
金沢	3,879	3,408	367	0	256	0	222	845	659
港北	1,510	1,013	132	67	108	0	186	493	329
緑	317	305	937	653	245	60	542	2,437	2,125
青葉	554	402	0	241	137	0	92	470	274
都筑	608	506	0	746	478	7	306	1,537	1,003
戸塚	1,186	941	1,087	1,225	116	2	565	2,995	2,362
栄	338	1,412	301	301	614	0	0	1,216	1,496
泉	633	501	229	0	0	0	70	299	338
瀬谷	272	125	0	290	341	8	381	1,020	834
合計	16,021	14,323	9,156	18,184	5,573	411	6,278	39,602	32,901

- ◇ 「0」は「設置なし」又は「カウントせず」を意味します。
- ◇ 会議室数やミーティングコーナーのテーブル数などは、各区により異なります。
- ◇ 本ページで取り扱っている件数は、「相談件数」と「設備・機材利用件数」についてまとめたものであり、市民活動・生涯学習支援センターの利用者総数や訪問者数を示すものではありません。

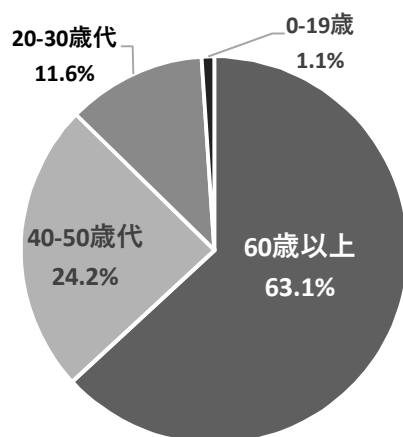
また、区によって保有する機材や会議室の数、開館時間、支援センター職員の人数等の設置状況が異なるため、一概に比較できるものではありません。

(イ) 相談内容の傾向など

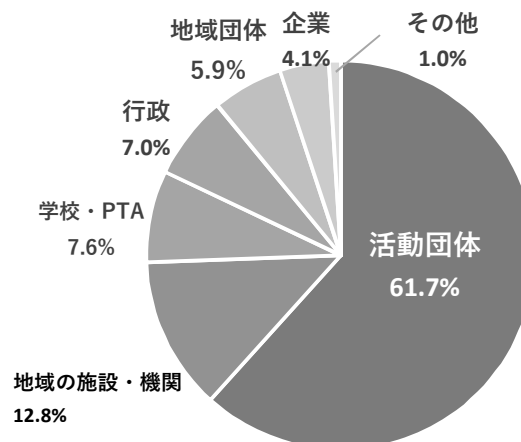
	相談内容	令和4年度	前年度
1	何かをはじめたい	626	541
2	地域課題	84	56
3	講座・イベント・教室等を探している	1,169	1,010
4	学習や活動の場所・施設・機関・モノを探している	1,049	1,053
5	学習や活動の人材、グループ・団体等を探している 情報を知りたい	2,182	1,721
6	人材、グループ・団体等として登録したい。活動したい	1,137	1,258
7	グループ・団体を立ち上げたい	55	42
8	グループや団体の人材	65	69
9	事業の企画、広報、PR	932	831
10	学習や活動の資金・財源	43	42
11	活動のための制度や法律、財務・会計・労務など	35	28
12	センターの施設利用・事業など	4,407	4,316
13	行政について	76	88
14	企業や商店街などについて	28	22
15	学校や大学など教育機関について	20	17
16	他の機関について	51	52
17	その他	4,757	3,696

◇ 1件の相談に対し、複数のコードを選択している場合があります。
そのため、前ページの相談件数の合計とは一致しません。

【個人相談の年齢別内訳】



【相談団体の内訳】



(2) 各区地域振興課及び市民活動・生涯学習支援センター令和4年度事業概要

本章では、各区地域振興課や市民活動・生涯学習支援センターの令和4年度事業概要について、地域のニーズや特色をとらえた事業を中心に紹介しています。

鶴見区	鶴見区地域振興課 (P.22)	つるみ区民活動センター (P.24)
神奈川区	神奈川区地域振興課 (P.26)	神奈川区区民活動支援センター (P.28)
西区	西区地域振興課 (P.30)	にしく市民活動支援センター (P.32)
中区	中区地域振興課 (P.34)	なか区民活動センター (P.36)
南区	南区地域振興課 (P.38)	みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ (P.40)
港南区	港南区地域振興課 (P.42)	港南区民活動支援センター (P.44)
保土ヶ谷区	保土ヶ谷区地域振興課 (P.46)	ほどがや市民活動センター (アワーズ) (P.48)
旭区	旭区地域振興課 (P.50)	旭区市民活動支援センター みなくる (P.52)
磯子区	磯子区地域振興課 (P.54)	いそご区民活動支援センター (P.56)
金沢区	金沢区地域振興課 (P.58)	金沢区民活動センター ゆめかもん (P.60)
港北区	港北区地域振興課 (P.62)	港北区区民活動支援センター (P.64)
緑区	緑区地域振興課 (P.66)	緑区市民活動支援センター みどりーむ (P.68)
青葉区	青葉区地域振興課 (P.70)	青葉区区民活動支援センター (P.72)
都筑区	都筑区地域振興課 (P.74)	都筑区民活動センター (P.76)
戸塚区	戸塚区地域振興課 (P.78)	とつか区民活動センター (P.80)
栄区	栄区地域振興課 (P.82)	さかえ区民活動センター (P.84)
泉区	泉区地域振興課 (P.86)	いずみ区民活動支援センター (P.88)
瀬谷区	瀬谷区地域振興課 (P.90)	瀬谷区民活動センター (P.92)

鶴見区（地域振興課区民活動支援係） 〒230-0051 鶴見区鶴見中央3-20-1 TEL045-510-1691～1693・1695

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民による生涯学習、スポーツ、文化活動、青少年育成、国際交流などの自主的な活動を支援するとともに、自主的・自発的な地域活動のきっかけとなるような多様な学習機会を提供します。

【令和4年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 地域文化・区民活動等推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・つるみ区民活動センターにおいて、学びや活動のきっかけづくり、活動及び発表の場の提供等、活動の段階に応じた多様な支援を行い、区民の自主的な活動や学びを推進しました。 ・区民に文化・芸術活動を発表する機会や、身近な場所で気軽に文化・芸術に触れられる機会を提供することによって、区内の文化交流や文化振興を推進しました。
(1) つるみ区民活動センター事業	<ul style="list-style-type: none"> ・活動団体や活動を始めようとしている個人・団体の支援、学習相談、情報収集、情報提供、登録団体パネル展、市民活動や生涯学習の情報紙「あぶりお」の発行（6回/年）ホームページ、Twitterも利用し、情報提供を充実しました。 ・「つるみMACHI塾」では、区内の生涯学習や市民活動等への関心を高める講座を全5回開催しました。「ちむどんどん」をきっかけとして、地域コミュニティの活性化や区の認知度向上につながる講義や、パネル作製を行いました。 ・ワークショップ「Zoom講座」では、デジタルデバイドの解消に向けて登録団体とともに取り組みました。 ・鶴見区の人材バンク紹介イベント「鶴見人ネットフェスタ」を開催しました。演技や作品の展示場所を提供することで、「鶴見人ネット」登録者のモチベーションアップと区民への周知につながりました。 ・区民利用施設職員を対象とした研修・交流会を3回開催し、施設間の顔の見える関係づくりを進め、つながりを強化しました。
(2) 地域文化推進事業	鶴見区文化協会が主催する区民文化祭の開催を支援しました。これにより様々な分野で文化活動をしている区民に発表の場を提供するとともに、芸術文化鑑賞の機会を提供し、文化活動への参加を促しました。
(3) 読書推進事業	「第二次鶴見区読書活動推進目標」の取組として鶴見図書館と連携し、読書講演会を1回開催しました。
2 青少年育成事業	地域社会における青少年の自主的活動と、その育成組織活動を推進することにより、青少年の健全育成を図りました。
(1) 青少年指導員事業	青少年の健全な育成に向けて、より良い地域環境をつくるため、青少年指導員が行う活動に対し、支援を行いました。
(2) 青少年交流活動推進事業	青少年育成サイエンス交流事業 横浜サイエンスフロンティア高等学校と連携し、地域の青少年が理系分野に興味を持つ機会を作ることにより、科学・理科の側面から青少年の健全育成を推進しました。
(3) 学校・家庭・地域連携事業	区内の中学校区における学校・家庭・地域が連携した青少年の問題行動防止や健全育成活動事業に補助金を交付し支援しました。
3 区民スポーツ振興事業	生涯スポーツの普及・振興を目的とする諸団体の活動支援を通じ、団体の育成を行いながら区民の健康増進、地域コミュニティの形成を図りました。
(1) スポーツ協会への補助事業	スポーツ協会に補助金を交付し、様々な区民スポーツ大会を支援しました。これにより区民がスポーツを身近に楽しむ機会を提供しました。
4 スポーツ推進委員事業	地域におけるスポーツ振興を図るため、スポーツ推進委員が行う活動に対し、支援を行いました。
5 多文化のまち・つるみ推進事業	多文化共生推進の拠点となる鶴見国際交流ラウンジの運営を委託し、外国につながる子どもたちの学習支援や、ボランティアの育成等を行いました。
6 鶴見区民まつり支援事業	区民のふるさと意識を醸成し、相互の交流や親睦を深めるため、各フェスティバル実行委員会の企画・運営を支援しました。
7 区民利用施設の管理・運営	区民利用施設での事故を防止し、利用者の安全を確保するために、施設の点検や修繕を行いました。

鶴見区 令和4年度 主な実施事業

● 生涯学習・社会教育事業「つるみ MACHI 塾」 (つるみ区民活動センター事業)

「ちむどんどん」をきっかけに、鶴見区の歴史、文化、暮らしなど様々な区の魅力を学ぶきっかけを提供し、生涯学習や市民活動への関心を高める講座を実施しました。講座内では参加者それぞれが鶴見を調べたパネルを作製し、講座終了後には区役所1階区民ホールで展示を行いました。

開催日 第1回：令和4年6月4日
第2回：令和4年7月2日
第3回：令和4年8月6日
第4回：令和4年9月3日
第5回：令和4年9月24日

参加者数 23人

講師名 安井 裕子 (NPO 法人 まちラボ理事)

市民の声 「鶴見のことをもっと知りたくなった」
「各班の発表を聞き、鶴見のまちを歩きたくなった」



つるみ MACHI 塾の様子



パネル作製・発表を行う参加者

● 青少年育成サイエンス交流事業 (青少年交流活動推進事業)

横浜サイエンスフロンティア高等学校と協働し、森永製菓株式会社協力のもと、異なる年齢間の子どもたちが、チョコレートの乳化についての講義と実験を通じて交流する「チョコレートを科学する～おいしさのひみつ～」を開催しました。

開催日 令和4年8月6日

参加者数 22人

市民の声 「乳化について、楽しく学ぶことができ、理科により深い興味を持つことができた」
「チョコレートが滑らかになる秘密をサイエンスの生徒の方たちが優しく、詳しく教えてくれた」



講義の様子

● 読書講演会 (読書推進事業)

脚本家の羽原大介 (はばらだいすけ) 氏を講師としてお招きし、脚本家、連続テレビ小説「ちむどんどん」、及び読書についてお話を伺いました。

開催日 令和4年12月24日

参加者数 70人

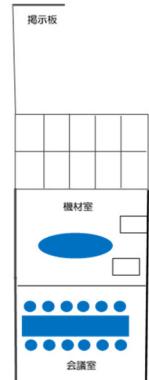
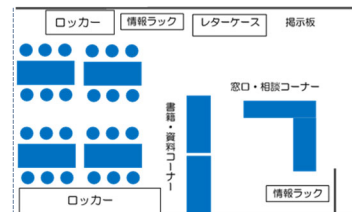
市民の声 「創作することの大変さ、素晴らしさを感じた」
「作品を作り上げることについて、初めて知ることが多く、良い時間を過ごせた」



講演会の様子

つるみ区民活動センター

住所	鶴見区鶴見中央3-20-1 鶴見区役所2階
交通	JR 鶴見駅 徒歩7分
電話	045-510-1694
FAX	045-510-1716
利用時間	月曜～土曜、祝日 8:45～17:00 第3水曜 8:45～21:00 ※第3水曜が祝日の場合は17:00まで
休館日	日曜・年末年始・施設点検日



センターの特長

縄文時代の遺跡も多く見られ、旧東海道の合の宿として賑わった時代や、別荘地としての顔をもっていた鶴見は、戦後、京浜工業地帯の中核として発展し、外国人の方が多く住む国際色豊かなまちとなりました。歴史や文化を重んじる一方、新しいものも積極的に受け入れてきた地域の特性をいかす自主事業の企画・実施と、相談者自身の学びや活動につながる助言やコーディネートが行えるよう努めています。

学習情報の提供

学習を進めるための情報や活動のきっかけとなるような情報を利用者のニーズに合わせて提供しています。

- 生涯学習情報紙「あぶりお」の発行
- 「鶴見区団体・サークル名簿」の発行（閲覧用）
- 「利用登録団体一覧表」の発行（閲覧用）
- 団体活動紹介ファイルのコーナーを書庫に開設
- 小中学生の調べ学習用図書一覧の提供
- ネット検索性パソコンコーナー開設（閲覧用）

学びや活動の相談・コーディネート

生涯学習を行ううえでの相談や、活動を進めるうえでの悩みなどについて、相談員と一緒に考えアドバイスします。また、生涯学習ボランティア「鶴見人ネット」に登録された方と団体・施設とのコーディネートを行っています。

ミーティングコーナー・会議室・作業コーナー（印刷機・紙折機・帳合機・断裁機）の提供

打合せや作業をするためのコーナーや会議室があります。ご利用いただくには、事前に「団体利用登録」や「貸出機材利用登録」が必要となります。また、登録団体は貸しロッカー・レターケースもご利用いただけます。

学習機材の貸出（貸出機材利用登録後、予約優先）

学びや活動に必要な機材の貸出しを行っています。

貸出機材一覧：パソコン・プリンター・プロジェクター・CD ラジカセ・マイク・電動ステープラー・パウチ・拡声器・スクリーン

つるみ区民活動センター 令和4年度 主な実施事業

● 鶴見区の人材バンク紹介イベント「鶴見人ネットフェスタ」

鶴見人ネットに登録している方々の活動内容を演技やパネルで紹介する「鶴見人ネットフェスタ」を開催しました。

演技部門 12 団体、展示部門 3 団体の参加者が、マジック、楽器演奏、ダンス、落語、紙芝居など、バラエティーに富んだ演目を多くの観客の前で披露しました。

開催日 令和4年10月8日

参加者数 42人

市民の声 「コロナもあり日頃このような発表の機会は少ないが、たくさんの観客の前で披露できて良かった」



参加団体によるパフォーマンス

● 生涯学習・社会教育事業「区民の ICT 活用講座」

区民の地域活動を ICT 活用でより活発にすることを目的に、区内の活動団体と協力して、初心者向けの Zoom 講座を実施しました。

開催日 第1回：令和4年4月23日

第2回：令和4年11月12日

参加者数 第1回：17人

第2回：8人

講師名 山口 貞彦（パソコン・ボランティア協会）

市民の声 「家に帰ってからも講座で教わった内容を再度できるかやってみようと思った」



Zoom 講座の様子

● 子ども向け「工作教室」

子どもや子育て世代に、センターへの親しみやすさや認知度向上を図るため、主に小学生を対象とした工作教室を開催しました。

開催日 第1回：令和4年8月20日

第2回：令和5年2月4日

参加者数 44人

市民の声 「新しいことを一緒に行う機会楽しかった」
「このような活動をされていることを初めて知った」



紙織バッグ作りに励む参加者

神奈川区（地域振興課） 〒221-0824 神奈川区広台太田町3-8 TEL.045-411-7092・7093

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

現代的課題や地域における課題を区民と協働で解決することを目指し、健康で楽しく暮らせるまちづくりを進めます。また、区民自らが解決する場と情報を提供します。

【令和4年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 生涯学習推進事業	
(1) 市民活動・生涯学習支援事業	区民がよりよい地域づくり、住みやすいまちづくりを目指す、自主的で自立した市民活動・生涯学習活動を支援するとともに、事業を通じて区民との協働を推進しました。 また、区民活動支援センターの事業として、各種活動支援講座の開催や区民活動支援センターだより「ぐるーぱる・あい」を発行しました。
(2) かながわ湊フェスタ	区内で活動する多種多様な市民活動団体・生涯学習団体等が自らの活動をPRする場とするとともに、かながわ湊フェスタへの参加をきっかけに、市民活動団体・生涯学習団体や活動者同士が交流を深めることで活動の活性化を図りました。また、来場者が生涯学習・市民活動を始める手がかりとなることで、いきいきと活動する区民を増やし、地域の活性化を図りました。
(3) 神奈川区生涯学級	区民が運営委員会を組織し、企画・運営をしている生涯学習講座を開催しました。運営委員同士のつながりや、講座の運営方法のスキル等が深まる中で、運営委員会から区民活動の核となる人材が羽ばたいていくことを目指しています。
2 青少年育成事業	
(1) 青少年指導員事業	青少年指導員の活動を支援し、親子ふれあい型事業など、青少年の健全育成を目的とした事業を実施しました。
3 区民スポーツ振興事業	
(1) 区スポーツ協会支援事業	区スポーツ協会の活動を支援し、年間を通じて各種スポーツ大会・教室等を開催することにより、生涯スポーツの促進を図りました。
(2) 郷土の歴史を未来に生かす事業	スポーツ推進委員の活動を支援し、スポーツ・レクリエーション活動を推進することにより、区民の健康増進、地域コミュニティの実現を図りました。
4 地域文化振興事業	
(1) 文化活動支援事業	区文化協会の活動を支援し、区民音楽祭、文化展等、地域文化の振興を図る事業を開催しました。
5 区民スポーツ振興事業	
(1) 子育て・青少年元気づくり支援事業	青少年が自主的に取り組んでいるバンド活動等を披露する場をつくり、地域の活力の向上や青少年の健全育成につなげることを目的として、青少年パワー発揮事業「B-SKY FES」の実施を支援しました。

神奈川区 令和4年度 主な実施事業

● 神奈川区生涯学級

区民による自主活動グループ（運営委員会）を立ち上げ、地域活動の担い手となるような人材の育成を目指しています。それぞれの運営委員会が企画・運営まで携わった「神奈川区生涯学級」を開催し、区民と共に地域課題の解決を目指しています。

開催日 令和4年9月～12月

主な活動 シニア・子育て・国際をテーマに連続講座を企画



区民企画型講座の様子

● かながわ湊フェスタ 2022

～神奈川区区民活動支援センター活動PR展～

市民活動団体・生涯学習団体等が自らの活動をPRし、活動者同士が交流を深める場として、神奈川スポーツセンターで開催しました。

湊フェスタは、市民活動団体・生涯学習団体等で構成される実行委員会の企画・運営及び参加団体等の協力により実施しています。

開催日 令和4年11月6日

参加者数 31団体が参加、約1,000人が来場



かながわ湊フェスタ 2022の様子

● 読書活動推進講演会

神奈川区読書活動推進目標に基づき、区民の読書活動を推進するため、講演会を開催しました。

令和4年度は、3年ぶりに有観客での講演会とし、定員の倍を超える応募者を集めました。読書の楽しさや魅力が1人でも多くの区民に広がるように取り組みました。

開催日 令和4年12月18日

講師名 安田 登（能楽師）

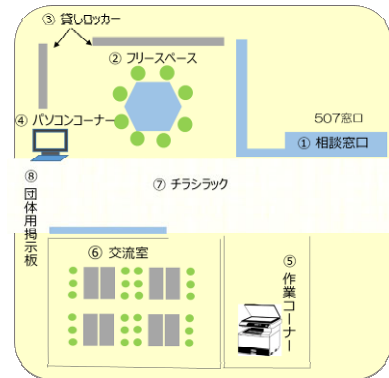
参加者数 209人



令和4年度読書活動推進講演会 チラシ

神奈川県区民活動支援センター

住所	神奈川県広台太田町3-8 神奈川県総合庁舎5階
交通	JR東神奈川駅、京浜急行京急東神奈川駅、 東急東横線反町駅 各駅から徒歩7分
電話	045-411-7089
FAX	045-323-2502
利用時間	8:45~17:00
休館日	土日・祝日・年末年始



センターの特長

神奈川県区民活動支援センターは平成16年9月、横浜市では最初にできた市民活動・生涯学習支援センターです。神奈川県は、海に面していることから、鎌倉時代から神奈川湊（みなと）として賑わい、江戸時代には東海道沿いで神奈川宿として栄えるなどして発展してきました。

現在は、「海」と「緑」と「丘」のある表情豊かな街として多くの区民に愛されています。

相談、コーディネート、ネットワークづくり

これから市民活動やボランティア活動、生涯学習をしたい人や活動を広げたい人、様々な分野の学習機会を求めている人に講座・イベント・施設・人材等の情報提供や学習相談を行います。

情報発信

団体情報「団体サークルガイド」、人材情報「かながわ区民助っ人BANK」の冊子発行等を通じて、生涯学習やまちづくり、教育、福祉などの幅広い分野でボランティア活動をしたい人と、ボランティアを頼みたい人との橋渡しをします。

場の提供・機材の貸出

- 交流室：市民活動団体、生涯学習グループの打合せや会議ができます。（要登録）
- ミーティングスペース：資料整理、情報収集、情報閲覧、打合せがいつでもできます。

神奈川県区民活動支援センター 令和4年度 主な実施事業

● 活動者支援

「みんなの文化祭～想いのバトンをつなげよう～」

新型コロナウイルス感染症の影響で活動ができない、仲間と会えないという登録者向けに始めた企画で、今回で2年目の開催となりました。活動発表の場所を提供し、再び仲間と活動する機会をつくることで、今後の活動継続に向けて励みになる催しとなりました。

開催日	令和4年4月25日ほか
参加者数	延べ837人
市民の声	「団体活動の発表の機会をいただけて大変嬉しかった」

● 助っ人BANK講座

「Zoomの活用支援講座」

自治会町内会も含めた登録者向けに少しでも活動が継続できるよう、Zoomの講座を開催しました。また、講師に助っ人BANK登録者を活用することで、活動の場を提供しました。

開催日	令和4年9月9日ほか
参加者数	計14人
講師名	高見 知英(特定非営利活動法人 まちづくりエージェンツ SIDE BEACH CITY.)



助っ人BANK講座の様子

● 施設間連携事業

「神奈川県地域施設間連携会議」

区内34施設を対象に、顔の見える関係づくりや情報共有、互いの連携を深めるため、「顔が見える関係から心の通い合う関係へ」をテーマに学びました。

開催日	令和4年11月29日ほか
参加者数	計51人
講師名	伊吾田 善行(国際協力NGO Act for Child)

「かなさんぽ あなたのチカラを活かすコト×場さがし」

神奈川県区民活動支援センターと神奈川県地域子育て支援拠点「かなーちえ」及び神奈川県社会福祉協議会との合同で、市民公益活動を始めるきっかけをつくる講座を開催しました。

開催日	令和4年9月17日ほか
参加者数	20人
市民の声	「街を歩きながら、様々な活動を行う施設を知ることができて勉強になった」



施設間連携事業のチラシ

西区（地域振興課） 〒220-0051 西区中央 1 - 5 - 10 TEL.045-320-8390～8393・8396

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民一人ひとりが、学びや活動によって自らの課題を自らの手で解決する力を高め、主体的に社会参加していくことを目標としています。

そのために、区民の自発性に基づく学習・文化・スポーツ活動等の振興と、社会のさまざまな課題に対応した各種生涯学習事業を推進するとともに、地域における連帯意識の醸成を図るための環境整備や支援を進めています。

【令和4年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 区民活動支援関係	
(1) にしく市民活動支援センター事業	市民活動がより活発化され、誰もがいきいきと生活できる元気な地域が創られるように、区民の皆さんの活動や生涯学習を支援しました。
(2) 市民活動・生涯学習支援事業	オンライン会議を中心としたICT活用方法について、地域の方向けにアドバイスできるICTサポーターの養成を目指す講座を実施しました。また、西区のまちの魅力の「見つけ方」「伝え方」について学び、アプリを通じて実際に発信する講座を実施しました。
(3) 読書活動推進事業	区民の方々が身近な場所で読書活動を楽しむことができるよう、区役所・図書館・学校等が連携して読書活動の推進に取り組みました。
2 地域文化振興関係	
(1) 西区文化協会活動支援事業	絵画、書道、写真等の作品を展示する創作展の開催や、西区の歴史や著名人を紹介する情報誌「にしぶんか」の発行に係る事業を支援しました。
3 青少年関係	
(1) 青少年育成団体支援事業	青少年の健全育成を目的とする青少年指導員の活動を支援しました。
(2) 西区子ども会支援事業	西区子ども会、西区文化協会と連携し、子ども書道教室を開催しました。出来上がった作品は、西区役所内にある区民ホールに展示し、子ども書道展として公開しました。
4 スポーツ関係	
(1) スポーツ活動団体支援事業	スポーツ推進委員の活動や、スポーツ協会の事業等を支援しました。
(2) 西区ハマのウォーキングフェスティバル事業	区内の各種団体で構成される西区スポーツ振興事業推進委員会により、区民の健康づくりや西区の魅力発見等につながるコースを設定し、ウォーキングイベントを開催しました。

西区 令和4年度 主な実施事業

● 「にしく ICT サポーター」養成講座

ICT に詳しい人材を掘り起こし、受講者が地域の担い手として市民活動の機会や場を増やすことの支援を目的として、オンライン会議を中心に、ICT の活用方法について地域の方にアドバイスできるサポーターの養成を目指す講座を実施しました。また、講座終了後には、サポーター実践の場としてオンライン会議体験会を実施しました。



オンライン会議体験会の様子

開催日	令和4年8月26日、9月14日、10月14日
参加者数	11人
講師名	飯塚 洋平（Rosso Academy 代表）
市民の声	「ゲスト参加とホスト主催の違いなど、実際に体験しながら学ぶことができた」

● 読書活動推進講演会

読書の魅力を広く区民の皆様にお伝えすることを目的に、講演会を実施しました。神奈川大学と連携して実施したほか、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントが運営する小説やイラストを中心にしたソーシャル・ネットワーキング・サービス「monogatary.com」と連携し、本講演会に関連してコラボプロジェクトを実施しました。



講演会実施広報チラシ

開催日	令和5年2月25日
参加者数	90人
講師名	屋代 陽平（株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント所属）

● 西区ハマのウォーキングフェスティバル事業

第16回ハマのウォーキングフェスティバル

「水の流れと巡る西区まち歩き」

幅広い世代を対象にウォーキングへの興味を喚起し、ウォーキングを通じた心と体の健康づくりの普及・啓発を図ることや、イベントを通じた西区の魅力再発見など地域の活性化に寄与することを目的に開催しました。

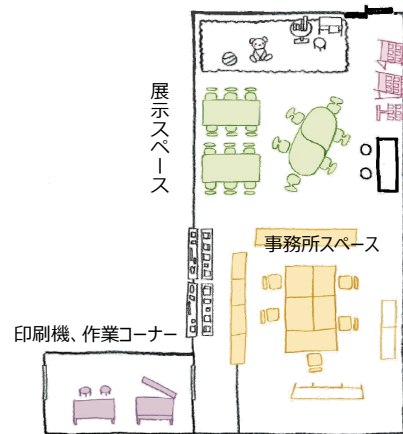


第16回ハマのウォーキングフェスティバルの様子

開催日	令和4年12月4日
開催場所	戸部公園運動広場（スタート）～臨港パーク潮入の池（ゴール）
参加者数	641人

にしく市民活動支援センター

住所	西区中央1-5-10 西区役所1階
交通	京浜急行戸部駅 徒歩8分 相鉄平沼橋駅 徒歩10分
電話	045-620-6624
FAX	045-620-6624
利用時間	9:00~17:00
休館日	水曜(祝日含む)・年末年始



にしく市民活動支援センター「にしとも広場」の特長

にしく市民活動支援センターは、西区役所1階にあり、明るくオープンな、居心地のよい空間です。区役所や区内施設と連携し、つながりのハブ・情報のハブとなり、地域の皆様の活動がより広がるよう運営しています。

相談、コーディネート、ネットワークづくり

生涯学習・市民活動の情報を集め、相談者へ情報の提供を行っています。

情報発信・収集

各種登録団体の活動内容やメンバー募集等の情報提供、情報誌の発行等を行っています。

人材の発掘・育成・活用

仕事や趣味等で培った知識や経験・特技などを活かして、地域の様々な場面でボランティアとして活動する人達「人財バンク」の登録、紹介(コーディネート)を行っています。また、西区地域づくり大学校などの講座や相談を通し、地域で活動する人材の発掘・育成をしています。

場の提供・機材の貸出

ミーティングスペース(18人以下)で講座・イベント、会議・打合せができます。印刷機や紙折り機が使えます。プロジェクターやマイク等の貸出があります。

にし市民活動支援センター 令和4年度 主な実施事業

● 新しいつながりの形「好きなもん広場」

西区で暮らす人や働く人の「好きなこと」「やりたいこと」「活動していること」をきっかけに、新しい出会いが広がることを目的として、参加者同士の対話を中心に、月1回、テーマを設け、計6回実施しました。参加者の要望を受け、他施設で開催となったテーマもありました。

主なテーマ 「映画」「スカーフアレンジ」「江戸時代」

開催日 令和4年4月～9月

参加者数 計32人



スカーフアレンジのチラシ

● 登録人材ボランティアの活動支援「来て・見て・聞いての日」

季節に合わせた企画も含め、年13回開催しました。希望者が多い企画には複数回の開催や別会場を準備するなど、参加の機会を増やしました。また参加者の要望で、自主事業として定期開催となる活動もありました。



登録人材ボランティア活動の様子

● 情報の発信・提供

情報紙『にしとも広場』20号は災害復旧・復興期のつながりをテーマに、ページ数を増やし特集号としました。また、にしとも広場のイベント案内を主とした「にしとも広場 mini」を年4回発行しました。館内の壁面や小箱棚を利用したアート展を開催し活動の周知につなげました。(登録団体10組が参加) センターではホームページとフェイスブックで情報発信をしていますが、これからの時代に合わせたSNSを検討するため、利用者・活動者等に情報媒体の利用調査を実施し分析しました。



情報紙『にしとも広場』

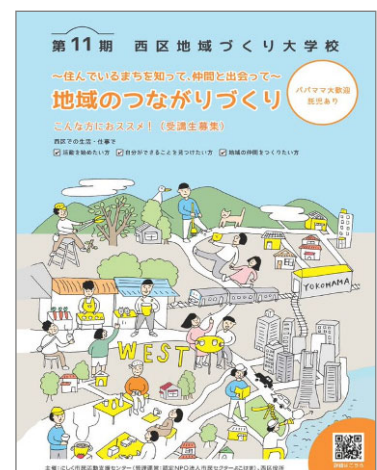
● 西区地域づくり大学校

第11期となる令和4年度は「地域のつながりづくり」をテーマに、講座終了後も続く仲間づくりを意識した講座内容でした。大学生も含め20代から60代と幅広い年代の方が参加しました。区政推進課と連携し、丁寧なフォローアップやコーディネートを中心に、にしとも広場を利用した自主企画化や、既存活動団体への参加、地域の施設でのボランティア活動等につながりました。

開催日 令和4年11月～令和5年2月 全4回

参加者数 18人

市民の声 「自分の思いを形にできた」「地域との距離が縮まった」
「活動のサポートがあり安心できた」



西区地域づくり大学のチラシ

中区

(地域振興課 市民活動支援担当、
文化・スポーツ・青少年等担当) 〒231-0021 中区日本大通 35 TEL.045-224-8134~8138

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民が市民力を発揮して新しい公共を創造し、地域の様々な課題解決の担い手となっていけるよう、区民の活動を段階に応じて育成・支援するとともに、活動に有効な情報提供を行います。

また、区役所内各課、区内各施設との連携を一層深め、青少年指導員やスポーツ推進委員、区内で活動しているNPO団体などのボランティアと協力して、区民が楽しみながら活動し、学び、地域に親しむ機会を提供することを目的とする事業を企画し、実施します。

【令和4年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 区民活動支援事業	
(1) 市民活動支援事業	「なか区民活動センター」を拠点に、市民活動団体の活動支援やボランティア人材の活躍の場の創出やコーディネート、区民利用施設との連携事業等を行いました。
(2) 生涯学習支援事業	地域で活躍する人材の育成や生涯学習、人材活用のための事業・講座等を実施しました。
(3) 文化活動支援事業	中区で活動する文化活動団体の自立を図るとともに催事の魅力を高めるため、地域の文化事業の支援を行いました。
(4) 読書活動推進事業	区内の施設や団体と連携し、区民の読書推進及び施設・団体間の連携強化を目的としたイベント等を実施しました。
2 多文化交流事業	
(1) なか国際交流ラウンジ運営事業	「なか国際交流ラウンジ」を運営し、外国人市民に情報提供するとともに、日本語教室の開催や外国につながる若者の居場所作り、多文化共生理解事業等を行いました。
3 青少年育成事業	
(1) 青少年指導員事業	青少年指導員による、地域社会における青少年育成活動の支援等を行いました。
(2) 青少年活動への補助事業	区内青少年団体の活動を支援するため、補助金の交付を行いました。
3 地域スポーツ振興事業	
(1) スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員による地域におけるスポーツ活動の支援を行いました。
(2) 体育協会への補助事業	区民の生涯にわたる健康増進と地域社会の連帯を図るため各種区民スポーツ大会の開催支援等を行いました。

中区 令和4年度 主な実施事業

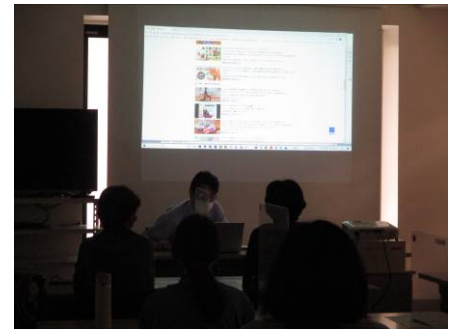
● なか区風おこせ！プロジェクト

「動画編集ボランティア養成講座」(全3回)

なか区民活動センターを拠点に動画撮影及び映像編集を行うボランティア活動の養成講座を行いました。動画編集の講座をはじめ、今後も活動を続けてもらうよう、グループワーク等も行い、参加者の関係づくりにも力を入れました。受講者は、養成講座受講後、動画編集ボランティアとして活動しています。

開催日 | 令和4年7月30日、8月6日、20日

参加者数 | 13名(先着)



動画編集ボランティア養成講座の様子

● 中区多文化フェスタ

なか国際交流ラウンジ多文化共生ボランティアがそれぞれの母国文化の紹介ワークショップを行い、地域住民をおもてなしする目的で実施しました。

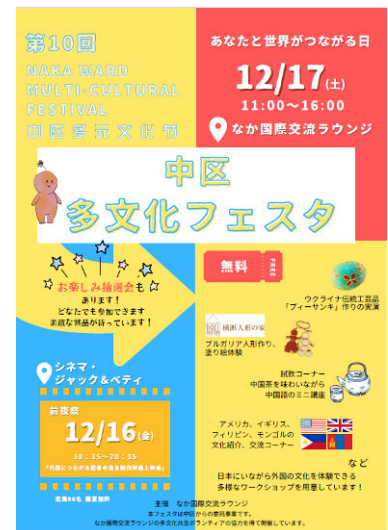
前夜祭では、多文化共生の推進を目的に自主制作した映画をシネマ・ジャック&ベティで上映しました。

【主なワークショップ】

ブルガリア人形作り、ウクライナ伝統工芸品「プーサンキ」作りの実演、中国茶の試飲コーナー等

開催日 | 令和4年12月16日、17日

参加者数 | 約500人



多文化フェスタチラシ

● インクルーシブスポーツ体験会

障害の有無や年齢等に関わらず、誰でも気軽に楽しむことができるインクルーシブスポーツの魅力を広く知っていただけるよう、体験会を開催しました。今後もインクルーシブスポーツの普及を推進していきます。

開催日 | 令和4年5月29日

開催場所 | 大さん橋ホール

参加者数 | 約1,200人

【体験できる主なスポーツ】

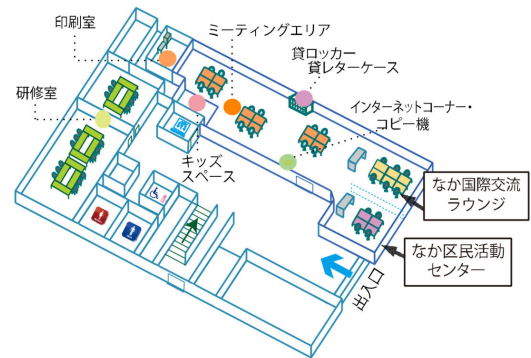
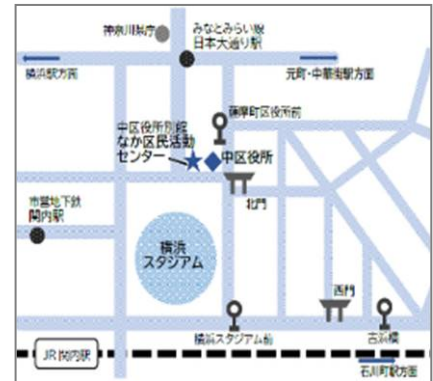
- 車いすバスケットボール (車いすの操作やミニゲーム)
- ブラインドサッカー (目隠しで行うサッカー)
- ボッチャ (カーリングに似た競技) 等



車いすバスケットボールの様子

なか区民活動センター

住所	中区日本大通 35 中区役所別館
交通	JR 関内駅（南口）より徒歩 7 分 市営地下鉄関内駅(1 番出口)より徒歩 7 分 みなとみらい線日本大通り駅(3 番出口)より徒歩 4 分
電話	045-224-8138
FAX	045-224-8343
利用時間	月曜～金曜 9:00～21:00 土曜・日曜・祝日 9:00～17:00
休館日	第 3 日曜・年末年始



センターの特長

なか区民活動センターは、横浜市の中心部に位置し、アクセスも良好です。平日夜間や土日も開庁しており、区内だけでなく区外・市外在住の方からも多くご利用をいただいております。

相談、コーディネート、ネットワークづくり

- ボランティア・子育て・教育・国際・スポーツ・文化など様々な分野のチラシを配架しています。
- 新しく学習・市民活動を始める方の相談を受け付けています。

情報発信・収集

- なか区民活動センターの情報紙「なかぼぼら」を隔月で発行し、団体の活動に役立つ情報を PR しています。
- なかく街の先生を紹介する「なかく街の先生ガイド」、区民利用施設で活動するサークル・団体を紹介する「なかく活動ガイド」を発行・配布しています。

人材の発掘・育成・活用

中区のボランティア人材バンクである「なかく街の先生」を登録・運営し、各種施設や地域・学校等に対して、事業やイベントで活躍できる講師を紹介しています。

場の提供・機材の貸出

- ミーティングエリア：コピー機（有料）
- 印刷室：印刷機（有料）・紙折機・丁合機

センターに登録している市民活動団体は、貸出用のパソコン・プロジェクター・ロッカー・レターケースなどを無料で利用できます。

なか区民活動センター 令和4年度 主な実施事業

● 団体支援事業

なか区民活動センター祭り

中区民まつり「ハローよこはま」と同日開催で登録団体等がミニ講座、ワークショップ、作品展示等を行いました。

開催日 | 令和4年11月13日

参加者数 | 約800人



なか区民活動センター祭りのチラシ

誰もが暮らしやすい地域をめざして多文化共生のまちを考える

～私たちにできること～

日本語支援拠点施設「ひまわり」日本語支援アドバイザーを講師に迎えグループワークを行いました。

開催日 | 令和5年1月22日

参加者数 | 17人

なかく活動ガイド発行（3月発行）

中区で活動する生涯学習や趣味のサークル、ボランティア等に取り組む団体を紹介するガイドを更新しました。

活動ガイド発行記念「春フェスタ」

なかく活動ガイド冊子のPRとして、中区の施設で活動している団体が発表や作品展示を行いました。

開催日 | 令和5年3月25日

参加者数 | 約250人



なかく活動ガイド

● 人材活用事業

街の先生オープン講座

なかく街の先生の活用を目的に、区民利用施設で講座を開催しました。

- 手織りワークショップ～コースター&ミニタペストリー～
- 弦楽器制作のプロに教わるキットを使ったウクレレ作り
- 初めての切り絵講座

● 区民利用施設連携事業

区民利用施設スタンプラリー

区民利用施設のPRを目的に23施設を巡るスタンプラリーを実施しました。スタンプラリーに合わせて25施設（2施設休館中）の利用案内や、アクセス方法等を紹介した冊子を作成して配布しました。

開催日 | 令和4年10月15日～11月30日

参加者数 | 1,180人



区民利用施設スタンプラリーのチラシ

南区（地域振興課区民活動推進係） 〒232-0024 南区浦舟町 2-33 TEL.045-341-1238

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

地域活動に参加するきっかけづくりや、区民ニーズにあった市民活動の情報提供に努めています。また、区民が企画運営する講座を実施する中で、地域のつながりをひろげ、担い手づくりをすすめます。さらに、地域の特性や現代社会の課題（少子・高齢化社会、国際化など）を視野に入れながら、人材育成や地域文化・スポーツの振興などをめざして事業を展開しています。

【令和4年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 生涯学習の推進	
みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ事業（市民活動支援センター及び国際交流ラウンジ）	情報提供、相談及びコーディネートや講座や活動の場の提供を通じ、地域の生涯学習や市民活動を支援しました。また、国際交流ラウンジとして、外国人市民のための生活相談や情報提供、多文化共生ボランティアの派遣、活動支援などを行いました。
2 青少年育成事業	
(1) 青少年健全育成活動支援事業	青少年の健全育成を目的に、青少年指導員協議会へ補助金を交付し、現代の青少年の気持ち・考え・意識を把握・理解する「ボイス・オブ・ユース（青少年の主張）」を開催しました。
(2) 青少年指導員事業	青少年指導員の地域活動を通して青少年の健全育成を図りました。
3 地域スポーツ振興事業	
(1) スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員の活動を通してスポーツ・レクリエーションの振興を図りました。
(2) スポーツ協会への支援事業	加盟している種目別競技団体を支援して、スポーツ振興を図りました。
4 区民文化活動支援事業	
(1) 南区文化祭支援事業	区民の文化活動を支援するとともに、南区の文化振興を図るため、区民が主体となる実行委員会に補助金を交付し、南区文化祭を実施しました。
(2) みなみ区民文化活動支援事業	区民の文化活動の活性化及び賑わいの創出のため、活動団体が自主的・主体的に企画、実施する事業に対して文化賑わい支援補助金を交付しました。
(3) 読書活動推進事業	読書活動講演会を開催したほか、区内の小・中学校の読書活動の取組紹介、秋の読書月間に合わせたイベントガイドの発行等、読書活動の推進を行いました。
5 一時託児事業	子育て世代の社会参加を促進するため、区の主催する事業への参加者に対し保育協力者（ボランティア）派遣などを行いました。

南区 令和4年度 主な実施事業

● 青少年育成事業「ボイス・オブ・ユース（青少年の主張）」

現代の青少年の気持ち・考え・意識を把握・理解し、地域活動を通して青少年の健全育成を図るため「ボイス・オブ・ユース」を開催しました。区内在住または在学の小学校3年生から20歳までを対象に作文を募集し、青少年指導員による選考を行い、入選者による作文発表及び表彰を行いました。

開催日 令和4年12月4日（表彰式）

参加者数 1,714人（応募数）、119人（表彰式）



ボイス・オブ・ユース表彰式

● スポーツ振興事業 南区地区対抗グラウンドゴルフ大会

スポーツ推進委員の活動を通してスポーツ・レクリエーション振興を図りました。地区対抗グラウンドゴルフ大会はこれまでに24回開催されており、健康づくりのほか、地域交流の場にもなっています。

開催日 令和4年6月5日、令和5年2月26日

参加者数 延べ150人



グラウンドゴルフ大会

● 読書活動推進事業

区内小中学校の読書活動の取組展示や、区民が読書に親しむきっかけづくりとして、講演会等を開催しました。

読書活動推進講演会「読むこと、書くこと、探検すること」

開催日 令和4年9月19日

参加者数 219人

講師名 角幡 唯介（作家・冒険家）



読書活動推進講演会のチラシ

読書活動推進講演会「物語絵本と科学絵本～生きる力と智恵を育む～」

開催日 令和4年12月18日

参加者数 33人

講師名 石田 栄吾（福音館書店「たくさんのふしぎ」編集長）

● 南区文化祭（ステージ発表・区民創作作品展）

地域文化の向上と活性化を図ることを目的に、区内で活動する文化団体が日頃の活動の成果を披露する場、団体同士の交流の場として3年ぶりに開催されました。

開催日 令和4年11月3日（みんなの合唱祭）

11月5日（区民ステージ・創作作品展）

11月6日（フラ★フェスタ・創作作品展）

参加者数 延べ1,800人



キッズダンス（区民ステージ）

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

住所	南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設10階
交通	市営地下鉄阪東橋駅 徒歩5分 京浜急行黄金町駅 徒歩10分
電話	045-232-9544 (外国語:045-242-0888)
FAX	045-242-0897
利用時間	月曜～金曜 9:00～21:00 (相談業務は17:00まで) 土日、祝日 9:00～17:00
休館日	施設点検日(第3月曜)、年末年始



南区の特徴

区内中央を流れる大岡川を7つの丘が囲み、さまざまな時代背景を映し出す歴史的文化財が数多く残されているため、区の内外からたくさんの方々が歴史探索に訪れています。下町情緒豊かな商店街も見所です。また、南区は近隣の中区と並んで、外国人住民が多く生活しているため、特にニューカマーと言われている外国人の日本語学習をサポートする市民活動が盛んです。

生涯学習・市民活動支援と多文化共生

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジは、さまざまな分野の学習や市民活動に関する相談・情報の提供を通じて、地域の皆様の生涯学習や市民活動を支援しています。また、市内で唯一、国際交流ラウンジ機能を併設した市民活動センターとして、外国の人々が、南区で円滑な日常生活を送れるよう、情報提供や生活相談などを実施するとともに、日本人も外国人も垣根のない環境づくりに努めています。みなみ市民活動・多文化共生ラウンジの利用には中高年齢の方が多くみられ、さまざまな学習や活動に対する意欲が伺われます。

施設の特徴

広々とした館内は、明るく開放感にあふれています。自慢は、冬の晴れた日に西側の各部屋から見える富士山のパノラマです。

また掲示スペースがたくさんあり、様々な情報を入手することができます。地下鉄・京急・バスなど交通の便もよく、近くに市民総合医療センター(市大センター病院)や横浜橋通商店街があります。

主な施設

研修室・多目的室・作業室・貸しロッカー・貸しレターケース・キッズスペース・展示コーナー・ミーティングコーナー

機材の貸し出し

プロジェクター・ワイヤレスアンプ&マイク・パラバルーン・おもちゃ・紙芝居舞台等

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ 令和4年度 主な実施事業

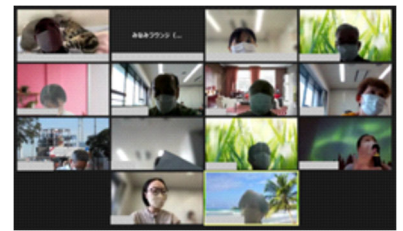
● 市民活動支援講座

市民活動の活性化を目的に、活動に役立つ講座を実施し、市民活動の支援を行いました。

「Zoom ミーティングを主催してみよう！」

コロナ禍でも活動を続けられる手法の一つとして、オンライン講座の開催について学びました。

開催日	令和4年9月13日、27日（全2回）
参加者数	延べ28人
講師名	山本 早苗（PromoVision 代表）
市民の声	「これまでは参加者側だけだったので、ホスト側として開催できるように参加しました」



Zoom で効果的な講座や会議を行うスキルを学ぶ（市民活動支援講座）

● 地域課題講座

地域が直面する地域課題の解決につなげるための講座を開催しています。

「地域防災の達人 養成講座」

地域の防災に関心のある方を対象に、南区の地形や特性や災害のリスク、自助・共助の取り組みを学び、地域において、発災時にどのような行動をするべきかを学びました。

開催日	令和4年12月7日、14日、21日（全3回）
参加者数	延べ35人
講師名	南消防署総務・予防課係長 ほか
市民の声	「この講座で得た知識を地域に持って帰りたい」 「地域防災は人と人とのつながりが大切と感じた」



地図上での避難路について学ぶ参加者（地域課題講座）

● まるごとみなみ施設間連携事業（35施設）

南区内の区民利用施設間の情報共有、連携を目的に全体交流会を開催しました。令和4年度は全3回実施し、第1回で施設連携のコツ、第2回ではプレゼンテーションについて学び、第3回でこれまでの研修を踏まえた施設プレゼンテーションと情報交換会を行い、顔の見える関係づくりを行いました。



地域連携・協働のコツを学びました（全体交流会）

● 「街の先生」の登録・派遣、地域関連事業

豊富な知識・優れた技術・技能・経験をお持ちの方に南区の「街の先生」として登録していただいています。地域施設・学校等からの依頼を受け、ご自身の知識や技術などを生かし、イベントで特技や技術を披露したり、講師として講座を開催したりするなど、地域活動や市民の生涯学習に貢献しています。

登録者数	101名（新規登録者5名を含む）
派遣依頼	16件



バランスボールで楽しいエクササイズ（街の先生によるワークショップ）

港南区（地域振興課） 〒233-0003 港南区港南4-2-10 TEL.045-847-8399

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

港南区民が、地域・社会の一員でありたい、一員であることが誇りと実感できる活動・事業・場・人を創ることを目指し、様々な分野での区民の主体的な活動を支援します。
港南区民活動支援センターでは、市民活動・地域活動や生涯学習などが港南区で発展するように、相談・情報提供・コーディネート・機材の貸し出し・場の提供・講座開催などを通して活動を支援します。

【令和4年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 区民活動・生涯学習支援事業	
(1) 区民企画運営講座	地域の課題などについて、同じ思いの人との交流を通し、考えを深めながら解決を目指す活動を行う団体のスタートアップを支援し、5つの講座を開催しました。
(2) 人材養成講座	わらべうた&絵本読み聞かせのボラティア養成講座を開催し、参加者による自主グループ化に向けて支援を行いました。
(3) 読書活動推進事業	「港南区読書活動推進目標」に掲げる「つなぐ」「はぐくむ」「ひろめる」の実現を目指し、港南図書館と協働し、読書に親しむ事業を実施しました。
2 区民活動支援センター運営事業	
(1) 区民活動支援センター運営事業	学習相談・市民活動に必要な情報提供・機材貸出しなどを実施することにより、区民の自主的な活動・学習を側面で支援しました。
3 青少年みらい応援事業	
(1) 子どものゆめ応援講演会	子どもたちが夢を持ち、将来について考えるきっかけとなるよう講演会をオンラインを併用して実施しました。
(2) 地域で育て子どもたち事業補助金	地域が実施する「子どもたちが地域に愛着を持ち、健やかに成長するための事業」に補助金を交付しました。
(3) 学校・家庭・地域連携事業	学校・家庭・地域の連携づくりとなる中学校区ごとの取組に対し、支援を行いました。
(4) こうなん子どもゆめワールド	子どもたちの自主性や創造性を育むきっかけを提供するとともに、イベントを通じて幅広い世代の交流の場を提供しました。
(5) 青少年指導員事業	青少年指導員の活動を通じて青少年の健全育成に取り組みました。
4 地域スポーツ振興事業	
(1) スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員の活動を通じてスポーツの振興を図りました。
(2) スポーツ協会への事業補助	区内のスポーツ団体が集まるスポーツ協会の活動を支援し、区民のスポーツ振興を図りました。
(3) 港南区健康ランニング大会	健康・体力づくりや地域交流の場として、小学生以上の幅広い年齢の区民を対象に、1月に開催しました。
5 地域文化推進事業	
(1) 港南区文化活動推進事業	こうなん文化交流協会への事業補助や、文化活動団体への後援等を通じて、区民の文化振興や文化交流を図りました。

港南区 令和4年度 主な実施事業

● 港南区区民企画運営講座

地域の課題などについて、同じ思いの人との交流を通し、考えを深めながら解決を目指す活動を行う団体のスタートアップを支援しました。補助金の支給だけでなく、講座の流れや参加者同士の交流の工夫などについて講座準備段階から深く関わりを持つことで、講座の運営委員が当初設定した目標・地域課題を見失うことなく講座を実施することができました。また、運営委員同士のネットワークづくりや、ほかの講座の実践を知ることで深まる学びを目指した交流会を、3回実施しました。卒業生も参加し、これからのグループのあり方を考える時間になりました。

実施団体	5団体
開催日	交流会：令和4年5月24日、10月25日、令和5年2月24日
参加者数	講座参加総数（5講座）：56人 交流会参加人数（全3回）： 延べ29人、最終発表回見学13人



初めての講座実施の様子



運営委員交流会(発表時)の様子

● 人材養成講座

～わらべうた&絵本読み聞かせボランティア養成講座～

子どもたちのためのおはなし会に挑戦したい方、興味がある方を対象に、地域でのおはなし会デビューまでの支援を約束する形でのボランティア養成講座を実施しました。

募集段階から区内でのおはなし会デビューを意識した4人が、地域で活躍する講師のもとで学んだ結果、グループ化に至り、令和5年度のデビューに向けて活動を続けています。

開催日	令和5年2月～3月（連続3回講座）
参加者数	4人

わらべうた&絵本読み聞かせ 港南区人材養成講座 ボランティア養成講座 参加者募集

子どもたちのためのおはなし会に挑戦したい方、興味がある方を大募集！仲間とともに学び、港南区内でおはなし会デビューしませんか？横浜市内で活躍する藤平さんを講師に迎えて、**デビューまでバックアップします！**経験がない方や初めて挑戦する方も大歓迎です！



デビューまでのバックアップを約束して募集！



講座に託児をつけたことで、ママさん世代も挑戦！

● こうなん子どもゆめワールド 2022

「こうなん子どもゆめワールド 2022」では、子どもたちによるダンスや演奏などのステージ発表が港南公会堂にて有観客で行われ、発表の様子がオンラインで一部ライブ配信されました。また、港南ふれあい公園では、3年ぶりに出店が行われました。50人の子どもスタッフが、ステージ発表の司会や出店の運営で大活躍しました。

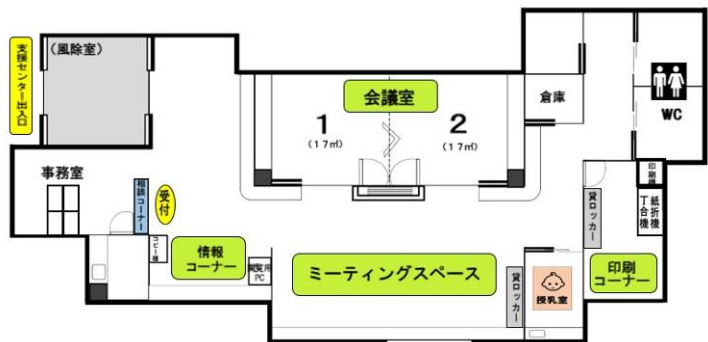
開催日	令和4年11月5日
参加者数	10,000人



ステージで躍動する子どもたち

港南区民活動支援センター

住所	港南区港南中央通 10-1 港南公会堂棟 1 階
交通	市営地下鉄港南中央駅、 バス停「港南区総合庁舎前」下車すぐ
電話	045-841-9361
FAX	045-841-9362
利用時間	9:00~17:00
休館日	毎週月曜・年末年始



港南区民活動支援センターの特長

港南区民活動支援センターは、区内 33 の区民利用施設等と「ネットワーク会議」や「施設交流会」を通して連携しています。さらに区役所と連携し、自治会町内会向けに ICT 支援として LINE 講座を出張して行うなど、地域とのつながりも深めています。

活動の相談やコーディネート

相談内容に応じて、活動や学習に必要な情報・機材の提供、講師・施設などの紹介やコーディネートをしています。また、さまざまな知識や技術を地域活動に役立てたい人の「街のアドバイザー」への登録、依頼も随時受付しています。

交流の場やつながりづくり

イベントなどを通して、グループ・団体同士の情報交換や交流の場を提供しています。中間支援組織として、ネットワーク機能を活かして区民利用施設と課題や情報を共有・連携しています。

情報の拠点

館内の情報コーナーには、地域の情報や講座、イベントのちらしを配架しています。また、活動団体・街のアドバイザーを紹介する冊子（こうなんグループガイド・街のアドバイザーガイド）や情報誌（センター通信・街のアドバイザーリスト）を発行しています。

場所や機材の提供

情報の閲覧や作業に使えるミーティングスペース、打ち合わせや体験講座などに利用できる会議室があります。資料やちらしを作るための印刷機（有料）・丁合機・紙折り機、その他プロジェクターやパラバルーンなどの貸出機材があります

港南区民活動支援センター 令和4年度 主な実施事業

● 「街のアドバイザー」冬の1day体験会

会場は区民活動支援センターほか、区内6か所の区民利用施設で開催し「街のアドバイザー」の活動を地域にPRしました。

開催日	令和4年12月～令和5年2月
内容	日本酒講座入門編 他8講座
施設の声	「講師の先生、内容ともに大満足です。来年度も再度実施する予定です」



冬の1day体験会（ロビーコンサート）

● 活動紹介展 2022&ひまわりバンドネオンコンサート

パネル展示に加え、モニターを設置し、動画による活動紹介も行いました。バルーンアートや、バンドネオンのミニコンサートも開かれ、活動団体の日頃の活動を広く区民にPRすることができました。

開催日	令和4年10月16日
参加者	パネル参加23団体・動画参加16団体
市民の声	「地域の活動が一覧で見られて、地域に参加するきっかけになり良いと思った」



活動紹介展 2022の様子

● 地域活動スタートアップ講座

自治会・町内会の課題や希望に沿った出前講座を展開しています。令和4年度は区役所と連携し、LINEを自治会活動に役立ててもらうための出前講座を実施しました。

テーマ	LINEの活用講座
開催日	令和4年9月～令和5年1月
参加者数	21コマ 計332人
市民の声	「コロナ禍の中で、顔を合わせる場にもなり相乗効果が得られた」



地域活動スタートアップ講座の様子

● 港南区区民利用施設等ネットワーク会議

区内の区民利用施設等の施設長や職員による情報や意見交換の場として実施しました。グループワークがあったことで、様々な意見、考えに触れることができ、視野を広げることができました。

テーマ	地域の力を活かすために施設としてできること
開催日	令和4年6月2日
参加者数	48名/32施設



港南区区民利用施設等
ネットワーク会議の様子

保土ヶ谷区（地域振興課生涯学習支援係） 〒240-0001 保土ヶ谷区川辺町2-9 TEL.045-334-6307

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民の自発的な学習活動や仲間づくりを支援し、区民が積極的に地域活動に参加できる環境づくりを推進します。そして、区民が地域活動を通じて感じた課題を行政と協力し、解決していける地域コミュニティの形成を目指します。

【令和4年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 市民活動支援事業	
(1) ほ도가や市民活動センター 自主企画事業	区民が主体的に活動参加できる環境を目指し、誰でも参加できる定期開催の活動をつくることで参加の裾野を拡げ、それらの活動やイベント等の企画運営を活動団体と共にする事で、地域活動の担い手育成を図りました。
(2) 街の学習応援隊事業	特技を活かしたボランティア活動を希望する個人や団体を、区内の団体や施設とつなぎ、依頼者と応援隊が学び合い、地域で活動するための支援を行いました。
(3) ほ도가や生涯学習フォーラム	参加団体の活動を広く認知してもらうため、展示会という形でPRしました。
(4) ほ도가や会議	「100周年を迎える保土ヶ谷区をどんなまちにしたいか」という視点でディスカッションを行いました。
2 はぐくみプロジェクト事業	区民が地域に関心を持つきっかけをつくり、地域活動に参加する機会を設けることで、協働の担い手となる主体性のある人材の発掘・育成を行いました。また、区民利用施設が連携して地域活動を活性化する体制づくりを目指して、施設職員・区職員のスキルアップと情報共有を図る研修を開催しました。
3 元氣ながやっこ育成事業	
(1) みんなで育むがやっこ事業	がやっこ（元氣な保土ヶ谷の子どもたち）の健全育成に向け、横浜国立大学と連携し、子ども向け体験学習・講座などを実施しました。
(2) ほ도가や☆元氣村事業	青少年を地域で育むとともに地域の担い手が活躍するきっかけとして、保土ヶ谷区内の貴重な水田を活用した小学生向け稲作体験をボランティアが主体となって行いました。
4 青少年指導員事業	青少年の健全育成を図るため青少年指導員の活動を支援しました。また、毎年発行している青少年指導員だよりでは、各地区の魅力を再発見する特集記事を作成しました。
5 スポーツの街ほ도가や推進事業	
(1) 各種スポーツ大会事業	地域におけるスポーツの普及活動に主体的な役割を果たしているスポーツ推進委員が開催するスポーツ大会について支援を行いました。
(2) スポーツ協会事業	区内のスポーツ団体により組織された区スポーツ協会が行う区民体育の普及や発展、区民相互の交流事業を支援しました。スポーツ協会事務局の自主運営体制強化のための支援を行いました。
(3) プロスポーツ推進事業	区内唯一のプロスポーツチームである横浜FCとの連携体制を強化しました。
6 スポーツ推進委員事業	地域に根差したスポーツ振興・普及活動が適切に行えるよう、スポーツ推進委員の力量向上や人的ネットワークの形成を図ることを目的に開催しました。
7 保土ヶ谷区芸術の街事業	
(1) 保土ヶ谷区民文化祭	区民に身近な場での芸術鑑賞の機会を提供し、また日ごろの活動の成果を発表する場として作品展、ほ도가やDancePerformance等を実施しました。
(2) 区民ギャラリー	公募による区内在住・在勤・在学のアマチュア作品を年間を通じて展示しました。
(3) 区の歌普及事業	区の歌を普及するため、区民まつりや花フェスタ、区民コンサート等のステージで合唱を披露しました。
8 国際文化理解事業	
(1) 小学校における 国際文化理解授業	区内の小学校3校でブルガリアメニューの提供を実施しました。また、ブルガリア理解授業を一部の学校で実施しました。
(2) ブルガリア関連イベント	区内主要イベントでブルガリア民俗音楽の出演やブルガリアブース出展を行いました。

保土ヶ谷区 令和4年度 主な実施事業

● ほどがや☆元気村事業

区内の貴重な水田を活用し、地域のボランティアの方々を中心に小学生向け農業体験を実施し、実行委員・保護者・児童の交流が生まれました。

どろんこ教室、区内小学校・施設活動支援

開催日	令和4年4月～令和5年3月まで（全22回）
実施内容	田植え、稲刈り、野菜作り、わら細工体験 など
参加者数	延べ約900人
市民の声	「貴重な体験だった。食の大切さについて学べた」



6月に行われた田植えの様子

● がやっこ育成事業

横浜国立大学と連携して「がやっこ（元気な保土ヶ谷の子どもたち）」の健全育成を図るために、様々な体験ができる事業を実施し、「良かった」「また参加したい」の声が全体の9割を超えました。

がやっこ教室

開催日	夏（全15回）、冬（全5回）
実施内容	解剖、実験、プログラミング など
参加者数	延べ258人



がやっこ教室「門松を作ってみよう」

がやっこ探検隊

開催日	令和4年5月～令和5年2月（全6回）
実施内容	日帰りキャンプ、農業体験 など
参加者数	48人

● プロスポーツ連携事業

保土ヶ谷区をホームタウンとして活動している横浜FCとの協定をもとに、地域活性化に資する様々な事業を実施しました。

ほどがや区民 DAY

開催日	令和4年6月26日
実施内容	・区内在住・在学・在勤者を招待、優待 ・区内商店街・スポーツセンターブース出店 ・スタジアム内PR
入場者数	9,100人
実施効果	2022年シーズン最多の観客動員数。多くの方に横浜FCに興味・関心を持ってもらう機会となり、区内のスポーツ振興・普及をすることができました。



ハーフタイムのPR活動

ほどがや市民活動センター アワーズ 令和4年度 主な実施事業

● オンライン活動はじめ隊！

スマホを使えないと活動情報にアクセスできない状況を改善するため、最低限必要なスマホスキルの習得を目指した、相互学習型のスマホ講座を隔月開催しました。

開催日	令和4年5月～令和5年3月（全6回）
参加者数	一般：46人、ボランティア：延べ9人
講師名	阿部 司（PCN 横浜） 小島 潔（エーデルワイスの会）
市民の声	「スマホは難しいが、みんなと一緒にだと楽しい」



講師と若者が個別のサポート

● 定例おそうじ

申込不要で誰でも気軽に参加できる地域の活動として、毎月第2・4土曜日に定例のおそうじ活動を実施。毎回子どもから大人まで多様なメンバーが参加しました。

開催日	令和4年4月～令和5年3月（全19回）
参加者数	200人
ごみの量	82.9kg
市民の声	「毎回ごみが落ちていて続けて参加したい」



ごみを拾った後は集合写真

● アワーズサロン「OURSGREENDAY」

地域の交流と市民参加を促すため、登録団体が企画した「みどりのワークショップ」と「モルック体験」を毎月開催。モルック体験は、自治会協力のもと近隣の公園を会場としてお借りしました。

開催日	令和4年5月～令和5年3月（全12回）
参加者数	・みどりのワークショップ 43人 ・モルック体験 119人
企画団体	グリーンボックス、西谷AFC
市民の声	「公園が活気づいて嬉しい」



自治会の協力で近隣の方も参加

● 第2回ほどがや会議

多様な参加者が出会い、対等に話し合える場をつくり、交流を深めながら、保土ヶ谷の未来のアイデアを話し合いました。

開催日	令和5年2月18日
参加者数	53人
市民の声	「対等な立場で受け入れてもらえて奇跡だった」



久しぶりとなった対面開催

旭区（地域振興課生涯学習支援係） 〒241-0022 旭区鶴ヶ峰1-4-12 Tel.045-954-6095

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

近年の少子・高齢化や余暇時間の増加、価値観の多様化など、様々な社会環境の変化により、人々は心の豊かさを求めるようになり、多くの区民が学習や活動の機会を求めるようになりました。そこで、区民の生涯学習等に対するニーズに応えるため、学習機会や情報の提供、学習グループ相互の交流などの事業を推進するとともに、区民の自主的な学習や活動を支援します。

【令和4年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 市民活動支援センター活動事業	
(1) 市民活動支援センター事業	市民活動・生涯学習に係る相談や機材の貸出し、ミーティングコーナーや研修室の提供を通して、市民活動の支援を行いました。
(2) 生涯学習支援バンク事業	生涯学習支援バンク登録者（生涯学習アドバイザー）に対して、講師としての活動の場を提供し、区民の生涯学習を支援しました。
2 青少年健全育成事業	
(1) こども写生大会	自然とのふれあいと、文化的実践活動を通じて創造性を養います。2年ぶりに開催しました。
(2) 親子野外自然体験活動	自然の中で様々な体験や人々との交流を通じて、思いやりや協調性、また地域への愛着心を育むことを目的として開催しました。
(3) 大なわとび大会 (モルック大会)	異年齢の子どもたちや保護者が一緒になって一つのことに集中し、チームワークの大事さや、思いやりの心を育みます。新型コロナウイルス感染症対策のため、例年の大なわとびに代わり、モルック大会を開催しました。
(4) 青少年指導員事業	青少年の健全育成を目的とする青少年指導員連絡協議会を事務局として支援し、新任指導員対象の研修を行いました。
(5) 旭区学校音楽祭	子どもたちに同世代の音楽活動を見て・聞いて・感じてもらうことで健やかな成長を目指すとともに、地域の方々に小中学校の音楽活動を鑑賞する場を提供することを目的とした音楽祭を開催しました。観覧は保護者のみとし、YCVとYouTubeで生配信を行いました。
(6) こども未来発見事業	青少年を対象とした実験教室や体験イベントを実施し、科学技術や自然環境等に関心を持つきっかけづくりを行いました。
3 スポーツ振興事業	
(1) 旭区民スポーツ祭	旭区の連合地区対抗の総合スポーツ大会を開催しました。
(2) 旭ズーラシア駅伝	よこはま動物園ズーラシアを会場とし、駅伝大会を開催しました。
(3) 旭区スポーツ協会支援事業	各種区民大会や、区内のスポーツ振興事業を実施する旭区スポーツ協会に対して補助金を交付するなどの支援を行いました。
(4) スポーツ推進委員事業	地域及び横浜市のスポートレクリエーション振興を図ることを目的とするスポーツ推進委員連絡協議会を事務局として支援しました。
4 文化振興事業	
(1) 文化芸術活動支援事業	公募と審査を経た17イベントに対して補助金交付や広報支援等を行いました。
(2) 横浜旭ジャズまつり事業	横浜旭ジャズまつりを開催し、実行委員会への補助や企画・運営支援等を行いました。
(3) 旭区文化振興会事業	地域の文化芸術振興を図ることを目的とする旭区文化振興会を事務局として支援しました。旭区旭区民文化祭において11イベントを開催しました。
5 旭区の「農」の魅力PR事業	旭区の豊かな「農」及び地産地消をPRするため、農業体験、農産物直売イベント等を実施しました。
6 「あさひくん」でつながる旭区の元気推進事業	旭区のマスコットキャラクター「あさひくん」を活用し、区政に絡めた4コマ漫画やあさひくんAR、着ぐるみの貸出しなど、各種情報の発信や、区民の郷土愛の醸成を図りました。

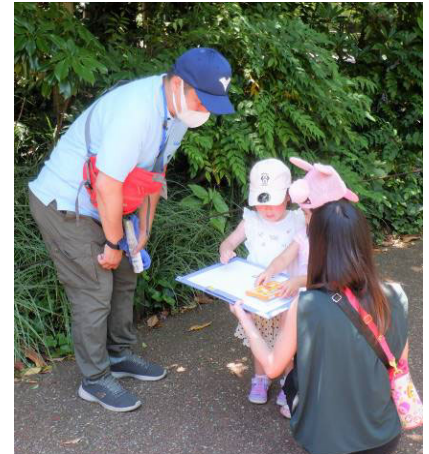
旭区 令和4年度 主な実施事業

● こども写生大会

こども写生大会は、5歳から12歳までの子どもたちを対象に、よこはま動物園ズーラシアで開催しました。自然や動物とのふれあいを通して、創造性を養いました。新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたため2年ぶりの開催となりましたが、多くの子どもや保護者が参加し、「楽しかった」との声をいただきました。

開催日 令和4年6月25日

参加者数 224人



こども写生大会の様子

● 旭ズーラシア駅伝（旭区駅伝競走大会）

ズーラシア内部の一般園路と管理用道路を使用した特設コースを周回、5区間でタスキをつなぎ、競いました。

開催日 令和5年1月27日

参加者数 約1,624人



旭ズーラシア駅伝（旭区駅伝競走大会）の様子

● 横浜旭ジャズまつり

こども自然公園の野球場を会場とした野外コンサート「横浜旭ジャズまつり」は、個性豊かなアマチュアステージから、ジャズ界の巨匠が登場するプロステージまで、本物のジャズの音とジャズの原点に触れられ、誰もが楽しめる横浜最大級の野外ジャズイベントを開催しました。

開催日 令和4年7月31日

参加者数 約1,550人



横浜旭ジャズまつりの様子

● プロから学ぼう！～さつまいも+α～

区内の農家さんから、さつまいもの栽培方法及び農作業について指導とお話をいただき、地産地消を推進するきっかけとしました。

また、各回には栄養士の方にも来ていただき、ミニ食育講座を実施し、こどもが楽しく学べるイベントとなりました。

開催日 令和4年5月21日、7月23日、8月20日、
10月15日、11月5日

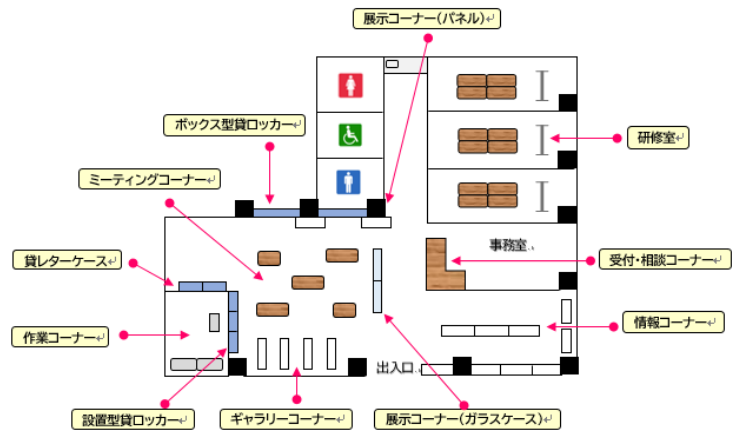
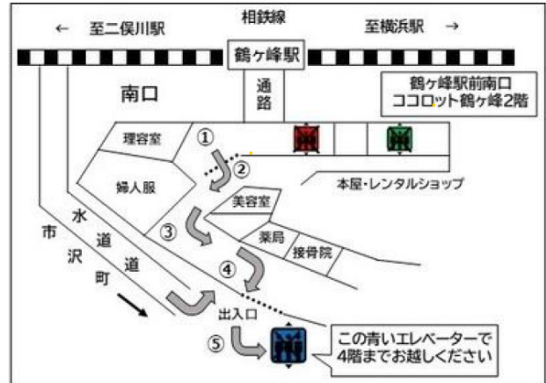
参加者数 9組30人



農業体験時の様子

旭区市民活動支援センター みなくる

住所	旭区鶴ヶ峰 2-82-1 ココロット鶴ヶ峰 4階
交通	相鉄線鶴ヶ峰駅 徒歩約2分
電話	045-382-1000
FAX	045-382-1005
利用時間	月 水 金 9:00~17:00 火 木 土 9:00~20:30 日・祝日 10:00~16:30
休館日	毎月第3水曜・年末年始・施設点検日



旭区市民活動支援センター「みなくる」の特長

旭区市民活動支援センター「みなくる」は、市民活動が盛んな地域性に応え、駅直結という好立地を生かした活動拠点としての役割を果たすとともに、高齢化が進む中、新たな地域の担い手発掘にも取り組んでいます。

相談、コーディネート、ネットワークづくり

生涯学習・市民活動の情報を集め、相談者へ情報の提供や相談等の支援を行っています。

情報発信・収集

情報誌『みなくるだより』のほか、市民活動団体を紹介する『利用登録団体名簿』、会員を募集しているサークルを掲載した『サークルガイド』を発行しています。

人材の発掘・育成・活用

仕事や趣味等で培った知識や経験・特技などを活かして、地域の様々な場面でボランティアとして活動する人達「生涯学習アドバイザー」の登録、紹介（コーディネート）を行っています。

場の提供・機材の貸出

研修室（定員15名）3室、ミーティングコーナーで会議や打合せができます。

旭区市民活動支援センター みなくる 令和4年度 主な実施事業

● インターネット活用講座

市民生活のデジタル化が大きく進展する中、ネットに不慣れな人の生活や市民活動に役立つよう、スマホを有効かつ安全に使うために必要な知識と技術を習得できる講座を企画しました。

〈第1回〉基礎編（基本用語・基本操作方法について）

〈第2回〉実践編（便利な使い方について）

開催日 令和4年8月19日、26日（8月コース）
令和4年9月2日、9日（9月コース）

参加者数 延べ68人

講師名 スマホ☆ドリーム

市民の声 「これから電子申請を利用したい」「LINE や Twitter、YouTube の勉強もしてみたい」



インターネット活用講座の様子

● 旭区生涯学習講座 「ミドルのためグッドライフスタイル」

40～50代の関心事をテーマとし、人生を輝いて過ごすために、新しい一歩を踏みだすきっかけづくりを目指した講座を実施しました。

〈第1回〉カラダの整え方・使い方

〈第2回〉スマホ写真の上手な撮り方

〈第3回〉スキンケア&メイクアップ

〈第4回〉40代からの『小さな一歩』の踏み出し方

開催日 令和5年3月3日、10日、17日、24日

参加者数 延べ55人

講師名 〈第1回〉橘 智子（整体師・エステティシャン）
〈第2回〉林 貴子（えがおクリエイション）
〈第3回〉花王 ビューティサチ&クリエイションセンター 美容PRグループ
〈第4回〉平井 直人（オトナ塾 grand(二俣川)代表）

市民の声 「今日から実践してみたい」「自分は何ができるか探してみたい」
「自己を振り返れたことが良かった」



グッドライフスタイル講座の様子

● 15周年記念イベント「みなくるWEEK」

生涯学習アドバイザーの活動の機会づくりや登録団体の活動周知とともに、みなくるに人を呼び込むためのイベントを実施しました。

開催日 令和5年2月20日～25日（アドバイザーによる講座）
令和5年2月26日（登録団体によるミニ舞台・ブース、生涯学習アドバイザーの活動披露）

参加者数 延べ400人

市民の声 「丁寧に教えていただきわかりやすかった」「今後の学習意欲をかき立てられるお話だった」「自己を振り返れたことが良かった」



みなくるWEEKの様子（26日）

磯子区（地域振興課） 〒235-0016 磯子区磯子 3-5-1 TEL.045-750-2393

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民の自主的な学習活動等を通じ、地域活動等がより活性化するための環境づくりを進めます。また、区民に対し多様な学びを通じた地域活動の機会を提供して、学んだ知識・技能・経験を発表する場や、個人・地域活動団体が交流できる場をつくっていきます。

【令和4年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 「区民のちから」発揮・活用事業（区民活動支援センター実施事業）	
(1) 活動参加促進事業	活動参加のきっかけづくりとして、親しみやすいテーマを設け、事後グループ育成を図る講座を開催しました。
(2) 運営支援事業	すでに活動している団体・個人を対象に、広報や人材育成など、スキルアップに役立つテーマの講座を開催しました。
2 国際交流推進事業	庁舎内各窓口における環境整備として、テレビ電話通訳タブレット、対話型翻訳機（ワールドスピーク）を区役所の一部窓口に導入したほか、区役所各課の窓口にAI通訳機（ポケットーク）を導入しました。日本語教室支援事業として、日本語教室支援のための講座を実施しました。
3 地域文化活性化事業	
(1) 区民文化活動への支援	区庁舎1階「磯子区民ホールギャラリー」において、区内グループによる作品展示を行いました。
(2) 地域文化振興事業への補助	磯子区文化協会の各々が、いそご芸術文化祭として幅広く区民対象に実施する事業に対し、補助を行いました。
(3) 青少年等文化事業	文化にあふれたまちを目指し、青少年を対象とした文化イベント「ISOGOダンスまつり」を開催しました。
4 区民スポーツ振興	
(1) スポーツ推進委員支援事業	市から委嘱されたスポーツ推進委員で組織する磯子区スポーツ推進委員連絡協議会の活動を支援しました。
(2) 区民スポーツ振興事業	区内スポーツ振興団体が開催する大会や初心者向け教室等の事業に対し、補助を行いました。
5 青少年育成推進	
(1) 青少年育成活動助成事業	青少年の健全育成を目的とし、体験活動の場又は学習活動の場を提供する事業に対して、支援を行いました。
(2) 学校・家庭・地域連携支援事業	区内で青少年育成協議会が行うパトロールなどの青少年の問題行動防止活動に対して、補助を行いました。また、青少年の健全育成のための取組（学習会、講演会）に対して、補助を行いました。
(3) 青少年指導員協議会事業	青少年の自主的活動とその育成組織活動等、青少年の健全育成のために青少年指導員協議会が区内で行う活動に対して、補助を行いました。
(4) 青少年の地域活動拠点づくり事業	中高生世代を中心とした青少年が気軽に集い、仲間や大人との交流、さまざまな体験や自主的な企画・運営ができる場の運営を支援しました。
6 協働の「地域づくり大学校」事業	先進的な事例の現地見学やワークショップでの学び合いを通して、次代の地域活動を担う区民と区職員、区社会福祉協議会職員などが「協働による地域づくり」を学び、地域の課題解決や魅力づくりを進める力を養うことを目的として「いそご地域づくり塾」を実施しました。

磯子区 令和4年度 主な実施事業

● いそご地域づくり塾「さあ！はじめよう！自分らしく！」

特技や経験を生かして地域活動に取り組みたい方を対象に、NPO法人夢・コミュニティ・ネットワーク、磯子区社会福祉協議会と三者協働で実施しました。地域で活動するうえで必要な知識やノウハウについての講義、実践者からの学び、イベントの企画・実施体験、チャレンジ体験のボランティア体験や見学を通して「地域活動の楽しさ」を実感するなど、多彩な内容となりました。講座を通して受講生同士のつながりが深まるとともに、地域活動の身近な相談窓口である地域ケアプラザの職員と関係を築くことができ、各受講生の今後の地域活動の進展に大きな期待ができそうです。

また、講座終了後の令和5年3月10日には、これまでのいそご地域づくり塾の受講生の皆さん等が集まり、対面での近況報告会を実施し、交流を深めました。



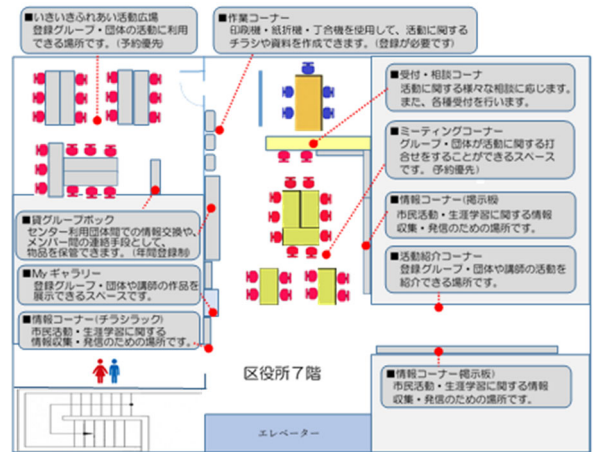
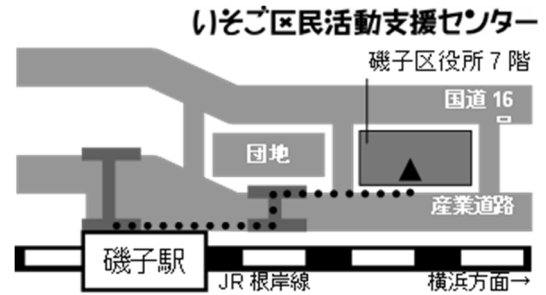
講座の様子

開催日	令和4年10月7日、21日、11月4日、25日、12月9日
参加者数	18人
講師名	坂本 寿子、時任 和子（NPO 法人夢・コミュニティ・ネットワーク）
市民の声	「地域の事を知ることができ、毎回学びがあって仲間づくりが出来た」



いそご区民活動支援センター

住所	磯子区磯子3-5-1 磯子区役所7階
交通	JR 磯子駅 徒歩5分
電話	045-754-2390
FAX	045-759-4116
利用時間	10:00~17:00
休館日	祝日・年末年始



いそご区民活動支援センターの紹介

支援センターでは、区内で活動している方&これから活動を始める方を支援しています。

- 市民活動・生涯学習等に関する相談
- 地域ボランティア講師、グループ・団体登録、情報提供
- 機材の貸出し（印刷機、プロジェクター、マイク 等）
- スペースの貸出し
- 講座、交流会の開催 等



地域活動交流会 ~つながる、ひろがる~

今回の交流会は、3年ぶりに対面での交流会を開催することが出来ました。ファシリテーターとしてNPO 法人まちラボ理事の安井裕子さんに全体の進行していただき、活動事例等の話しをはさみながら、グループワークを行いました。また、後半の交流タイムでは、名刺交換を行うなど、違うグループの方とも交流を深めました。アンケートでは「参加人数が多くて良かった」、「出会いがあって今後につながりが見えた」、「活発に活動している人の状況を聞くことができ良い刺激をもらった」といった感想をいただきました。

情報誌『いそつな』の発行（毎月）

支援センターの活動内容や、グループ・団体の活動情報、区内各施設のイベント情報などを掲載した情報誌『いそつな』を毎月発行しています。

いそご区民活動支援センター令和4年度 主な実施事業

● 担い手育成講座

地域での活動の担い手を発掘・育成するため、地域デビュー講座、スキルアップ講座、地域づくり塾を実施しました。

● 地域デビュー講座

「歩いて学んで磯子を知ろう！」～私たちが住む街 磯子の魅力再発見～

磯子区ボランティア応援隊と共に企画する講座です。地域で活動を始めたいと思っている方が、活動をはじめのきっかけになるよう、地域の歴史、地域活動の魅力を楽しみながら学びました。

開催日	令和4年11月～12月 全6回
参加者数	17人
講師名・サポーター名	葛城 峻（磯子区郷土研究ネットワーク代表、リベラーあいつ学舎代表） 石井 勝利（ヨコハマ歴史を歩く会 会長） 加藤 稔弘（ヨコハマ歴史を歩く会 副会長）
市民の声	「自分が住んでいる磯子の歴史をもっと知りたくなった」



講座の様子



講座の様子

● スキルアップ講座

「地域活動を楽しむ ディズニー流スマイルコミュニケーション講座」

新型コロナウイルス感染症で停滞しがちな地域活動再開のきっかけとなるよう笑顔のコミュニケーション効果をディズニーランドの事例を交えながら学びました。

開催日	令和4年10月29日
参加者数	13人
講師名	石坂 秀己
市民の声	「人の話を聞くこと、伝えること、その努力の大切さを再確認しました」



講座の様子

「～プロボノって何??～プロボノ入門講座」

～あなたの経験や得意を活かして、地域活動をはじめませんか?～

自分の経験や培ってきた専門知識を活かして無償で取り組むボランティアであるプロボノについて学び、プロフィールシートを作成して自己紹介を行いました。

開催日	令和5年2月25日
参加者数	16人
講師名	小林 智穂子（認定NPO法人サービスグラント事務局長）
市民の声	「事例紹介からプロボノをイメージ出来ました」



講座の様子

● いそご地域づくり塾

詳細は p.55 「磯子区 令和4年度 主な実施事業」をご覧ください。

金沢区（地域振興課区民活動支援担当）〒236-0021 金沢区泥亀2-9-1 TEL.045-788-7806

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

金沢区民活動センターを核として、区民のニーズに応じた多様な活動支援を行うとともに、区民の自発的な活動を応援し、地域が育つ土壌づくりを行います。

【令和4年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 区民活動支援事業	
(1) 区民活動センター運営	生涯学習・市民活動情報の提供・相談等を通じて、区民の方の自主的な活動の支援を行いました。 また、地域で活動するためのきっかけづくりや活動者相互の交流促進、活動者の支援を目的としたイベントを行いました。
(2) 金沢区つながりステーション事業	コミュニティサロンの相互交流及び情報交換、並びに運営に係る知識及び経験の伝播などにより、区内の地域交流拠点の普及及び活性化を目的として9団体10拠点のコミュニティサロンと協働で活動しました。
(3) 金沢区市民活動サポート補助金	区民活動（生涯学習・青少年活動・文化芸術活動・国際交流・子育て・環境）の事業費を補助することで、区民活動団体の成長及び自立の支援を行いました。
2 多文化共生事業	外国につながる区民への支援や様々な交流事業を通じて、外国につながる区民との共生を図るとともに、外国につながる区民が地域の人と助け合うことのできるきっかけづくりを行いました。
3 青少年健全育成事業	
(1) 青少年指導員協議会	青少年指導員の各地区で行うパトロールやイベント等の活動支援を行いました。また、小学生を対象とした磯遊び等のイベント「ジュニアサマー金沢」の実施や、「子供・若者育成支援強調月間」に街頭啓発活動を実施するなどして、青少年健全育成を図りました。
4 地域文化振興事業	
(1) 区民文化祭	区民の方へ文化活動発表の場・芸術鑑賞の場を提供することにより、文化活動の活性化を図りました。
(2) 文化振興事業	金沢区にゆかりのある能楽に触れる機会として、能の公演及び小学生を対象に能講座を実施しました。また、身近に音楽に親しむことや、素晴らしい音楽に触れることを目的に、室内楽コンサートを開催しました。
5 金沢歴史ふれあい事業	
(1) 「むかし体験」訪問歴史授業	区内の小学生を対象に「大道ふれあいむかし資料館」で所蔵する、主に昭和期まで使われてきた生活道具などを活用したワークショップを実施し、地域の歴史や文化についての学習を支援しました。
(2) 文化伝承	小学生向けの歴史ツアーを実施しました。区内に古くから残されている貴重な歴史的・文化的遺産に触れる機会となりました。
6 スポーツ推進委員事業	
(1) スポーツ推進委員連絡協議会	トライアスロンシリーズ世界大会へのボランティア活動など、本市にて開催された大規模スポーツイベントの安全な実施に大きく寄与しました。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりスポーツ活動の実施が困難な中で、区内各地区での地域活動への協力や感染症対策に配慮したスポーツ活動支援を実施しました。

金沢区 令和4年度 主な実施事業

● ハマの JACK 室内楽コンサート

区役所隣接の金沢公会堂には、金沢区制 70 周年を記念して区民から寄贈されたグランドピアノがあります。このピアノを活用し、区民が身近に音楽に親しむことや、素晴らしい音楽に触れることを目的としたコンサートを、対象年齢別に 2 部制で実施しました。第 1 部は子ども向けのプログラムで金沢動物園の動物たちを題材にしたオリジナル楽曲で盛り上がり、第 2 部は世界の名曲に酔いしれました。

演奏者によるわかりやすい曲の解説もあり、音楽ファンだけでなく、日頃、音楽に触れる機会の少ない方からも大好評でした。

開催日 令和 4 年 12 月 18 日

参加者数 約 900 人

市民の声 「音楽と動物園の飼育員さんのお話が一緒に聞けて楽しかった」(小学生)

「身近な公会堂で、一流の音楽家の演奏が聴けるのがとても良い」(大人)



上：コンサートのチラシ
下：コンサート

● いざ金沢！鎌倉時代をめぐる小学生親子ウォーキングツアー

金沢区の小学生に金沢区の歴史に興味を持ってもらい、地域に対する愛着を深めることを目的として、鎌倉時代にゆかりのある歴史スポットを保護者と巡るウォーキングツアーを実施しました。当日は、クイズを交えて楽しく史跡を巡りながら、シティガイド協会のガイドを熱心に聞き入る姿が見られました。

開催日 令和 5 年 3 月 12 日

参加者数 50 人

市民の声 「金沢区の歴史に触れるきっかけとなる一日となりました」(保護者)

「歴史クイズとガイドさんのお話が楽しかった」(小学生)



ウォーキングツアーの様子

● 第 50 回 金沢区ロードレース大会

区内小・中学生をはじめとする区民の参加による「区民の大会」として地域のつながりを築き、次の世代に伝承していくことを目的として、3年ぶりに金沢区ロードレース大会を開催しました。大会当日は、天候にも恵まれ、活気あふれる大会となりました。

開催日 令和 5 年 2 月 25 日

参加者数 607 人(うち小・中学生 347 名)

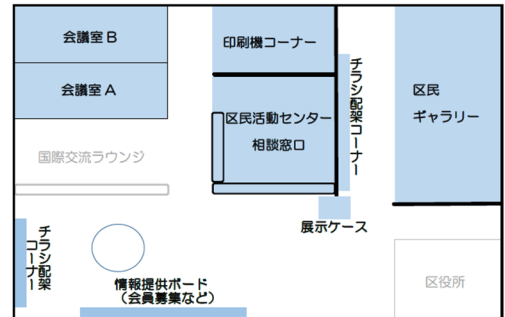
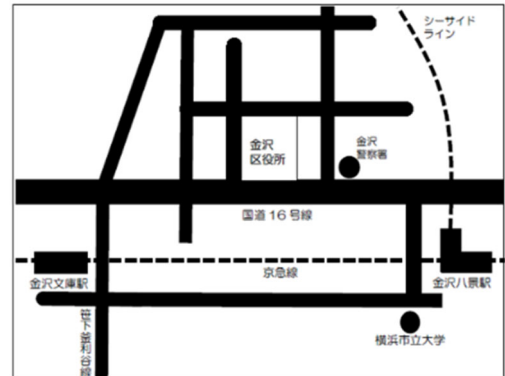
市民の声 「初参加でしたが、とても良い大会でした」



レースの様子

金沢区民活動センター ゆめかもん

住所	金沢区泥亀2-9-1 金沢区役所2階
交通	京浜急行 金沢文庫駅 徒歩 11分 京浜急行・シーサイドライン 金沢八景駅 徒歩 13分
電話	045-788-7803
FAX	045-789-2147
利用時間	8:45~17:00
休館日	第1日曜、年末年始・祝日 (祝日が土、日曜日と重なる場合は除く)



センターの特長

金沢区は、歴史的遺産、近代的施設などに恵まれた多様性に富む地域です。また、海と山、それを結ぶ川と自然環境にも恵まれています。

歴史ある古い土地柄であることから、区民活動センターには歴史や自然に関する活動団体の登録が多くあり、利用者は比較的中高齢者が多くみられます。センターとしてはその活動支援とともに、若い世代に向けたイベントや講座も実施し、幅広い世代の利用と支援を目指して事業を行っています。

相談、コーディネート、ネットワークづくり

- 生涯学習・市民活動に関する情報提供や、地域で活動する団体及び様々な特技や技能を持つ個人の登録制度（登録団体・金沢区「街の先生」）を活用したコーディネートを行っています。

機材の貸出・場の提供

- 登録者・登録団体へ会議室（定員 22 名）や印刷機・プロジェクターなど、施設・機材の貸出を行っています。
- 区民ギャラリー・展示ケースでは、作品等を展示することができます。

情報発信

- 情報紙「ゆめかもんニュース」では、自主企画事業の情報発信、登録団体の事業紹介や会員募集など、生涯学習・市民活動に関する情報を定期的に発信しています。
- 広報よこはま金沢区版は、区民ギャラリーや自主企画事業の情報を発信しています。

金沢区民活動センター ゆめかもん 令和4年度 主な実施事業

● 見に来て身になる！ミニ体験講座

金沢区「街の先生」や登録団体の周知、及び活動の幅をさらに広げることを目的に、これらの活動者自らが講座を組み立て実施します。

活動者のスキルアップや、区民利用施設とつながりをつくる機会を提供しています。

(例年区内公共施設を会場にしていたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、区役所会議室、金沢公会堂にて実施しました。)

開催日 令和4年9月1日～9月28日

参加者数 17講座 延べ208人

市民の声
「興味のある活動を見つかることができた」(参加者)
「久しぶりに皆で歌う事ができて嬉しい」(参加者)
「初めて講座を実施してとても勉強になった」(活動者)



見に来て身になる！ミニ体験講座の様子

● つながりステーション事業「金沢区コミュニティサロン連絡会」

協働契約(つながりステーション)で結ばれたコミュニティサロンと区役所が連絡会を結成し、地域をもっと明るく、もっと元気にするために連携して活動しています。

定期的で開催されるコミュニティサロン連絡会では、和気あいあいとした雰囲気の中、サロン間の相互交流及び情報交換、運営に係る知識及び経験の伝播などが行われています。

令和4年度は、区民まつり「金沢まつり いきいきフェスタ」にも参加し、各サロンのPRブースを出店。各ブースを巡るスタンプラリーも実施し、幅広い世代にコミュニティサロンの存在をPRすることができました。

各サロンの活動内容を紹介したガイドブックも作成し、区民の認知度も向上しています。

開催日 令和4年4月・6月・9月・11月(連絡会)
令和4年10月15日(金沢まつり いきいきフェスタ)

参加拠点(連絡会) 9拠点
(さくら茶屋にししば/富岡サロン ジュピのえんがわ/もりのお茶の間/みんなの交流スペースむつら(六浦)/Welcafe/みんなの居場所 結/コミュニティサロン ほっこり/釜利谷ふれあいカフェ/こずみの ANNEX)



「金沢まつりいきいきフェスタ」
スタンプラリーの様子



コミュニティサロン連絡会の様子

港北区（地域振興課） 〒222-0032 港北区大豆戸町 26-1 TEL.045-540-2238～2242

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民の幅広い学習ニーズに応じた生涯学習や青少年育成、スポーツや文化・芸術等の事業を、区民と協働して実施することにより、区民が楽しみながら学び、地域に親しむ機会や交流する場を提供し、区民の自立的・自発的な学習活動を支援します。

【令和4年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 区民活動支援事業	
(1) 区民活動支援センター事業	区民活動相談・学習相談・情報提供・機材の貸出など区民の自主的な学習活動を支援しました。
(2) まちの先生	地域での学びあいの活動を推進するため、特技や知識を生かして指導するボランティア「まちの先生」、グループ・施設とのコーディネートを行い、「つながるカフェ」「居場所交流会」「施設間連携会議」を開催しました。地域の歴史等を学ぶ「港北地域学」を開催しました。
(3) 区民活動支援センター情報誌「楽遊学」の発行	区民の自主的な活動も含め、身近なところで参加できる講座・スポーツ・サークル活動等を掲載した情報誌を年6回発行しました。（区ホームページに掲載）
2 読書活動推進事業	
(1) みんなで遊ぼう本とであおう事業	小学生対象の紙芝居制作講座を開催しました。「秋のヨコアrikunまつり」で各種図書展示や紙芝居制作講座参加者・区内活動団体による紙芝居上演などを実施しました。ブックガイド「おひぎにだっこで楽しむ絵本」を戸籍課窓口や乳幼児健診会場にて配布しました。
(2) 読書情報発信事業	日吉図書取次所「日吉の本だな」で図書企画展示や図書館カード出張登録会、区民活動支援センター出張相談会や「まちの先生」の朗読会等を実施しました。日吉の本だなや図書館で利用できるサービス等の紹介動画を制作しました。区内図書貸出施設や蔵書等に関する情報を集約し、区ウェブサイト等で発信しました。
(3) 読書団体連携事業	読書活動推進関係機関連絡会（小・中学校、保育園、地区センター等）を開催し取組の共有等を行いました。読み聞かせ活動団体等を対象に交流会を実施しました。読書活動推進月間中に区内施設等で開催の読書関連行事をまとめたイベントカレンダーを区ウェブサイトに掲載しました。
3 青少年活動支援事業	
(1) ペットボトルロケット大会	小学生を対象にペットボトルロケット大会の開催（飛距離部門の開催は3年ぶり）を通じて、地域や友達、家族のふれあいを深める場を提供するとともに、子どもたちの豊かな情操と優れた創造力を育みました。
(2) 青少年指導員事業	夜間パトロールや啓発キャンペーン等を通して社会環境の健全化を図りました。
4 地域スポーツ推進事業	
(1) スポーツ活動団体への補助事業	区内のスポーツ活動団体を支援し、地域スポーツの振興を図りました。
(2) 港北駅伝大会実行委員会への補助事業	港北駅伝大会実行委員会を支援し、地域における世代間交流の促進、中高生の体育の向上、地域スポーツの振興を図りました。
(3) 大学とのスポーツ連携事業	慶應義塾大学と連携して、小学校ラグビー授業へのサポート講師派遣や、ラグビー・スポーツ体験会を実施しました。
(4) スポーツ推進委員事業	地域でのグラウンドゴルフ大会やペタンク大会等、スポーツ活動を支援しました。
5 芸術文化振興事業（港北芸術祭）	
(1) 鑑賞型事業	区民に身近な場所で良質な芸術文化に接する機会を提供するため、ジャズコンサート及び寄席の有料公演を実施しました。
(2) 参加型事業	区民が日頃の活動の成果を披露する場として、港北三曲会演奏会や美術展を、また区民の体験の場として箏や書道の体験教室を開催しました。
(3) 文化団体の支援	文化団体に共催・後援・広報協力等の支援をしました。
6 港北国際交流ラウンジ運営委託	コロナ禍においても外国人からの相談対応を継続するとともに、外国人と日本人の交流の場の提供、広報紙の発行などを実施しました。また前年度オンラインで実施したワクワクまつりは規模を縮小したうえで4年ぶりに集合にて実施しました。そのほか、大人を対象とした国際理解イベント「港北ウクライナカフェ」や「ウクライナの今を知りたい」等の開催を通じて、区民の国際理解促進に取り組みました。
7 わがまち港北映像ライブラリ事業	市民協働事業により、港北区の歴史等に関する映像の制作や、区の歴史や見どころなどの映像をウェブサイト「港北映像ライブラリ」で配信しました。
8 港北区元気な地域づくり推進事業	
(1) 地域ガイド活動支援事業	区が養成したガイドをメンバーとする、港北ボランティアガイドにより、企画講座・ガイドツアーを実施しました。

港北区 令和4年度 主な実施事業

● 芸術文化振興事業（港北芸術祭） 参加型事業

区民が日頃の活動の成果を披露する場として、港北三曲会演奏会や美術展を、また区民の体験の場として箏や書道の体験教室を開催しました。

さわってみよう！箏

開催日 令和4年7月30日、8月27日

参加者数 17人

内容 港北三曲会による箏の体験教室

市民の声 「初めてでしたがとても楽しかったです。ずっと興味関心はあったのですが、やってみたかったのですが、なかなか機会が持てなかったのが、今回参加できてとても良かったです」

「思っていたより難しかった。げんが硬くてびっくりしました。普段ふれることが出来ない楽器にふれられて、貴重な体験になったと思います」



箏の体験教室の様子

書道体験教室 筆文字で遊ぼう！

開催日 令和4年12月3日

参加者数 11人

内容 書道のワークショップ

市民の声 「とても和やかな雰囲気楽しんでできたのでよかったです」

「楽しみながら、かつ集中して取り組めたと思います」



書道体験教室の様子

● わがまち港北映像ライブラリ事業

市民団体との協働により、区の歴史等に関する映像の制作や、区の見どころ等の映像の配信を行うウェブサイト「港北映像ライブラリ」の運営を行いました。

作品数 約300作品

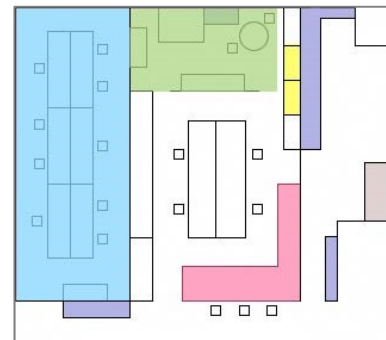
(観光、自然、文化・芸術、スポーツなど11ジャンル)



ウェブサイト「港北映像ライブラリ」

港北区区民活動支援センター

住 所	港北区大豆戸町 26-1 港北区役所 4階
交 通	東急東横線大倉山駅 徒歩7分
電 話	045-540-2246
F A X	045-540-2246
利用時間	8:45~17:00
休 館 日	土日・祝日・年末年始



何かを始めたい、団体活動を活性化させたい等のご相談

市民活動、生涯学習、ボランティア、グループ・団体活動に必要な情報の提供や相談、人と人、地域とのつながりづくりのコーディネートをします。

活動PRや講座イベント等のチラシを配架

活動団体に関すること、区民利用施設のイベントやまちの情報、グループ団体のイベント、会員募集など様々なチラシをご自由にご覧いただけます。掲示もしています。

イベントの広報や会員募集のお手伝い

港北区の「活動」をつなぐ情報誌『楽遊学』を隔月で発行しています。地域の活動団体の紹介や、わがまち港北スポット、区内・周辺のイベント情報、グループ団体からの会員募集など、役立つ情報満載です。

活動場所や印刷機、紙折り機のご提供

グループの打合せや会議にご利用いただける会議室や交流コーナーを活動の場として提供しています。活動に必要な物品の保管に利用できる情報交換ボックス、印刷機、紙折り機のある作業コーナーも設置しています。

「まちの先生」の登録と紹介

専門知識や特技を活かすボランティアを「港北区まちの先生」として登録していただき（令和4年度登録者：135人）、地域活動やサークル活動の講師としてご紹介。共に学び合う環境づくりをサポートしています。（『港北区まちの先生ガイド』【登録者一覧リスト】発行）

機材・布おもちゃ・港北昔ばなし紙芝居の無料貸出

グループ・団体活動に必要な物品を貸出ししています。

港北区区民活動支援センター 令和4年度 主な実施事業

● 港北地域学

「港北区」の成り立ちや歴史・文化・特性など様々な学ぶ講座を開催し地域への愛着や課題の発見などを目指し開催しました。

第1回「横浜市歴史博物館で学ぶ「よこはま縁むすび講中」って何？

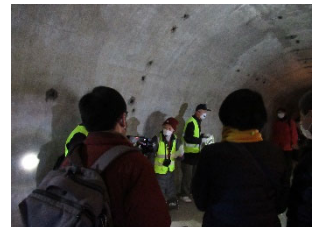
開催日	令和4年11月26日
参加者数	22人
講師名	橋口 豊・羽毛田 智幸（横浜市歴史博物館学芸員）
市民の声	「よこはま縁むすび講中を理解することができた」



第1回 港北地域学

第2回「日吉台地下壕の歴史」

開催日	令和5年1月16日
参加者数	28人
講師名	都倉 武之（慶應義塾福澤研究センター准教授）
市民の声	「実際に地下壕を見学することで深い学びとなった」



第2回 港北地域学

第3回「子どもころの綱島について語ろう」

開催日	令和5年2月6日
参加者数	68人
講師名	佐藤 誠三・中森 伸明・竹生 寿夫（綱島地区連合自治会）
市民の声	「昔の綱島の話をもっと聞きたかった。続編をやってほしい」



第3回 港北地域学

第4回「地域学のはじめ方むら・まち・くに」

開催日	令和5年3月2日
参加者数	44人
講師名	山下 祐介（東京都立大学人文社会学部教授）
市民の声	「今後も地域学を続けてほしい。いい勉強ができた」

● 誰でもできるホームページの作り方講座

地域の講師による地域の方のための活動支援として、Googleサイトを用いてホームページを作成するICT講座を実施しました。

開催日	令和4年8月26日、9月9日
参加者数	10人
講師名	梅里 和平（港北パソコンサロン主宰） 星野 まち江（パソコン教室講師）
市民の声	「ホームページ制作にチャレンジするきっかけとなった」

参加者募集

誰でもできる ホームページの 作り方講座

参加無料

地域で活躍しているグループ、個人や地域活動の推進に役立つホームページ制作のスキルを身につけよう。無料で開催！ホームページ作成のスキルを身につけよう。参加費は無料です。（G2P）

第1回 8/26(金) 第2回 9/9(金)

時間: 9:30~11:45（受付開始9:15より）

場所: 港北地区センター中会議室

港北地区センター 1-15-22（東急東横線港北駅西口徒歩5分）

<p>港北パソコンサロン主宰 梅里 和平</p> <p>パソコン教室講師 星野 まち江</p>	<p>講師 梅里 和平</p> <p>講師 星野 まち江</p>
---	----------------------------------

※ 申し込み参加費は10名（定員超過の場合は抽選）
※ 申し込みは先着順です。抽選の結果は、港北地区センターのホームページに掲載いたします。
※ 申し込みは、港北地区センターのホームページに掲載いたします。
※ 申し込みは、港北地区センターのホームページに掲載いたします。

申込締切: 8月19日(水)
※ 港北地区活動支援センター 1-15-22 港北地区センター

ICT講座ちらし

緑区（地域振興課生涯学習支援係） 〒226-0013 緑区寺山町 118 TEL.045-930-2238

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民が主役となって行う、スポーツ振興、青少年健全育成、芸術・文化分野の活動を支援します。
また、市民活動パワーアップ支援事業では、生涯学習や市民活動団体の代表者からなる「緑区市民活動支援センター運営委員会」の専門部会とみどりーむネクストが中心となり、生涯学習や地域活動への参加のきっかけとなる講座などを企画・実施しています。

【令和4年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 市民活動パワーアップ支援事業	
(1) 生涯学級事業	市民が5回程度の連続講座を企画・運営することにより、グループ活動のノウハウを学んだり地域で仲間づくりを進めたりする事業を実施しました。
(2) 生涯学習人材バンク事業	まちのボランティア講師「ちょっと先生」の登録・紹介、地域イベントでの人的コーディネート等の支援を行いました。
(3) 市民活動交流事業	地域で行われている公益的活動を周知し、地域活動の担い手を増やすために、活動発表や意見交換の場として「みどりーむまつり」、「みどり市民活動交流会」などで交流を促進しました。コロナ禍で始めたオンラインを併用して「Open!みどりーむ」を開催しました。
(4) 多文化共生事業	多様な文化が共生するまちを目指して、「みどり国際交流ラウンジ」で日本語教室や交流イベント等を開催しました。
(5) 区民との協働によるIT普及事業	ボランティア団体との協働によりIT講習会の実施及びパソコン常設相談コーナーの運営を行いました。
2 青少年地域サポート事業	
(1) 緑区青少年活動事業	緑区の青少年健全育成にかかわる活動を支援し、効果的に推進することを目的として対象団体に補助金を交付しました。また、東京工業大学と連携して小・中学生向け科学実験教室を実施しました。
(2) 青少年指導員事業	青少年指導員の活動を支援しました。
(3) 社会環境浄化活動事業	区内店舗において有害図書の出回状況の立入調査を行い、店舗側へ啓発を行いました。
3 スポーツ振興事業	
(1) スポーツ振興事業	地域のスポーツ団体が協力して実施するランニング大会や、区民がトップアスリートを身近に感じる機会としてプロスポーツ観戦事業を実施しました。
(2) スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員の活動を支援しました。
(3) スポーツ協会への補助事業	加盟している種目別15競技団体等の支援を通して、スポーツ振興を図りました。
(4) みどりスポーツフェスティバル2022	地域のスポーツ団体が協力し、世代を問わず気軽に参加できるスポーツの体験イベントを開催しました。
4 緑・芸術文化事業	
(1) 地域文化振興事業	緑・芸術文化活動支援事業の対象となるイベントを募集し、事業のPRや経費の一部助成等の支援を行いました。また、区庁舎を活用した文化振興として、文化サークルによる展覧会「サークルミニギャラリー」を実施するとともに、声楽・落語など様々なジャンルの「お昼のロビーコンサート」を開催しました。
(2) 交流と人材育成事業	文化活動をする団体に対し発表と交流の機会を提供するため「提案型ロビーイベント」を募集し、区庁舎でイベントを実施しました。また、若年層の文化芸術に対する興味・関心を高めて裾野を広げるため、小学生向け文化芸術体験ワークショップを実施しました。
5 「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」に基づく事業	中学生が読書に親しむきっかけ作りとして、青少年向け読書啓発事業「中学生選抜！私の推し本」を実施し、協力校の生徒から図書を推薦してもらい、推薦用紙を区役所や図書館で展示し、人気上位作品をポスター形式にして掲出しました。また、横浜創英大学と協働による絵本リスト冊子の作成、大学生によるおはなし会を実施しました。

緑区 令和4年度 主な実施事業

● 区内大学等と連携した青少年向け体験講座事業 「おもしろ科学実験教室」

科学技術分野において高度な研究を行っている東京工業大学と連携し、小・中学生向けの科学実験教室を実施しました。

開催日	令和5年2月19日
会場	長津田地区センター
テーマ	小学生の部「植物を守る色のひみつ」 中学生の部「身近なものからDNAを抽出しよう」
参加者数	小学生12人、中学生9人
講師	東京工業大学 生命理工学院の学生（大学公認サークル Bio Creative Staff 所属）
市民の声	「勉強になった。もっと理科について知りたくなった」



科学実験の様子

● 横浜創英大学との協働による読書活動推進事業 「土曜日のおはなし会スペシャル」

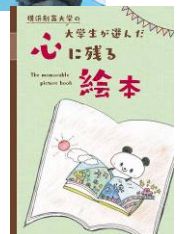
横浜創英大学こども教育学部の学生及び緑図書館との協働により、大学生によるおはなし会を実施しました。

また、絵本リスト冊子『横浜創英大学の大学生が選んだ心に残る絵本』を作成しました。

開催日	令和4年11月12日 ※ 同内容を2回開催
会場	緑図書館
参加者数	3歳以上の未就学児と保護者 13組
講師	横浜創英大学こども教育学部学生 3人
市民の声	「大人も子どもも楽しめる内容だった」 「もっと絵本を子どもと読みたいと思った」



横浜創英大学生による
おはなし会の様子



絵本リスト

● 文化芸術体験ワークショップ 「ストローで楽器をつくって演奏しよう」

緑区内の小学生に、文化芸術に身近に触れてもらうため、身近なストローで「パンフルート」の制作・演奏の体験ができるワークショップを実施しました。

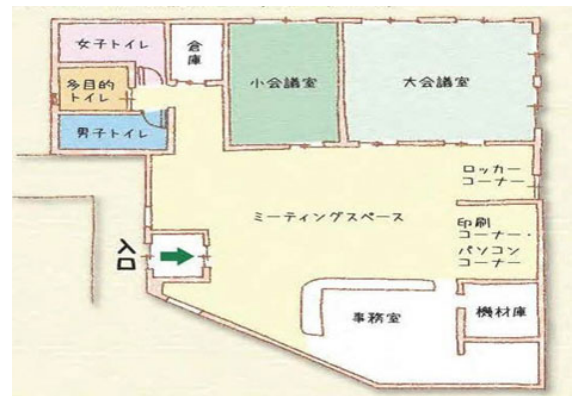
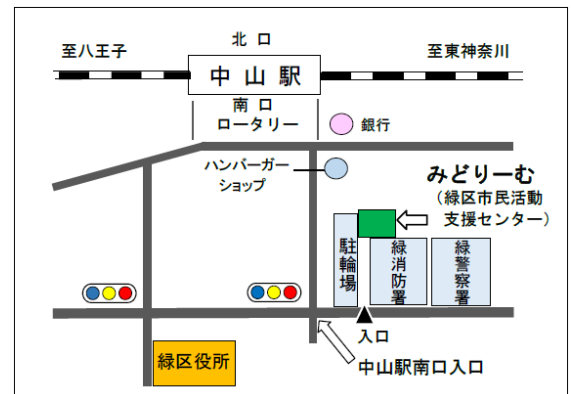
開催日	令和5年3月12日
参加者数	小学生15人
市民の声	「工作が好きだからすぐたのしかった」 「知らない楽器のことが知ることができておもしろかった」 「また別のワークショップにも参加してみたい」



ワークショップの様子

緑区市民活動支援センター みどリーむ

住 所	緑区中山4-36-20
交 通	JR・市営地下鉄グリーンライン中山駅南口 徒歩7分
電 話	045-938-0631
F A X	045-939-5401
利用時間	月曜～土曜 9:00～21:00 日曜・祝日 9:00～17:00
休 館 日	毎月第2月曜（祝日の場合は翌日）・年末年始



みどリーむの特長

みどリーむの運営は、運営委員会と緑区役所との協働で行っています。運営委員会は、生涯学習や市民活動のきっかけづくりや楽しさを伝えるための講座やイベント、交流事業等を企画実施しています。

相談、コーディネート、ネットワークづくり

生涯学習・市民活動の情報を集め、相談者へ情報の提供を行っています。

情報発信・収集

登録団体の活動内容やメンバー募集等の情報提供、広報誌「みどりのなかま」を発行しています。運営委員会がブログ、YouTube公式チャンネル、Facebook、Instagramを活用して講座やイベントの様子などを配信しています。

人材の発掘・育成・活用

仕事や趣味等で培った知識や経験・特技などを活かして、地域の様々な場面でボランティアとして活動する「人材バンク“ちょっと先生”」の登録や紹介（コーディネート）を行っています。

場の提供・機材の貸出

会議室（定員24、42人）2室、ミーティングスペース（定員40人）で会議や講座開催ができます。登録申請によりプロジェクターなどの館外貸出も行っています。

緑区市民活動支援センター みどリーむ 令和4年度 主な実施事業

● 第17回みどり市民活動交流会

第一部では、市民活動を行っている団体が活動発表を行い、第二部では、参加者がグループに分かれ、地域活動の魅力を語り合いました。

- テ ー マ** 市民活動って何？と思っているあなたにも、現在活動中のあなたにも、聞いてもらいたい活動者のお話
- 開 催 日** 令和4年9月25日
- 参加者数** 30人
- 市民の声** 「同じ緑区内で活動している皆さんのお話を伺って刺激になった。これから活動を始めたいと思った」



みどり市民活動交流会グループ討議の様子

● みどリーむまつり 2023

みどリーむに登録している団体・ちょっと先生が、活動紹介、体験講座、パネル展示などを行いました。会場の様子をYouTube ライブ配信しました。

- テ ー マ** 地域で活動する人と出会える、つながれる
- 開 催 日** 令和5年3月4日、5日
- 参加者数** 約500人
- 市民の声** 「こんな地域活動があるということを知り、勉強になった。親子で楽しい時間を過ごせた」



みどリーむまつり 2023 活動紹介の様子

● 生涯学級講座

「自然を楽しむ講座」：5回の連続講座で緑区内や近隣区の公園や市民の森をめぐる自然観察をしました。

- テ ー マ** 自然と人間との関わりを学び、仲間づくりや地域活動参加へのきっかけづくりをする
- 開 催 日** 令和4年4月12日～6月7日 全5回
- 参加者数** 15人
- 市民の声** 「鴨居にこんな良い所があるとは知らなかった。里山を再生したボランティアの熱意がすばらしい」



自然を楽しむ講座 新治市民の森の谷戸田

「地域デビュー講座」：5回の連続講座で動画作成のポイントをプロに学び、スマートフォンで動画編集をし、YouTubeに投稿する方法を学びました。

- テ ー マ** 動画の編集を学び、イベントや団体の活動など緑区の魅力を発信するボランティアグループを立ち上げる
- 開 催 日** 令和4年11月19日～12月17日 全5回
- 参加者数** 15人
- 市民の声** 「撮影前に目的、企画、魅せ方、テーマを考える必要性が分かった。見てもらえる動画を作るのは難しい」



地域デビュー講座 講座風景

青葉区（地域振興課文化・コミュニティ係）〒225-0024 青葉区市ケ尾町 31-4 TEL.045-978-2295

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

青葉区では、ボランティア、市民活動、文化・芸術活動などに自発的に取り組む区民が多く、生涯学習へのニーズも多種多様です。これに応えるため、企画運営に区民が関わり、区民同士が交流しながら、主体的に学習活動に取り組めるように支援し、自主活動へ発展することを目標として事業を実施しています。

【令和4年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 生涯学習・区民活動支援事業	
(1) まちの担い手デビュー講座	地域課題について意見交換しながら、仲間づくり及び地域活動を行うための企画やノウハウを学ぶ講座を開催しました。
(2) 区民企画運営講座	まちの担い手デビュー講座受講生が団体を構成し、補助金を受けて事業の企画・運営を行いました。2団体が立ち上がり、前年度からの活動継続団体を含め、3講座が開催されました。
(3) 区民活動支援センター事業	市民活動や生涯学習を総合的に支援するため、相談・コーディネートや情報発信のほか、講座や交流イベント等を通じて、地域のつながりづくりを推進する事業を実施しました。オンラインと会場を使い分けるなど、コロナ禍における事業開催の手法を工夫しました。
2 国際交流・多文化共生事業	
(1) 国際交流ラウンジ運営委託	青葉国際交流ラウンジを運営し、外国人市民に対して、生活情報の提供や、日本語教室の実施等を行いました。
3 スポーツ振興事業	
(1) スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進委員連絡協議会の事務局としてスポーツ推進委員の活動を支援し、協力しました。
(2) スポーツ振興イベント事業	区民の誰もが気軽に楽しめるスポーツイベントとして、3年ぶりにマラソン大会をリアル開催しました。
(3) スポーツ協会事業	スポーツ協会の事務局と協力して、地域スポーツの振興や、加盟スポーツ団体との連絡・調整を行いました。
4 文化・芸術関係事業	
(1) 青葉区民芸術祭事業	区民の企画・運営による各芸術分野（※）の展示や発表について、感染予防対策を講じた開催や中止になった事業は代替え事業としてパネル展やウェブ上で活動紹介を行うなど工夫して実施しました。 （※絵画、書道、文芸、華道、写真、美術工芸、茶道、コーラス、器楽、芸能）
(2) あおば音楽ひろば事業	区役所1階でお昼のコンサートを開催しました。（緊急事態宣言期間を除く）
(3) 青葉区シニアコンサート事業	NPO法人との共催により、感染予防対策をとり高齢者の生きがいづくりを目的とした本格的なコンサートを開催しました。
(4) あおば美術公募展事業	区民の芸術文化の振興を図るため、区民からなる実行委員会や運営サポーター、大学などと協働して、絵画作品の公募展を開催しました。
(5) 郷土の歴史を未来に生かす事業	ふるさとである青葉区に理解と愛着を深めていただくため、歴史講座や歴史探訪講座等を行いました。

青葉区 令和4年度 主な実施事業

● まちの担い手デビュー講座

受講者同士で地域における課題を考え、仲間とともに地域で活動していくために必要な知識とノウハウを習得することを目的に講座を開催しました。

開催日	令和4年5月～7月（全5回）
参加者数	延べ72人
講師名	時任 和子（NPO 法人夢・コミュニティ・ネットワーク事務局長）



まちの担い手デビュー講座の様子

● 区民企画運営講座

「まちの担い手デビュー講座」の受講生が、共通のテーマで仲間を作り、自ら企画・運営する区民企画講座を実施しました。令和4年度は3団体・3講座を実施しました。

「障がい者とながら、つぎの一步」

障害者の方々と作業を通じ、障害についての理解を深め、自分にできることを考え交流しました。

開催日	令和4年11月～12月（全3回）
参加者数	延べ26人



「All in AOBA 知って、話して、つながろう」

「多様性」をキーワードに、地域に暮らす外国人や活動団体の交流を通じて、多文化共生社会の理解を深めました。

開催日	令和4年11月～令和5年1月（全4回）
参加者数	延べ53人



「めざせ！昔あそび名人」

昔あそびを通じて、こどもからシニアまで幅広い地域の人たちが世代を超えた交流の楽しさや大切さを学びました。

開催日	令和5年1月（全2回）
参加者数	延べ21人（昔あそびフェスタ来場者：119人）



区民企画運営講座の様子

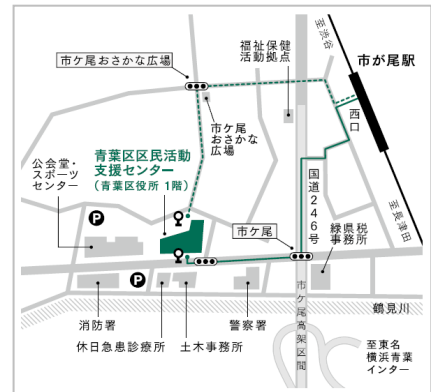
「生涯学習成果発表会」

区民自ら企画・運営した区民企画講座について、3講座の運営委員による発表を通じて、地域活動に興味のある区民との交流会を開催しました。

開催日	令和5年3月7日
参加者数	延べ17人

青葉区区民活動支援センター

住所	青葉区市ケ尾町 31-4
交通	東急田園都市線市が尾駅 徒歩 8分
電話	045-978-3327
FAX	045-972-6311
利用時間	月曜～金曜 8:45～17:00 第2・4土曜 9:00～12:00
休館日	日曜、祝日、年末年始、第2・4以外の土曜



センターの特長

青葉区区民活動支援センターは、活動を活性化するためのお手伝いや、さまざまな人や団体、活動をつなぐコーディネート、これから何かを始めたい人の相談を受けています。

相談、コーディネート、ネットワークづくり

- 「まち活コーディネーター」が、青葉のまちで生き生きと活動するあなたを応援します。活動のきっかけが欲しい、活動を活性化したいなどお気軽にご相談ができます。

情報収集

- 団体活動やイベントのチラシ等の配架や、月刊情報誌「Info まち活」を発行しています。まちの情報等、いろいろな資料が閲覧できます。

場の提供・機材の貸出

- ミーティングコーナー：市民活動・生涯学習活動の打合せなどに利用できます。
- 作業コーナー：印刷機（有料・要予約）、紙折り機、裁断機等が利用できます。
- 貸しロッカー・連絡ボックス：活動団体の資料の保管等に利用できます。（要団体登録）
- まち活ギャラリー：登録団体、まち活パートナーズ等の創造的、公益的な活動の発表ができます。
- 貸出機材：マイクセット、プロジェクター、スクリーン、CD ラジカセ、紙芝居台、パラバルーン、ハンズフリー拡声器、クリップボード、照明機器、ポップスタンド、電子ピアノ（要団体登録）

青葉区区民活動支援センター 令和4年度 主な実施事業

● まち活カフェ

「まち活カフェ」は、テーマに沿って地域で活動しているゲストスピーカーのお話を聞きながら学び、交流する場です。令和4年度は全3回を開催し、参加者同士の情報交換の中で、新たなつながりを創出しました。

「暮らしの中の健康づくり」

開催日	令和4年6月23日
参加者数	19人
ゲスト	新田 智裕（理学療法士）
スピーカー	石井 佳代子（健康運動指導士）



まち活カフェの様子

● まち活おしゃべりタイム

「まち活おしゃべりタイム」は、誰もが集い、おしゃべりを通して新たな出会いとつながりを作る場です。令和4年度は全6回、各月開催とすることで、区民同士の小さなテーマコミュニティの形成の場を創出しました。

「自分を整える」

開催日	令和5年1月24日
参加者数	16人
講師名	中村 環来（まち活パートナーズ）



まち活おしゃべりタイムの様子

● 市民活動支援講座

「スマホで活動紹介動画を作ってみよう！」

コロナ禍でもより多くの方に活動情報を発信するための活動紹介動画をスマートフォンで作成する講座を開催しました。大学生ボランティアと交流しながら、楽しく情報発信のスキルアップを図りました。

開催日	令和4年9月8日、22日
参加者数	12人
講師名	出田 遼聖（あおばコミュニティ・テラス大学生サポーター）

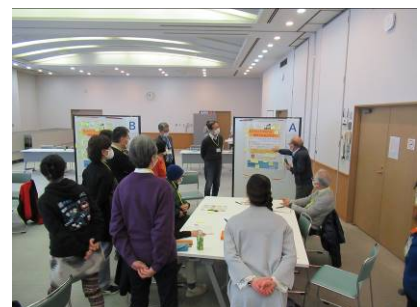


講座当日の様子

「まち活フォーラム 伝えたい人に伝える情報発信術を学ぼう！」

情報発信手段が多様化する中で、誰に何を伝えるべきか、何のために情報発信するかを学ぶとともに、日々の活動を改めて振り返る機会を提供しました。

開催日	令和5年3月3日
参加者数	18人
講師名	生田 光弘（認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構職員）



まち活フォーラムの様子

都筑区（地域振興課区民活動係） 〒224-0032 都筑区茅ヶ崎中央 32-1 TEL.045-948-2236

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民の自主的な学習活動や市民活動の振興を図るため、情報提供や活動の場の提供、活動に関する相談・コーディネートを行うとともに、活動成果の発表・交流の場を提供します。

【令和4年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 市民活動・生涯学習支援（つづき“縁”ジン事業）	
(1) 区民活動センター事業	市民活動や生涯学習の相談窓口、情報提供、機材貸出し、ミーティングコーナーの提供、人材バンク制度などにより、市民活動・生涯学習全般の支援を行いました。
(2) 大人の部活動	地域で何かを始めたい人が集い、市民活動の担い手づくり講座を開催しました。
(3) 区民活動補助事業	自主的かつ主体的に行う公益性のある事業に補助を実施しました。
(4) 縁ジンミーティング	登録団体に向けて、活動する上で必要な知識やノウハウについて学ぶ講座を実施し、団体同士での交流を図りました。
(5) つづき人交流フェスタ	区内の市民活動団体・グループが活動内容を紹介して区民活動の楽しさを広め、ネットワークを広げるイベントを開催しました。
(6) 輝く女性応援プロジェクト	自分の生き方を考え、活躍できるまちとなるように、一般募集した運営委員による講座を実施し、次年度の講座の担い手を発掘しました。
(7) 市民ライター講座	都筑区民活動センターの広報紙「縁ジン」をつくる市民ライターの養成講座を実施しました。
(8) つながりカフェ・転勤妻のサロン	区民が地域活動を知るきっかけ作りや地域団体との交流を深めるためのサロンを開催しました。
2 青少年健全育成事業	
(1) 青少年指導員事業	青少年指導員による各地区での青少年健全育成活動を実施しました。
(2) はあとdeボランティア	青少年の自主性や社会性を育むため、夏休み期間中に小・中高生がボランティア体験をする場を提供しました。
(3) つづきウォーク&フェスタ	緑道ウォークの企画は中止になりましたが、代わりに部活動の発表映像放映や全市統一行動キャンペーンイラストの展示など、バーチャルでイベントを実施しました。
(4) 青少年支援者講座	青少年を支援する地域づくりにつながる講座を実施しました。
3 スポーツ振興事業	
(1) スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員による各地区でのスポーツ振興活動を実施しました。
(2) 都筑ふれあい健康マラソン大会	都筑ふれあい健康マラソン大会をオンライン形式により開催し、区民の皆様がスポーツに参加する機会を創出しました。
(3) 体育協会支援事業	区民スポーツの振興のため、都筑区体育協会の活動を支援しました。
(4) 都筑スポーツ・文化賞	顕著な功績を収めた方を表彰し、区民の皆様を紹介しました。
(5) プロスポーツ支援事業	区内に拠点を置くプロバスケットボールチーム、横浜ビー・コルセアーズのPR活動の支援を行うとともに、地域が一体となってチームを支える体制づくりに取り組みました。
4 文化活動支援事業	
(1) 区民文化祭	日ごろから文化活動を行っている人々が今年度のキャッチフレーズを決定し、文化祭のポスター画を募集・展示しました。
(2) 読書事業	読書活動の推進を図るために、おでかけ図書館やブックフェスタ、関係機関による懇談会を実施しました。
5 都筑多文化・青少年交流プラザ事業	
(1) 在住外国人支援・国際交流事業	外国人市民のための生活情報の提供、外国人支援ボランティアの養成や講座の開催等を行いました。また、ボランティアグループと協力し、多文化理解の深まるイベントを実施しました。「やさしい日本語」を普及するため講座を開催しました。
(2) 青少年の地域活動拠点事業	中高生世代を中心とした青少年が気軽に集い、仲間や大人との交流、さまざまな体験や自主的な企画・運営ができる場を提供しました。
(3) 市民活動支援	市民活動団体・グループに活動の場の提供を行いました。
6 区民利用施設管理・運営	
	地区センター、スポーツ会館、公会堂、老人福祉施設の指定管理に伴う総合調整を行いました。

都筑区 令和4年度 主な実施事業

● 区民活動補助事業

地域の課題解決を目的として行なう公益性の高い事業を実施する区内の市民活動団体6団体に対し、補助金を交付しました。3月には、補助事業の成果発表会を行い、コメントーターに事業の講評をしていただきました。

成果発表会

開催日	令和5年3月8日
発表団体数	6団体（補助金交付団体）
講師名	竹迫 和代（参画はぐくみ工房）



補助事業事例紹介

● つづき人交流フェスタ

区内の市民活動団体等の活動内容をパネル展やワークショップによりPRし、より多くの区民の方が活動を始めるように働きかけました。また、出展団体を中心とした、区民同士の交流会を実施しました。

開催日	令和5年3月3日～8日
参加者数	パネル展出展：44団体 ワークショップ出展：16団体 交流会：約50人
市民の声	「参加者も多く、様々な分野の活動を知る事が出来た」



つづき人交流フェスタパネル展様子

● 広報紙 きっかけマガジンつづき“縁”ジン

地域活動を紹介する広報紙を発行しました。

また、市民ライター養成講座を開講し、市民ライターと共に紙面を作成しました。

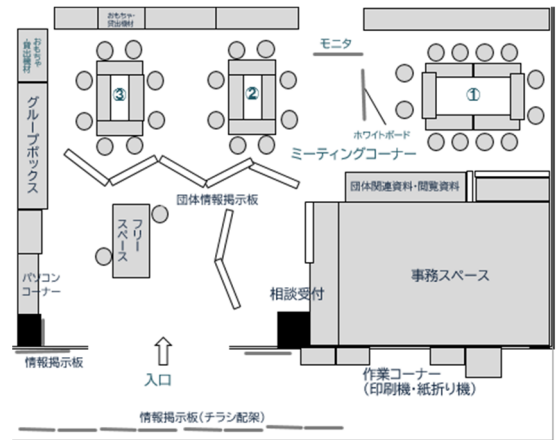
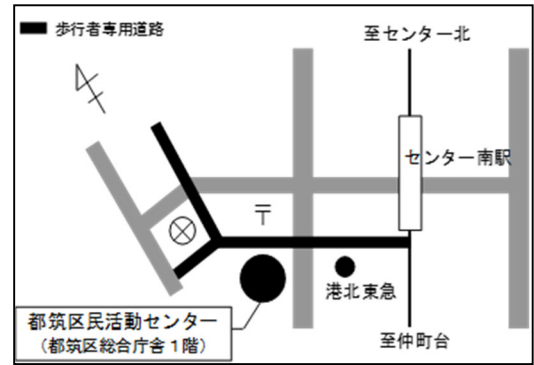
発行頻度	年2回
発行部数	各7,000部
講座受講者	10人
講座講師	北原 まどか（森ノオト理事長）
市民の声	「いろいろな方と受講したことで刺激もあったし、取材で新しい発見やつながりができ、嬉しいことが沢山あった」



広報誌の紙面紹介

都筑区民活動センター

住所	都筑区茅ヶ崎中央 32-1 都筑区役所 1階
交通	市営地下鉄センター南駅 徒歩 5分
電話	045-948-2237
FAX	045-943-1349
利用時間	9:00~17:00
休館日	毎月第3月曜、日曜、祝日、年末年始



都筑区民活動センターの特長

都筑区民活動センターは、都筑区総合庁舎の1階という多くの情報・人が集まる環境をメリットと捉え、各施設が連携し地域の皆様の活動がより広がるよう運営しています。

相談、コーディネート、ネットワークづくり

何か始めたいという思いのある個人の方や、運営の悩みを抱える団体の皆様の相談を受け、アドバイスをします。

情報発信・収集

区内で行われるイベントや、団体のメンバー募集情報などのチラシを配架しています。また区民活動センターの情報紙「縁ジン瓦版」を隔月で発行しています。

人材の発掘・育成・活用

特技や技能を地域に活かしたい方を「プログラムバンク」に登録しています。利用したい団体の依頼に基づき紹介します。

場の提供・機材の貸出

活動の打ち合わせのためのミーティングコーナーや印刷機、貸グループボックスがあります。会議やイベントで使用するプロジェクター、着ぐるみ、おもちゃ等を貸出します（要登録）。



◀ 区民活動センター
マスコットキャラクター「モモちゃん」

都筑区民活動センター 令和4年度 主な実施事業

● 縁ジンミーティング

市民団体向けのスキルアップ講座を実施しました。

活動資金調達講座

「ちょっと知りたい活動資金～活動に必要な資金と調達について学ぶ～」

開催日	令和4年8月
参加者数	13人
講師名	手塚 明美 (認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構理事長)



縁ジンミーティングの様子

若者の参加促進講座

「若者が参加したくなる市民活動って何だろう？」

開催日	令和4年12月
参加者数	15人
講師名	小池 星多 (東京都市大学教授)

● 市民活動の担い手づくり講座「大人の部活動」

地域で何かを始めたい人が集い、講座の企画方法などチームでの活動について学ぶ講座を実施しました。受講後は、大人の部活動4団体を立ち上げ、伴走支援を行いました。

開催日	本講座：令和4年7月～9月 (全5回) フォロー講座：令和5年3月 (1回)
参加者数	27人
講師名	岩室 晶子 (特定非営利活動法人 I Love つづき理事長)



「大人の部活動」講座の様子

● 輝く女性応援プロジェクト

女性も男性も自分の生き方を考え、地域の中で住みやすく活躍できるまちとなるように、一般募集した運営委員が「自分らしい生き方」に関する講座を企画・運営をしました。また、次年度の講座の担い手を発掘しました。

開催日	令和4年11月～12月 (全5回)
運営委員数	7人
受講者数	19人
講師名	小栗 シュウコ (認定 NPO 法人あっとほーむ代表理事) 国吉 純 (株)ジュリエッタ・ガーデン代表取締役ほか) 運営委員会



「輝く女性応援プロジェクト」チラシ

戸塚区（地域振興課地域活動係）〒244-0003 戸塚区戸塚町 16-17 Tel.045-866-8416

【生涯学習事業推進の考え方】

地域の課題について、市民や団体・グループと行政が課題を共有し、その解決について協働で取り組んでいけるような社会の実現を目指します。

【令和4年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 区民活動支援事業	
(1) とつか区民の夢プロジェクト補助金事業	地域の課題解決や魅力向上につながる区民の方々の活動に対して補助金を交付しました。
(2) 読書活動推進事業	区民が身近な場所で読書活動を楽しむことができるよう、感染防止対策として規模の縮小・分散等をしながら、区役所・図書館・学校等が連携して読書活動の推進に取り組みました。また、昨年度に引き続き「0歳からの読書活動推進ネットワークプロジェクト」を区内全域に展開しました。
(3) とつか区民活動センター運営事業	市民活動・生涯学習活動・ボランティア活動支援の拠点である「とつか区民活動センター」を委託運営団体と協働で運営しました。また、平成24年3月から区役所3階情報コーナーの運営も行っています。
2 地域文化振興事業	
(1) 戸塚っ子いきいきアートフェスティバル	区内小学校、中学校、高等学校の児童・生徒による日頃の文化活動の成果を発表する場として、ステージ発表、作品展などを行いました。
3 とつか音楽の街づくり事業	
(1) 区民広間コンサート	毎月第3土曜日の「とつか音楽の日」に、区内を中心に活動する音楽活動団体のコンサートを、感染症対策を講じながら、実施しました。
(2) とつかストリートライブ	毎月第3土曜日の「とつか音楽の日」に、戸塚駅前ペDESTリアンデッキ上広場を中心に、ストリートミュージシャンによるライブを実施しました（一部新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止）。その他、春フェス、商店街のイベント等に派遣する出張ストリートライブを行いました。
4 戸塚区民まつり事業	
(1) 戸塚ふれあい区民まつり	地域関係者、企業、福祉団体、学校関係者などによって、模擬店やステージアトラクションなどを行いました。3年ぶりに開催し多くの区民の方々に参加していただき、戸塚区へのふるさと意識の醸成をより深めることができました。
(2) 戸塚ふれあい文化祭	区民の方々が日ごろの文化活動の成果を発表し、交流する場として、舞台発表、作品展示などを行いました。
5 とつか魅力再発見事業	
(1) ウナシー普及事業	「ウナシー」を多くの区民の方々に周知することにより、区に愛着を持ってもらい、郷土心の醸成を図るため、着ぐるみの貸出しを実施しました。子どもたちの郷土愛の醸成等を目的に「ウナシーなぞとき広場」を実施しました。

戸塚区 令和4年度 主な実施事業

● とつか区民活動センター運営事業

市民活動・生涯学習活動・ボランティア活動の支援のため、とつか区民活動センターを区民の方々に構成されている「NPO 法人くみんネットワークとつか」と協働で運営しています。

● とつカレッジ ～戸塚のいいとこ学び隊～

地域に関心を持つきっかけづくりを目的とした全5回の講座です。受講者数：31人

第1回「ようこそ！ とつカレッジ」（戸塚区の概要）

開催日	令和4年10月4日
講師名	大泉 優一（区政推進課企画調整係長） 牧野 暁（総務課危機管理・地域防災担当係長）
市民の声	「長年住んでいたのにもかかわらず知らないことがたくさんあって驚いた。周到な準備と小気味のいい話法で市の防災体制について理解を深めることができた」



第2回講座 公園で鳥を探す様子

第2回「バスで巡る戸塚 ～工業・治水・農業・食育～」

開催日	令和4年10月13日
行程	ブリヂストン横浜工場見学、神奈川県立境川遊水地公園、かねこふぁ～む（柿収穫体験）、横浜肥田牧場（アイス工房メーリア）
市民の声	「ブリヂストンはタイヤだけかと思いきや、免震のすごさを感じた。個人で訪れては聞けない話が聞けてとても有意義だった」



第3回講座 歴史講座の様子

第3回「人生100年時代 戸塚で生き生きと暮らす（お金の話）」

開催日	令和4年10月20日
講師名	笹目 孝夫（資産評価システム研究センター特任講師）
市民の声	「難しそうだと思っていることを楽しく学べた。明るく歯切れのよい口調で聴きやすかった」

第4回「戸塚の歴史講座 ～歴史を学ぶ・宿場を歩く歴史探索～」

開催日	令和4年10月25日
講師名	塚田 幹夫（戸塚見知楽会）
市民の声	「深い知識をもってわかりやすく説明してもらった。興味のある話で入会したいと思う」

第5回「ここから広げ、みんなの輪 ～戸塚で仲間づくり～」

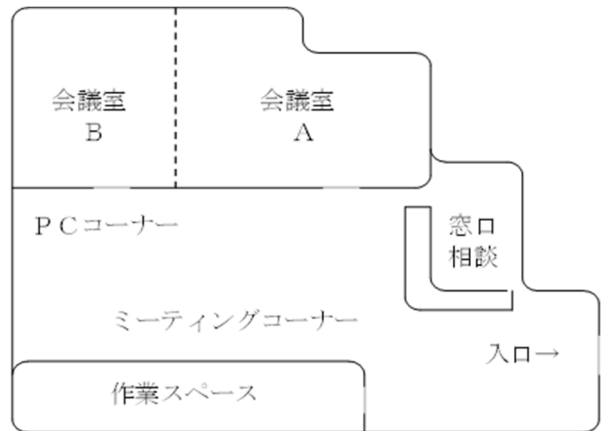
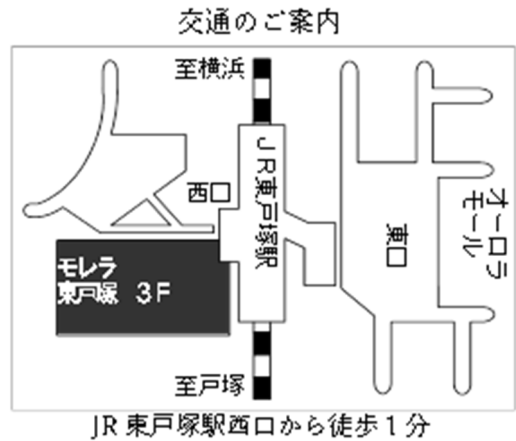
開催日	令和4年11月1日
講師名	中嶋 伴子（とつか区民活動センター長） 轟 みどり（とつか区民活動センター職員）
市民の声	「今まで体験したことがないので新しい体験になった。みなさんがきちんとした意見をもっていて感心した。自分の知らない場所も知る事ができて良かった」



第5回講座の様子

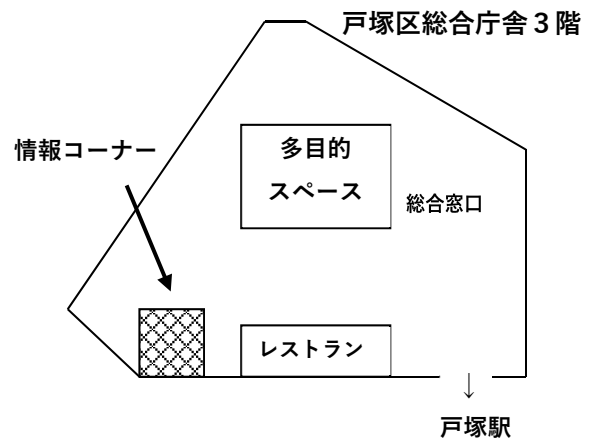
とつか区民活動センター

住 所	戸塚区川上町 91-1 モレラ東戸塚 3階
交 通	JR 東戸塚駅 徒歩 1分
電 話	045-825-6773
F A X	045-825-6774
利用時間	月曜～金曜 9:00～21:00 土日、祝日 9:00～17:00
休 館 日	毎週月曜・年末年始



戸塚区総合庁舎 3階情報コーナー

住 所	戸塚区戸塚町 16-17 戸塚区役所 3階
交 通	JR、市営地下鉄戸塚駅 徒歩 2分
利用時間	8:45～17:00
休 館 日	土日、祝日・年末年始



とつか区民活動センター 令和4年度 主な実施事業

センターの特徴

インキュベーション（活動入門）、エンパワーメント（活動力アップ）、ネットワーキング（連携構築）の3事業を柱に運営しています。

【インキュベーション】

- ボランティアのいろは、とつかレッジ（区と共催）

【エンパワーメント】

- スキルアップ講座、ICT 応援事業、地域づくり大学校

【ネットワーキング】

- とつかお結び広場、地域施設間連携促進事業（区と共催）、活動者・活動団体連携応援事業、地域や他施設との連携事業

● 第13回とつかお結び広場開催

パネル展示や特別講演会など、5つのプログラムを開催しました。78団体・個人が出展を行い、出展者同士の交流が生まれ、戸塚区のさまざまな活動を知る良い機会となりました。

1 「活動紹介！パネル展示」@戸塚区総合庁舎3F アートコリドー

開催日	令和4年11月18日～12月4日
出展数	49団体
市民の声	「パネル展示では活動を十分に伝えられない」

2 「仲間募集！活動紹介コーナー」@戸塚区役所3階

開催日	令和4年12月4日
来場者数	717人
出展数	24団体
市民の声	「入会につながる手ごたえを感じた」

3 「仲間募集！体験イベント」@とつか区民活動センター

開催日	令和4年11月29日～12月3日
来場者数	65人
出展数	5団体
市民の声	「体験より相談会の形式にした方がいいと思う」

4 「特別講演会」@戸塚区役所3階

開催日	令和4年12月4日
来場者数	60人
講師	若宮 正子（世界最高齢のアプリ開発者）
市民の声	「変化する世の中に対応するには IT 技術がシニアこそ必要という話に共感しました」

5 「見つける！つながる！とつか地域大交流会」@戸塚区役所

開催日	令和5年2月19日
参加者数	66人（うち参加者：57名、学生ボランティア：6名、見学者：3名）
市民の声	「活動団体同士の交流の場になり有意義だった」



会場の様子



講演中の若宮正子氏



「見つける！つながる！
とつか地域大交流会」の様子

栄区（地域振興課生涯学習支援係） 〒247-0005 栄区桂町 303-19 TEL.045-894-8393

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

少子高齢化の急速な進展や、ライフスタイルの多様化、人間関係の希薄化など、生涯学習を取り巻く社会的背景は変化し続けており、多様な個性やニーズに応じた学びの場の提供が求められています。

特に栄区は幅広い年代の区民が地域において熱心に区民活動を行っている地域であり、区民一人ひとりが学びを通じて、自己実現や地域での仲間・絆づくり、まちの活性化につなげることができるよう、区民を主体とした生涯学習事業を推進します。

【令和4年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 地域の人材育成支援事業（区民活動支援事業等）	
(1) 栄区生涯学習講演会	区民の歴史知識を深め、学び合いや情報交換、また、史跡を訪ね歩くなど主体的な行動や生涯学習のきっかけ作りを目的とし、歴史専門家による講演会「実朝の時代」を開催しました。
(2) 歴史学習啓発事業	歴史学習への啓発として、区内の区民利用施設に、上記講演会のポスターを掲示し、歴史図書リストを配架、横浜市歴史博物館及び埋蔵文化財センターの紹介ブースを設置しました。
(3) 情報紙「栄区民施設のご案内」	より多くの区民が、さかえ区民活動センターや地区センター等を利用し、生涯学習や地域交流のきっかけとなるよう、区内施設を紹介する情報紙を発行しました。
(4) 多文化共生事業	世界の文化・習慣等に触れ、国際理解を推進するため、「世界とつながるアート展 in 栄区」を開催し、栄区及び各国の子どもたちが描いた絵の展示のほか、海外の絵の技法を学ぶワークショップを実施しました。
(5) 栄区青少年指導員事業・SAKAEヤングフェスティバル	青少年の健全育成のため、各地区の地域活動、区協議会活動、社会環境健全化活動、研修等を実施しました。また、青少年の地域参加を図るため、SAKAEヤングフェスティバルを実施しました。
2 スポーツ振興事業	
(1) 栄区スポーツ推進委員事業	地区単位での運動会やレクリエーションイベントを支援しました。
(2) スポーツ大会等への活動支援	区民大会や区民教室等の実施に対する補助を行いました。
(3) 栄区民ロードレース大会	栄区在住、在勤、在学、在スポーツクラブの方等を対象とした、ロードレース大会を実施しました。
(4) セーフコミュニティスポーツ安全対策分科会	区民のスポーツ中の事故やけがを防ぐための動画3本作成しYouTubeで配信しました。けが予防のため、ウォーキング講座を実施しました。
3 文化・芸術振興事業	
(1) 栄区民芸術祭	区民の文化意識の高揚と文化活動の活性化及び地域コミュニティの醸成を図ることを目的に、区民芸術祭を実施しました。
(2) 栄区の歴史・文化事業	「郷土史ハンドブック」、「歴史散策マップ」及び「栄の歴史」を販売しました。また、歴史散策ウォーキングの講座を実施しました。
(3) 友好交流都市事業	区民まつり等で友好交流都市の特産品の販売や交流活動のPRを実施しました。また、活動内容を掲載した情報紙を発行しました。
(4) 読書活動推進事業	栄区読書活動推進講演会「『横浜大戦争』の舞台裏」を実施しました。また、中学生を対象にした読書啓発イベント「ビブリオバトル in SAKAE」を実施しました。

栄区 令和4年度 主な実施事業

● SAKAE ヤングフェスティバル 2023 & 栄区中学校対校駅伝大会

「SAKAE ヤングフェスティバル」は、区内中学生が青少年指導員を中心とした、地域の方々と交流することで社会性や人間性を育むとともに、地域社会参加へのきっかけとすることを目的に開催しています。「中学校対校駅伝大会」はスポーツを通じて、青少年の健全育成を図ることを目的として開催しています。

どちらも4年ぶりの開催となりましたが、当日は多くの方々に来場いただき、大盛況で終えることができました。

開催日	令和5年3月19日
参加者数	ヤングフェスティバル 来場者数 4,000人 栄区中学校対校駅伝大会 参加者数 112人
市民の声	「やりがいがあったとっても楽しかった」 「とても雰囲気の良い大会だった」



SAKAE ヤングフェスティバル
栄区中学校対校駅伝大会チラシ

● 第33回栄区民ロードレース大会

例年1月に、栄区在住、在勤、在学、在スポーツクラブの方等を対象とした栄区民ロードレース大会を開催しています。集合形式としては3年ぶりの開催となった令和4年度は、約2キロ、約4キロ、約10キロのコースを設定し、幅広い年代の方々が参加しました。

開催日	令和5年1月14日
参加者数	941人
市民の声	「家族で参加できるのがとても良い」 「地元イベントなので毎年参加したい」



栄区民ロードレース大会のチラシ

● 栄区多文化共生事業

多様な文化背景や価値観を互いに尊重し、誰もが地域社会に参画できるように多文化共生地域を目指し、世界の文化・習慣等に触れ、国際理解を推進するため、「世界とつながるアート展 in 栄区」を開催しました。栄区及び各国の子どもたちが描いた絵の展示のほか、海外の絵の技法を学ぶワークショップを実施しました。

開催日	令和4年11月19日
参加者数	約600人
市民の声	「様々な国の子供たちの絵が見られて楽しかった」 「海外の人たちとつながっている気持ちになれた」



展示をみる子どもたちの様子

● 友好交流都市事業

栄区は長野県栄村、青森県南部町、山形県高島町と友好交流関係を結んでいます。令和4年度は、3年振りに開催された区民まつりに出店し、各都市の特産品の販売や交流活動のPRを、友好都市や地域の交流団体の方々とともに行いました。

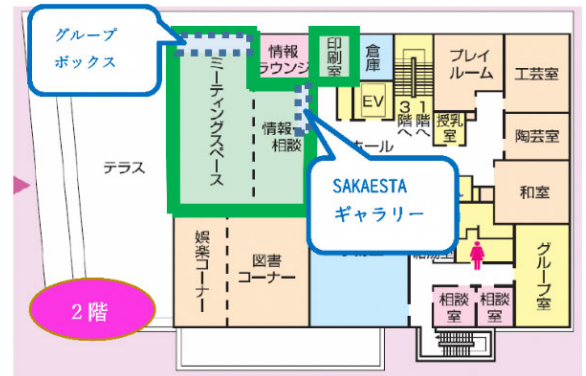
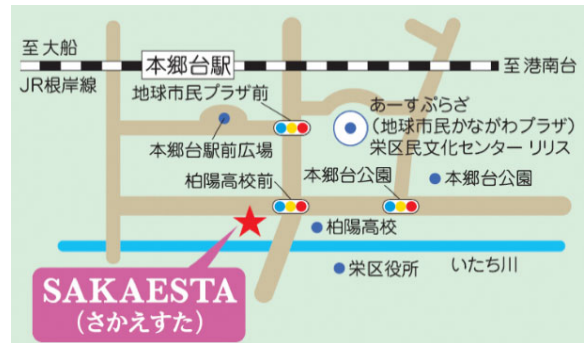
また、友好交流都市PR事業の様子を掲載した情報紙を発行しました。



特産品販売の様子

さかえ区民活動センター

住所	栄区小菅ヶ谷1-5-4 SAKAESTA内
交通	JR本郷台駅 徒歩3分
電話	045-894-9900
FAX	045-894-9903
利用時間	9:00~21:00 (日・祝は17:00まで)
休館日	第3月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始



さかえ区民活動センターの特徴

さかえ区民活動センターは、市内で初めて「地区センター」と「地域ケアプラザ」及び「区民活動センター」の3つの機能が一体になった複合施設 SAKAESTA として運営しています。

3機能が一体となったことにより、多くの情報・人が集まる環境が生まれており、各施設が連携し、地域の皆様の活動がより広がるような施設を目指しています。

相談・コーディネート・ネットワークづくり

- 生涯学習・市民公益活動の相談に対応するとともに、区民や団体への情報提供を行っています。
- 仕事や趣味等で培った知識や経験・特技などを活かして、地域の様々な場面でボランティアとして活動する「人財バンク」の登録、紹介(コーディネート)を行っています。

情報発信

- 行政や地域、団体や各種イベントの情報、講座案内等を配架コーナーで提供しています。
- 団体の活動内容やメンバー募集等の情報発信のほか、情報誌「SAKAESTA News」を年4回発行し、配布しています。

場の提供・機材の貸出

- 会議室(定員25名)1室、ミーティングスペース(10人以下)で会議や打合せができます。
- 印刷室では、活動に必要な資料やチラシの印刷、コピー、裁断等ができます。
- 団体のPRや団体間の情報交換交流のツールとして、グループボックス(92個)を貸し出しています。
- 登録団体の活動の成果を発表する場として、「SAKAESTA ギャラリー」や「本郷台駅前駐輪場展示スポット」を貸し出しています。

さかえ区民活動センター 令和4年度 主な実施事業

● パソコン活用講座

団体活動に有効なパソコンスキルを学ぶ「パソコン活用講座」を、全3回開催しました。エクセルやワード、メールの基礎的な技術に加えて、ワードで実際にチラシを作るなど実用性を意識した内容としました。講師を複数配置することで、一人ひとりに丁寧に対応することができました。

開催日 令和4年10月8日、22日、11月8日

参加者数 11人

講師名 パソボラ横浜

市民の声 「講座で得たスキルを団体活動に役立てたい」



パソコン活用講座の様子

● SAKAESTA フェスタ スマイルステージ

「人財バンク」に登録された方の発表の場と紹介を兼ねて、SAKAESTA フェスタでステージ発表を開催しました。当日は小さなお子様を連れた家族連れや、シニアの方までたくさんの方にご来場いただきました。

開催日 令和4年11月20日

来場者数 延べ300人

内容 ケーナ、ハーモニカ、オカリナ、マンドリン、アコーディオン演奏、落語

参加者の声 「お祭りが盛り上がってよかった。落語を見たのは初めてで、おもしろかった」



ステージ発表の様子

● 施設交流会

区内公共施設間の交流を図るため、施設交流会を開催しました。第一部は、「人財バンク」の講師の方をお招きし、アロマの石鹸づくりを体験。第二部では、各施設の自主事業や最近の施設の状況などの情報共有を行いました。第一部では利用者の立場を経験し、第二部では和やかな雰囲気の中、意見交換ができました。施設間でのつながりや連携のきっかけとなる有意義な1日となりました。

開催日 令和5年3月6日

参加者数 区内公共施設のスタッフ等16人

講師 山本 雅子 (Lavender アロマ)

参加者の声 「主催者側でなく受講者側の立場で体験できたのがよかった。区内の施設の方からいろいろな話を聞けて参考になった」



アロマ石鹸と意見交換の様子

泉区（地域振興課） 〒245-0024 泉区和泉中央北5-1-1 TEL.045-800-2392

【地域活動及び生涯学習支援事業推進の考え方・目標】

区民一人ひとりが、自分らしいライフスタイルを楽しみながら安心して心豊かに暮らせるまち「泉区」の実現を目指しています。区内における多様な人材と団体のいきいきとした活動を活発にするため、団体間の交流促進やテーマ別コミュニティへの参加のきっかけづくりを、相談・支援を通して行います。

【令和4年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 市民活動・生涯学習支援	
(1) 区民活動支援センター事業	<p>区民の地域活動及び生涯学習の情報・活動支援拠点である区民活動支援センター（泉区役所内）を運営し、活動情報の提供や相談、学習機材の貸出し、ミーティングスペースの提供、講座の開催などを通じて、地域活動や生涯学習の支援を行いました。</p> <p>【泉区人財バンク事業】 区内で活動しているサークル、ボランティア団体及び知識や経験を活かしたい個人を登録して、ホームページで公開し、情報提供を行いました。</p> <p>【区民活動支援事業】 区内で活動している団体の情報発信力を高めるための講座や、区民の方が地域活動に参加するきっかけとなるような講座を開催しました。</p> <p>【参画のきっかけづくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問記：支援センター職員が団体の活動場所を訪問・取材して、紹介記事を作成し、ホームページで公開しました。 ・体験会：区民が関心を持った団体の活動を体験し、活動のきっかけとなるための、体験会を開催しました。 ・活動PR展：団体の活動を紹介するポスター・チラシの掲示や動画でのPRを行う「活動PR展」を行いました。
(2) 多文化共生推進事業	多様な文化を持つ人々が互いの文化を尊重し協力し合うまちづくりの支援策として、「多文化共生入門講座」を開催しました。
(3) 泉区魅力発見・発信事業	泉区の魅力（自然・歴史・文化など）の再発見・活用などを目指し、つるし飾り展等を開催しました。
(4) 読書推進事業	区民の方が身近な場所で読書活動を楽しむことができるよう、区役所・図書館・学校が連携して読書活動の推進に取り組み、読書スタンプラリー、お勧めの本の紹介やパネル展示等の読書イベントを開催しました。
2 青少年育成	
(1) 青少年育成団体支援事業	青少年指導員が実施している様々な活動を支援しました。
(2) 青少年を育むまちづくり事業	【地域の子ども交流支援事業】 青少年指導員・スポーツ推進委員等、地域の大人と子どもが顔の見える関係を築くため、「みんなの遊び場」を実施しました。
3 スポーツ振興	
(1) スポーツ推進委員支援事業	スポーツ推進委員の活動の支援を行いました。
(2) 区民スポーツ振興事業	地域に密着したスポーツ活動を展開するための支援を行いました。
4 文化振興	
(1) 区民文化祭、区民ホール事業	文化団体の活動成果の発表の場として、区民文化祭を開催するとともに、区役所1階区民ホールで、展示・発表会を開催しました。
(2) 伝統文化保存事業	凧揚げ会（相模凧）や衣裳・小道具展（歌舞伎）を通じ、伝統文化を保存・普及・継承する団体の活動の支援を行いました。（横浜いずみ歌舞伎、太鼓・お囃子、相模凧）

泉区 令和4年度 主な実施事業

● 多文化共生入門講座

はじめに泉区が多文化共生についての説明や外国籍住民へのインタビューを行いました。また、講師の方から地域の日本語ボランティアを行うにあたり、基本的な心構え及びやさしい日本語の使い方を学びました。3回目には泉区役所日本語教室とコラボし、日本語学習者と「やさしい日本語」を使い楽しく交流を行いました。その他、泉区が多文化共生事業等の取組紹介、いずみ多文化共生コーナーの紹介を行いました。

開催日	令和5年1月12日、17日、19日（全3回）
参加者数	1回目：7人 2回目：6人 3回目：6人
講師名	山崎 佳子 （横浜市国際交流協会「まちのにはんご伴走隊」派遣アドバイザー、 地域日本語教室ボランティア、日本語ボランティア入門講座・ ブラッシュアップ講座講師）

市民の声 「直接、学習者の方々とお話しできたことが勉強になった」



講座の様子

● 訪問記

泉区人財バンク登録者（団体・個人）の活動場所に、支援センター職員が訪問し、活動の様子をまとめたものが「訪問記」です。区役所内での掲示及び区役所ホームページで公開しています。「訪問記」には、泉区で笑顔いっぱいに活動する様子や、団体を運営していくうえでの工夫などの声がたくさん盛り込まれています。

訪問件数 8件

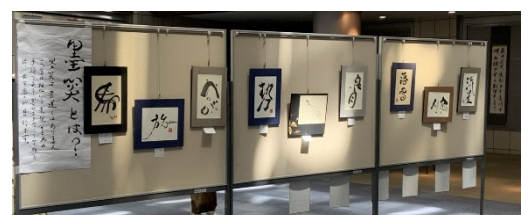


訪問記の例

● いずみ文化振興事業

区民の手による文化振興のため、文化活動の展示・発表の場を提供する区民文化祭や、地域に伝わる伝統文化（横浜いずみ歌舞伎、太鼓・お囃子、相模凧）の保存、継承を図っています。

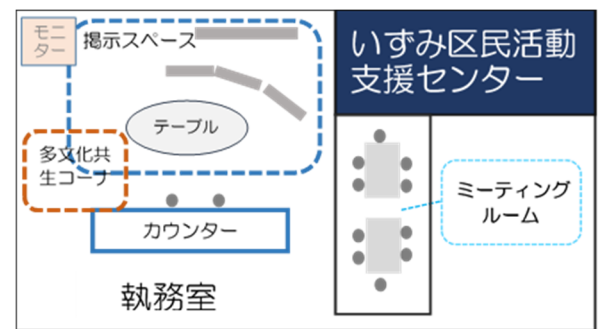
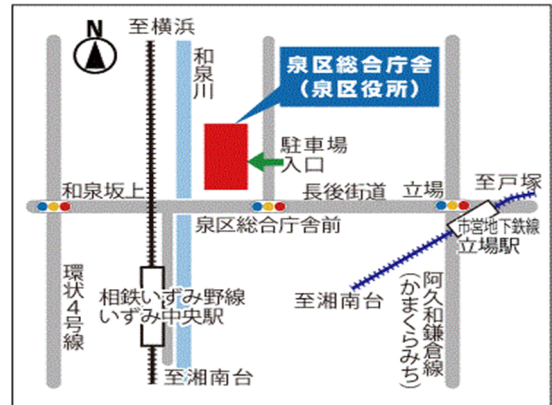
開催日	相模凧いずみ保存会
内容	令和4年5月 いずみ相模凧揚げ会（太鼓の友情出演あり）
	令和5年1月 新春いずみ相模凧揚げ会（太鼓・お囃子の友情出演あり）
	横浜いずみ歌舞伎保存会
	令和4年10月 衣装・小道具展、横浜いずみ歌舞伎公演
	泉区民文化祭
	令和4年10月 書作・華道展、芸能大会、朗読会、演劇祭
	令和4年11月 工芸展、器楽祭、洋舞フェスティバル



いずみ文化振興事業の様子

いずみ区民活動支援センター

住所	泉区和泉中央北5-1-1 泉区役所1階
交通	相鉄いずみ野線 いずみ中央駅 徒歩5分
電話	045-800-2393
FAX	045-800-2518
利用時間	8:45~17:00
休館日	土日・祝日・年末年始



いずみ区民活動支援センターの紹介

市民活動や生涯学習に関する相談と情報の提供・コーディネート、サークル、ボランティア、自治会町内会、生涯学習等様々な市民活動について、活動が活発になるように応援をしています。

● 泉区人財バンクの運営

泉区人財バンクは、指導や披露の依頼を受けられるスキルのある個人や団体、仲間を募集している趣味のサークルやボランティアなどの団体が登録しており、泉区社会福祉協議会と協働で運営しています。登録情報は、泉区ホームページで公開しています。

● 交流・活動の場の提供

【ミーティングルーム】勉強会、会議、打合せ、作業等に利用できます。5人用机が2台あり、利用したい日の3か月前から予約することができます。

【レターケース】団体の活動資料や書類の保管、情報交換に利用できます。

● 学習機材の貸し出し

プロジェクターやスクリーン、絨毛氈等地域のイベントや学習に役立つ機材や、『いずみいまむかし』（泉区小史）、『泉区民音頭』のCDの貸し出しを行っています。ラミネーター、裁断機等は、センター内で利用することも可能です。

● 区民利用施設間のネットワークづくり

泉区内の区民利用施設の自主事業担当職員が年1回集まり、情報交換等を行っています。また、日頃から一斉メールを利用した情報交換も行っています。

● いずみ区民活動支援センター情報誌「センターだより」の発行（年3回）

当センター主催のイベントのお知らせや募集等、情報発信を積極的に行っています。ホームページで閲覧できるほか、区民利用施設等でも配布しています。

いずみ区民活動支援センター 令和4年度 主な実施事業

● 生涯学習事業「雨の日も、晴れの日も、空が教えてくれること講座」

毎日見ているニュースや天気予報で起こっている気象現象がなぜどのようにして起こるのか、何が危険なのかを学んだ後で、ハザードマップを見ながら泉区での危険箇所などを調べました。最後に、お天気に関する楽しい実験をして講座は終了しました。

開催日	令和4年6月22日
参加者数	53人
講師	牧野 恒明
市民の声	「ハザードマップを持ち、泉区の写真を撮りたい」



講座の様子

● 生涯学習事業「さあ、本を読もう！講座」

受講者が自分のスマートフォンやパソコン、タブレットを持ち込み、横浜市立図書館が開始した電子書籍での貸出サービスを実際に操作して、電子書籍ならではの新しい機能を使って読書を体験しました。

開催日	令和4年12月7日
参加者数	5人
講師	中央図書館司書
市民の声	「必要としている人に教えてあげようと思う」



講座の様子

● 生涯学習のきっかけづくり 体験会・体験講座・活動PR展

【体験会】泉区人財バンクに登録しているそれぞれの団体が日頃活動している会場で実施しました。

開催日	令和4年9月21日～10月21日
参加者数	56人
団体数	40団体
市民の声	「前から興味があってやりたいと思っていた」

【体験講座】マッチング支援事業とコラボして、自主事業を考える区内施設担当者を対象に、泉区人財バンクに登録している講師・パフォーマーの活動を紹介する「いずみ☆ショウタイム」を実施しました。

開催日	令和4年7月12日
参加者数	52人
団体数	発表11団体、実演6団体、展示9団体
市民の声	「今後もこのような活動を続けてほしい」



「いずみ☆ショウタイム」の様子

【活動PR展】泉区人財バンク登録者の日頃の活動をPRしました。

開催日	令和5年3月6日～3月12日
団体数	ポスター252件、チラシ27件、動画6件、作品展示10件
市民の声	「いろんな活動が知ることができて良かった」



活動PR展の様子

瀬谷区（地域振興課区民協働推進係） 〒246-0021 瀬谷区二ツ橋町 190 TEL.045-367-5696

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民と協働して、生涯学習、文化・芸術振興、スポーツ振興、青少年健全育成、読書活動推進などの活動を推進します。また、地域における自主的な活動を様々な面から効果的に支援し、いきいきとした快適なまちづくりを進めます。

【令和4年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 区民活動支援事業	
(1) いきいき区民活動支援事業	区内で自主的に活動している団体が実施する地域の課題解決や活性化につながる事業及び活動に対し、補助金を交付しました。
(2) 生涯学習支援事業	区民活動や仲間づくりのきっかけとして、区民の方々の学びの場を提供する生涯学習講座を実施しました。また、講座のテーマに区民に身近なテーマを取り入れることで、どなたでも参加しやすい場づくりを行いました。
2 人材スキルアップ事業	区民活動を行っている方や興味・関心のある区民の方向けに、活動の幅を広げ、学んだことをすぐに実践でき役立つスキルの習得の支援をするために講座を開催しました。また、活動者、活動団体同士の交流の場づくりを行いました。
3 青少年育成支援事業	
(1) せやっこ体験事業	子どもたちの未来につながる体験を提供するため、区内の各産業（農業・工業・商業）を生かした職業体験や、横浜市に縁のある海外都市（仁川市・リヨン市）とのオンライン交流を実施しました。その他、小・中学生向けのイベント情報をオンライン上で集約発信し、地域における体験活動への参加を促進しました。
(2) ボランティア促進事業	瀬谷区ボランティアセンターと連携し、情報紙や活動証明書の発行を通じて中高生のボランティア活動を促進しました。また、ボランティア経験者による交流会を実施し、意欲ある学生同士の仲間づくりや更なるモチベーション向上を支援しました。
4 青少年関連団体支援事業	瀬谷区青少年指導員連絡協議会の活動を支援し、地域における青少年育成活動を推進しました。
5 スポーツ振興事業	
(1) スポーツ推進委員事業	地域スポーツ・レクリエーションの推進役として市から委嘱されたスポーツ推進委員の活動を支援しました。
(2) スポーツ協会への補助事業	加盟種目協会で構成される区スポーツ協会が実施・開催する区民スポーツ大会・教室及び青少年の健全育成、高齢者の健康維持等のための地域スポーツ活動を支援しました。
6 読書との出会い応援事業	第二次瀬谷区読書活動推進目標達成に向け、読書スタンプラリー、瀬谷図書館の本を小学校・保育園に貸出す学校図書館等連携事業の実施、読書ボランティアの育成・スキルアップ講座など幅広い層を対象に読書活動を推進しました。
7 国際交流支援事業	外国にルーツのある親子を対象とした日本文化体験イベント（夏祭り・お正月）を地域の居場所2か所で開催し、区内地域の居場所の周知や当事者同士の交流、日本語教室への参加につなげました。
8 瀬谷の魅力発信・名所づくり事業	瀬谷の史跡めぐりガイドブックを販売し、瀬谷の歴史の伝承と魅力を発信しました。また、ガイドマップ掲載コースを歩く区民グループに記念品を交付し、ウォーキングの促進を図りました。

瀬谷区 令和4年度 主な実施事業

● 瀬谷の魅力発信・名所づくり事業

『瀬谷の史跡めぐりガイドブック』の発行

地図や写真でわかりやすく瀬谷の歴史や魅力を知ることができるガイドブックを販売し、区の歴史の伝承と魅力を発信しました。

販売部数 130部

市民の声 「瀬谷の歴史や史跡について、詳しく記載されていて関心が深まった」



瀬谷の史跡めぐりガイドブック

『ふるさと歴史さんぼ道ガイドマップ』の発行

鎌倉古道、和泉川の水辺コースなど5つのコースを紹介し、瀬谷の魅力を発信するガイドマップを配布しました。ガイドマップ掲載コースを歩く区民グループに記念品を交付し、ウォーキングの促進を図りました。

配布部数 465部

市民の声 「歴史や神社仏閣が好きなので、地元の歴史を感じられるさんぼ道コースがあって良かった」



ふるさと歴史さんぼ道ガイドマップ

● 生涯学習支援事業

区民活動や仲間づくりのきっかけとして、区民の方々の学びの場を提供する生涯学習講座を実施しました。

講座のテーマに区民に身近なテーマを取り入れることで、どなたでも参加しやすい場づくりを行いました。

〈テーマ〉 街歩きプランナー入門

開催日 令和4年12月19日、23日、
令和5年1月13日、23日（全4回）

参加者数 17人

市民の声 「正しいウォーキングの姿勢を学べたので、日頃の散歩の時にやってみたい」
「瀬谷の歴史について更に深掘りできました」

● いきいき区民活動支援事業

地域で活動する団体が実施する事業（催し・講座など）や、団体が地域で活動するための支援として、補助金の交付を行いました。

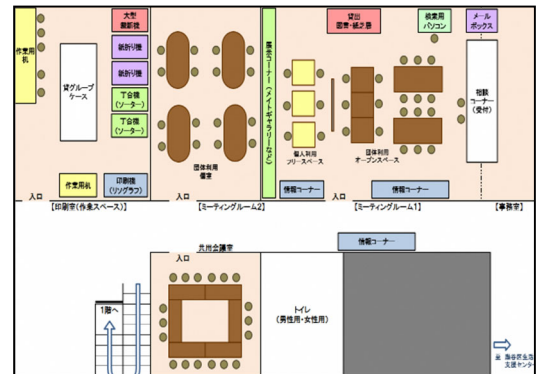
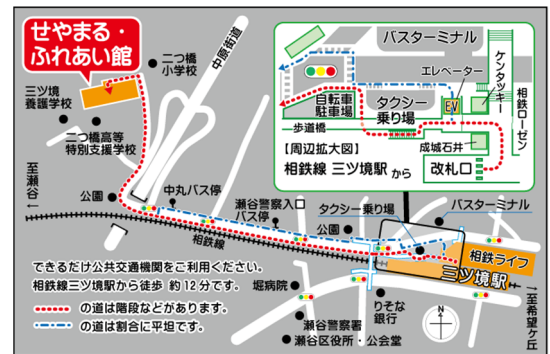
交付件数 19件



補助金団体活動の様子

瀬谷区民活動センター

住 所	瀬谷区二ツ橋町 469 せやまる・ふれあい館 2 階
交 通	相鉄線三ツ境駅 徒歩 12 分
電 話	045-369-7081
F A X	045-366-4670
利用時間	10:00~17:00
休 館 日	第 3 日曜、年末年始



瀬谷区民活動センターの特長

瀬谷区民活動センターは、せやまる・ふれあい館の2階にあります。子どもから高齢者までが集う6施設が連携できる環境をメリットと捉え、皆さんの「何かやりたい」を応援しています。

相談、コーディネート、ネットワークづくり

生涯学習・市民活動の情報を集め、相談者へ情報の提供を行っています。

情報発信・収集

各種登録団体の活動内容やメンバー募集等の情報提供、情報紙(年2回)の発行等を行っています。随時、ホームページやFacebook掲載も行っています。

人材の発掘・育成・活用

仕事や趣味等で培った知識や経験・特技などを活かして、地域の様々な場面でボランティアとして活動する個人・グループ「人材バンク」の登録、紹介(コーディネート)を行っています。

場の提供・機材の貸出

ミーティングコーナー(個室 定員16人、オープン 定員24人)、共用会議室(定員18人)で、会議や打合せができます。登録制で機材の貸し出しも行っています。

瀬谷区民活動センター 令和4年度 主な実施事業

● セヤ区人材バンク

知識・経験・技術等を地域に役立てたい、活動をサポートしたいという個人やグループが、地域で活躍するための登録制度です。登録しているボランティアを「メイト」と呼び、地域や施設、自治会町内会、こども会、学校など、ニーズに応じて、メイトを紹介しています。3年ごとに「メイトガイド」を発行し、配布しています。

登録数 240件

市民の声 「ガイドを見て依頼できるので、助かっています」



メイトガイド

● 昼ドキイベント・セヤ

コロナ禍のため、毎月第3金曜日に瀬谷公会堂ホワイエで開催していたイベントを講堂に変更。感染予防対策をして公募による区内活動グループの季節感あふれるステージイベントを開催しました。

公会堂の天井工事のため、4月・5月の2回開催になりました。

主なイベント 女声斉唱、女声合唱

参加者数 127人(2回)

市民の声 「コロナ禍の中、素敵な歌声に元気をもらいました」



コロナ対策を講じた（飛沫防止シート支柱とマスク着用）の演奏の様子

● 講座（きっかけづくり・事後グループづくり）

生涯学習の機会の提供及び仲間づくり、区民活動グループ設立を目的に開催しました。興味・関心のある区民を対象とした「おとなの楽校講座」を3期に分けて実施しました。それぞれ事後グループが立ち上がり、活動を続けています。

〈1期〉やさしいピラティス

開催日 令和4年10月13日、27日、11月10日

参加者数 15名

講師名 松宮 千夏子

〈2期〉手作りニット講座

開催日 令和4年11月14日、21日、28日

参加者数 10人

講師名 小笠原 登代子

〈3期〉アロマセラピー講座

開催日 令和5年2月12日、26日、3月12日

参加者数 12人

講師名 中田 明希子



やさしいピラティス



手作りニット講座



アロマセラピー講座



横浜市生涯学習 令和4年度事業概要

令和5年7月 発行

発行 横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課
問合せ 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10
横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課
電話：045-671-3282
FAX：045-224-5863

本事業概要は
横浜市ウェブサイトからも
ご覧いただけます。



表紙・本文は紙へリサイクルできます。